資料１

第 10 次厚木市総合計画最終成果報告書

（令和３年度～令和７年度）

令和８年●月

厚木市

目　　次

はじめに ・・・

はじめに

はじめに

本市では昭和 43（1968）年度以降、まちづくりを総合的かつ計画的に進めるための最上位計画として総合計画を策定し、本市の実態に応じたまちづくりを推進してまいりました。

こうした中、令和３(2021)年度から 12 年間を計画期間とする、第 10 次厚木市総合計画に基づき、まちづくりを進めてきましたが、この間、市民生活に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症の５類移行、デジタル化の更なる進展、多様化する市民ニーズへの対応等、社会・経済環境は大きく変化してきました。

また、人口減少や超高齢社会の進展、大雨や大型台風等の気象災害の激甚化や都心南部直下地震の発生リスクが高まる等の様々な変化に対応すべく、現状の評価・分析を行うとともに、変化を見据えたまちづくりが求められています。

このような変化を踏まえ、今後のまちづくりの方向性を示すとともに、目指すべきまちの姿、これを実現するための政策・施策について、改めて見直しを行い、令和８(2026)年度から令和 17(2035)年度までの 10 年間を見通した第 11 次総合計画を策定しました。

これに伴い、第 10 次総合計画は令和７(2025)年度をもって計画期間を終了するため、令和３(2021)年度から令和７(2025)年度までの取組における成果と課題を取りまとめ、今後のまちづくりの推進にいかしてまいります。

第１章　第 10 次厚木市総合計画の概要

第１章　第 10 次厚木市総合計画の概要

１　策定の趣旨

本市は、平成 21（2009）年に「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市あつぎ」を将来都市像とする第９次厚木市総合計画「あつぎ元気プラン」を策定し、これまで積極的にまちづくりを進めてきました。

この間、本市では、平成 20（2008）年に位置付けた市民協働元年を契機として、平成 22（2010）年のセーフコミュニティの認証取得や自治基本条例の制定、平成 27（2015）年の市民ふれあい都市宣言など、市民協働によるまちづくりを展開してきたほか、森の里東地区や酒井地区の新たな産業拠点の創出、本厚木駅南口地区や中町第２－２地区を始めとした中心市街地の施設整備等、今後のまちづくりを考える上で重要な事業を推進しています。

一方で、少子高齢化の進展や人口減少社会の到来、地震や台風等の自然災害の激甚化、情報通信技術の進展等による経済・産業構造の変化、市民ニーズの高度化・多様化、また、新たな感染症の脅威とそれを契機とした新しい生活様式への移行など、本市を取り巻く社会・経済環境は大きく変化しています。

このような変化を踏まえ、市民・事業者・行政が一体となって活力に満ちた心豊かに暮らせる自立したまちをつくるため、新たなまちづくりの方向性を定めた第 10 次厚木市総合計画を策定しました。

２　計画の位置づけ

第 10 次厚木市総合計画は、厚木市自治基本条例第 16 条の規定に基づいて策定するものであり、本市の将来都市像とその実現に向けたまちづくりの方向性や施策の体系を示すとともに、市民・事業者・行政の役割を明らかにし、それぞれの主体が共に理想とするまちをつくることを目指しています。

また、行政運営を総合的かつ計画的に進めるための最上位計画であり、分野ごとの計画や施策は、この計画に基づいて策定し、実施します。

３　計画の構成と期間

(1) 基本構想

本市が目指す将来都市像と、これを実現するための六つのまちづくりのビジョンを定めたものです。

計画期間は、当初令和３（2021）年度から令和 14（2032）年度までの 12 年間としていましたが、社会・経済環境の変化や本市におけるまちづくりの新たな局面に対応するため、令和７（2025）年度までとし、令和８年度から第 11 次厚木市総合計画を推進しています（以下、基本計画及び実施計画において、第 10 次厚木市総合計画の策定当初に想定していた計画期間を記載いたしますが、基本構想と同様の理由で実際の終了年度は令和７年度となります)。

(2) 基本計画

基本構想で定めた六つのまちづくりのビジョンに基づき、施策の方針や施策体系を定めたものです。

第１期基本計画の計画期間は、令和３（2021）年度から令和８（2026）年度までの６年間、第２期基本計画の計画期間は、令和９（2027）年度から令和 14（2032）年度までの６年間です。

(3) 実施計画

基本計画で定めた施策の方針に基づき、具体的な事業を年度別に定めたものです。

計画期間は、第１期から第４期までの３年間ごとです。

【総合計画の期間】



４　基本構想の概要

基本構想は、本市が目指す将来都市像とこれを実現するためのまちづくりのビジョンを定めたもので、行政運営を総合的かつ計画的に進めるための最高指針となるものです。

(1) 将来都市像

自分らしさ輝く　希望と幸せあふれる　元気なまち　あつぎ

(2) 将来の人口目標

令和 14（2032）年の目標人口　220,000 人

(3) まちづくりのビジョン

①　命、財産を守り抜くまち
②　支え合い、生き生きと暮らせるまち
③　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち
④　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち
⑤　環境に優しく、自然と共生するまち
⑥　市民と共に確かな成長を創り出すまち

５　基本計画の概要

基本計画は、将来都市像の実現に向け、基本構想で定めた六つのまちづくりのビジョンに基づき、施策の方針や施策体系を明らかにしたものです。第１期基本計画は六つの基本政策、27 の基本施策を位置付けています。

(1) 第１期基本計画の施策体系

【将来都市像】 自分らしさ輝く 希望と幸せあふれる 元気なまち あつぎ

【中長期的な視点】 地域包括ケア社会の実現 ＳＤＧｓの達成

まちづくりのビジョン（基本政策）	基本施策（27）	施策の方向（83）
1 命、財産を守り抜くまち（安心政策）	1 災害に強いまちの実現	① 災害に強い社会基盤の整備
	2 消防力の充実・強化	① 消防体制の充実
	3 セーフコミュニティの推進	① セーフコミュニティの取組の推進
2 支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	① 地域福祉活動の推進
		④ 高齢者福祉サービスの充実
	2 子育て環境の充実	① 子育てサービスの充実
	3 健康寿命延伸の推進	① 地域医療体制の充実
	4 多様性の尊重と平和都市の推進	① 多様性に対する理解の促進
		④ 平和都市の推進
3 夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）	1 学校教育の充実	① 自立につながる生きる力の育成
		④ 安心して共に学べる教育の推進
	2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	① 地域主体で取り組む社会教育の振興
		④ 青少年の健全育成に向けた取組の推進
	3 文化芸術の振興	① 文化芸術活動の推進
	4 生涯スポーツの振興	① 生涯スポーツ活動の推進
4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	① コンパクトなまちづくりの推進
		④ 安全で快適な住環境の整備
	2 魅力ある中心市街地等の形成	① 中心市街地等の都市機能の向上
	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	① 地域に合った計画的な土地利用の推進
	4 産業・商業の振興	① 商業の活性化に向けた取組の推進
		④ 先端技術産業の推進
	5 安心して働くことができるまちの実現	① 勤労者支援の充実
	6 観光の振興	① 広域観光の推進
	7 シティプロモーションと定住促進	① シティプロモーションの推進
	8 農業・林業・水産業の振興	① 農地有効利用の推進
		④ 林業への支援
5 環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）	1 地球温暖化対策の推進	① 環境教育の推進と環境問題に対する意識啓発
	2 未来へつなげる循環型都市の実現	① 3Rの推進による家庭系ごみの減量化・資源化
	3 自然との共生の推進	① 多様な自然環境・生物多様性の保全と活用
	4 緑豊かで美しいまちの実現	① 緑豊かな公園緑地の整備
	5 河川と共生するまちの実現	① 良好な河川環境の保全
6 市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）	1 市民参加・市民協働の推進	① 市民協働の推進
	2 行財政改革の推進	① 行政改革の推進
	3 都市間連携の推進	① 広域連携の推進

施策の方向（83）	
② 災害対応力の強化	③ 地域防災組織の強化
② 救急体制の充実	③ 火災予防対策の推進
② 交通安全対策の強化	③ 防犯に対する取組の推進
② 就労・生きがいづくりの推進	③ 福祉サービス提供体制の充実
⑤ 障がい者福祉サービスの充実	⑥ 包括的な支援体制の充実
② 保育・幼児教育等の提供体制の充実	③ 親と子の健康づくりの推進
② 心と体の健康づくりの推進	③ 介護予防と認知症に対する取組の推進
② 多文化共生の推進	③ 相談・支援体制の充実
② 子どもたちを育てる支援体制の充実	③ 安全な教育環境の整備
② 家庭・地域・学校の協働の推進	③ 生涯学習活動の推進
② 郷土文化の継承と発展	
② 競技スポーツ活動の推進	③ スポーツ施設の整備・充実
② 市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進	③ 移動しやすい公共交通環境の整備
②にぎわい創出に向けた取組の推進	
② 景観形成の推進	③ 新たな産業拠点の整備
② 創業支援と中小企業支援の充実	③ 企業誘致の促進
② 勤労者の福利厚生支援	
② 観光資源の磨き上げの推進	③ 情報発信の充実
② 定住促進に向けた取組の推進	
② 地産地消の推進・６次産業化の推進	③ 鳥獣被害対策の強化
⑤水産業の活性化	
② 再生可能エネルギーの導入推進	③ 温室効果ガスの排出抑制
② 事業系ごみの更なる減量化・資源化	③ 安定的なごみ処理体制の確立
② 森林再生の推進	
② 環境美化の推進	
② 親しみやすい河川環境の整備	
② 地域コミュニティ活動の充実	③ 情報発信力の強化
② 健全な財政運営	③ 公共施設最適化の推進
② 他都市との交流促進	

重点項目

■安心・安全に暮らせるまち
■誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができるまち
■デジタル化の推進及び自然環境と共生した持続可能なまち

６　第 10 次厚木市総合計画の施策評価について

施策評価は、本市の行政運営を総合的かつ計画的に進めるための最高指針である第 10 次厚木市総合計画の目標に対する達成状況などについて検証を行い、より一層の市民満足度の向上や効果的・効率的な行政運営を推進するほか、施策の達成状況や今後の方向性を公表し、市民の皆様との共有を図ることにより、透明性の高い信頼される市政運営を推進することなどを目的に実施しました。

(1) 評価方法

第 10 次厚木市総合計画第１期基本計画の施策の達成目標に位置付ける「代表となる指標」、「市民実感度」及び第１期・第２期実施計画に位置付ける「実施計画事業指標」の目標値に対する達成率を点数化し、各基本施策の総合得点を４段階の評価区分で評価しました。また、厚木市総合計画審議会からの意見を踏まえ、総合的な評価を行いました。

① 点数化の方法

ア　代表となる指標　［配点：50 点］

第 10 次厚木市総合計画第１期基本計画の各基本施策に位置付ける「代表となる指標」の目標値に対する達成率を点数化した。	
達成率（%）×50 点	【例】　達成率 100%の場合　100%×50 点＝50 点 達成率　50%の場合　50%×50 点＝25 点 達成率　0%の場合　0%×50 点＝0 点

イ　市民実感度　［配点：30 点］

第 10 次厚木市総合計画第１期基本計画の各基本施策に位置付ける「市民実感度」の目標値に対する達成率を点数化した。	
達成率（%）×30 点	【例】　達成率 100%の場合　100%×30 点＝30 点 達成率　50%の場合　50%×30 点＝15 点 達成率　0%の場合　0%×30 点＝0 点

ウ　実施計画事業指標　［配点：20 点］

第 10 次厚木市総合計画第１期・第２期実施計画の各事業に位置付ける指標の目標値に対する達成率を点数化した。	
達成率（%）×20 点	【例】　達成率 100%の場合　100%×20 点＝20 点 達成率　50%の場合　50%×20 点＝10 点 達成率　0%の場合　0%×20 点＝0 点

② 総合評価区分

総合得点	評価区分	
90 点以上	A	順調
80 点以上 90 点未満	B	おおむね順調
60 点以上 80 点未満	C	やや遅れ
60 点未満	D	遅れ

第２章　第10次厚木市総合計画の取組と成果

第２章　第 10 次厚木市総合計画の取組と成果

本市では、第 10 次厚木市総合計画に定める将来都市像「自分らしさ輝く　希望と幸せあふれる　元気なまち　あつぎ」を実現するため、六つのまちづくりのビジョンを設定し、施策を推進するとともに、施策の成果を明確にするため、施策の達成目標として市民実感度及び代表となる指標を設定し、実施計画事業の進捗と合わせて、毎年度、施策評価を行い、見直しや改善を図ってきました。

今回、令和８年 10 月に行った、第 10 次厚木市総合計画の最終年度である令和７年度の取組実績を対象とした施策評価結果を踏まえ、第 10 次厚木市総合計画（令和３～７年度）５年間の主な取組、成果と課題について、六つのまちづくりのビジョン別にまとめたものです。

なお、令和３年度は、年間を通じて新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため、コロナ禍の影響を受けた指標については、除外して評価を行っています。

基本政策		基本施策	令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
			総合得点	総合評価	総合得点	総合評価	総合得点	総合評価	総合得点	総合評価	総合得点	総合評価
1 安心政策	1	災害に強いまちの実現	96.3	A	90.9	A	88.3	B	88.7	B	85.0	B
	2	消防力の充実・強化	98.8	A	93.3	A	97.7	A	94.8	A	93.1	A
	3	セーフコミュニティの推進	95.8	A	85.2	B	83.2	B	81.4	B	77.7	C
2 輝き政策	1	住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	97.5	A	91.0	A	90.7	A	88.2	B	91.8	A
	2	子育て環境の充実	98.3	A	95.8	A	94.0	A	95.4	A	94.2	A
	3	健康寿命延伸の推進	97.3	A	90.6	A	91.2	A	92.7	A	90.8	A
	4	多様性の尊重と平和都市の推進	93.3	A	75.5	C	77.7	C	81.3	B	81.7	B
3 成長政策	1	学校教育の充実	98.1	A	96.9	A	95.2	A	96.2	A	95.9	A
	2	地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	98.3	A	92.9	A	94.0	A	91.7	A	95.0	A
	3	文化芸術の振興	99.4	A	83.4	B	81.5	B	83.0	B	79.0	C
	4	生涯スポーツの振興	90.0	A	88.5	B	88.8	B	89.7	B	86.5	B
4 発展政策	1	誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	89.7	B	85.9	B	85.4	B	87.7	B	85.4	B
	2	魅力ある中心市街地等の形成	93.9	A	85.3	B	80.4	B	89.2	B	87.3	B
	3	地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	99.3	A	97.9	A	97.3	A	98.2	A	98.5	A
	4	産業・商業の振興	77.3	C	91.3	A	92.9	A	94.1	A	94.2	A
	5	安心して働くことができるまちの実現	100.0	A	93.5	A	82.8	B	86.4	B	81.1	B
	6	観光の振興	98.4	A	90.3	A	92.4	A	94.0	A	93.2	A
	7	シティプロモーションと定住促進	94.9	A	86.5	B	77.8	C	72.1	C	70.9	C
	8	農業・林業・水産業の振興	98.9	A	96.2	A	97.2	A	93.2	A	91.2	A
5 潤い政策	1	地球温暖化対策の推進	98.1	A	88.4	B	83.3	B	78.6	C	76.4	C
	2	未来へつなげる循環型都市の実現	97.9	A	95.5	A	95.7	A	90.3	A	88.9	B
	3	自然との共生の推進	98.3	A	85.1	B	80.9	B	79.8	C	77.9	C
	4	緑豊かで美しいまちの実現	97.1	A	92.5	A	90.3	A	93.5	A	84.9	B
	5	河川と共生するまちの実現	92.4	A	83.6	B	95.7	A	78.3	C	65.4	C
6 共創政策	1	市民参加・市民協働の推進	99.9	A	96.6	A	95.0	A	94.9	A	94.7	A
	2	行財政改革の推進	97.7	A	93.8	A	91.5	A	90.0	A	92.6	A
	3	都市間連携の推進	97.0	A	75.7	C	74.9	C	79.3	C	80.9	B

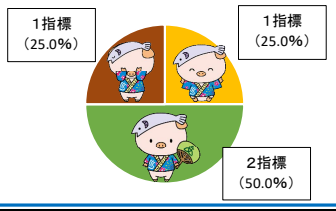
※令和３年度の網掛け部分については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標を除外して評価

ビジョンごとのシートの見方

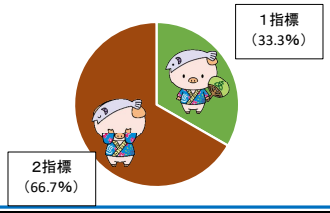
まちづくりのビジョン（基本政策）	1	命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	1	災害に強いまちの実現
目指す姿	・災害に備えたハード整備など、防災・減災対策が進んでいます。 ・防災・減災への意識が高まり、一人一人が日頃から災害への備えを行っています。 ・災害発生時には、市民・事業者・行政が一体となって、自助・共助・公助の連携が更に進んでいます。	
第１期基本計画での取組方針	・地震や風水害に備えた防災インフラの整備及び耐震化の普及啓発を進めます。 ・市民が「自分の命は自分が守る」という防災意識を持ち、必要な準備を行うことができるよう、情報の周知や啓発を行うとともに、災害時においても必要な医療が受けられるよう、体制の整備を進めます。 ・自主防災組織への支援や避難所機能強化等を通じて、地域防災力の強化を図ります。	
施策の方向	① 災害に強い社会基盤の整備 ② 災害対応力の強化 ③ 地域防災組織の強化	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標



市民実感度



◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
災害に備えていることがある市民の割合（%）	86.3（令和２年度）	98.0	85.0	86.7%	
住宅の耐震化率（%）	89.8（令和元年度）	95.8	93.4	97.5%	
災害応急対策等に関する協定の締結数（件）	121（令和元年度）	155	154	99.4%	
市民防災研修会における防災に対する意識高揚度（%）	－	95.0	95.8*	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合	40.8（令和２年度）	44.3	41.4	93.5%	
災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合	49.8（令和２年度）	58.3	44.7	76.7%	
自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合	37.3（令和２年度）	47.9	35.1	73.3%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

施策の方向	① 災害に強い社会基盤の整備
取組の方向性	急傾斜地の土砂崩れ対策、河川の洪水対策や下水道による浸水対策などにより、地震、風水害時のリスク軽減に向けた取組を行います。 また、耐震化促進の普及啓発を進め、必要な水準を満たさない建物の耐震化を支援します。
第10次総合計画期間（令和３～７年度）に実施した主な取組等	・急傾斜地等崩壊防止対策工事費の一部助成 ・本厚木駅周辺の厚木排水区において雨水貯留管を整備 ・市内各地の浸水被害発生箇所における雨水管整備工事の実施 ・耐震性が低い住宅の解消等を目標とし、厚木市耐震改修促進計画を改定 ・木造住宅の耐震改修を促進するための補助、耐震診断及び耐震改修工事に係る経費の一部を補助（補助額の増額、非課税世帯への加算及び除却工事に係る補助制度の新設） ・緊急輸送道路等の沿道建築物の所有者に対する耐震改修設計及び耐震改修工事の実施要請 ・民間における止水板設置の取組に係る費用の一部補助
施策の方向	② 災害対応力の強化
取組の方向性	「自分の命は自分で守る」という防災意識を啓発するため、防災訓練を実施するとともに、地区別防災マップやオールハザードマップの活用を図り、指定避難所などを周知します。 また、市立病院等との連携により、災害時に継続して医療を提供できるよう医療体制の確保に努めます。
第10次総合計画期間（令和３～７年度）に実施した主な取組等	・市及び自主防災隊における総合防災訓練の実施 ・地区別防災マップ及びオールハザードマップの作成・配布 ・防災行政無線を補完する防災ラジオの有償配布
施策の方向	③ 地域防災組織の強化
取組の方向性	自主防災組織の支援や避難所の機能強化と運営支援などを通じて、地域における防災対応力を強化します。
第10次総合計画期間（令和３～７年度）に実施した主な取組等	・防災指導員や防災推進員に対する資機材等の取扱研修会の開催 ・市民の防災意識を高めるための市民防災研修会の実施

◆成果と課題

成果	防災意識の啓発については、市民防災研修会を実施したほか、各種研修、講話等を通じて、市の防災・減災対策や自助の重要性を周知した。これらの取組により、代表となる指標「市民防災研修会における防災に対する意識高揚度」の目標値を達成し、市民の防災意識の高揚を図ることができた。 また、水害防止を目的とした雨水管等の整備や民間における止水板設置に係る費用の一部助成を進めたほか、耐震改修促進計画を改定し、啓発活動や職員による相談会、助成事業などにより住宅の耐震化を推進した。これにより、代表となる指標「住宅の耐震化率」及び市民実感度「急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合」がおおむね順調に推移し、被害を最小限にとどめる環境づくりを進めることができた。
課題	市民の防災意識の高揚を図るため、地区別防災マップ及びオールハザードマップの作成・配布等に取り組んだが、代表となる指標「災害に備えていることがある市民の割合」の実績値が低下したことから、市が行っている防災・減災対策の取組や補助制度について、より一層効果的な情報発信を行う必要がある。 また、市及び自主防災隊における総合防災訓練を実施したほか、防災行政無線を補完する防災ラジオの有償配布に取り組んだが、市民実感度「災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値が低下したことから、災害種別やニーズに沿った研修会や避難所運営訓練等を実施する必要がある。 なお、断水・停電の長期化に伴う衛生問題など、近年の大規模災害で明らかとなった課題を踏まえ、避難所への井戸や災害用トイレの整備など、災害時も安心して過ごせる環境を整えていく必要がある。

第10次総合計画第1期基本計画に位置付ける、「代表となる指標」及び「市民実感度」の令和7(2025)年度の達成率に応じて、次の区分で評価し、結果の内訳をグラフ化しています（割合は四捨五入のため合計が100.0%にならない場合があります）。

【 凡 例 】

・達成率が100.0%となった場合



・実績値が目指す方向のとおり推移したが、達成率が80.0%以上100.0%未満となった場合



・達成率が80.0%未満もしくは実績値が目指す方向のとおり推移しなかった場合



「代表となる指標」及び「市民実感度」の令和7(2025)年度の結果を記載しています。

ビジョンごとの成果及び課題を記載しています。

第10次総合計画第1期（第2期）実施計画に位置付ける事業について、施策の方向ごとに主な取組等を記載しています。
なお、事業等の指標ごとの推移はP85以降に記載しています。

ビジョン１

命、財産を守り抜くまち（安心政策）

【基本施策】

１　災害に強いまちの実現

２　消防力の充実・強化

３　セーフコミュニティの推進

【全体結果】

・最終年度における代表となる指標の達成率平均（14指標）　85.3%

・最終年度における市民実感度の達成率平均（９指標）　84.0%

【評価区分】

代表となる指標	
	１指標
	７指標
	６指標

市民実感度	
	０指標
	５指標
	４指標

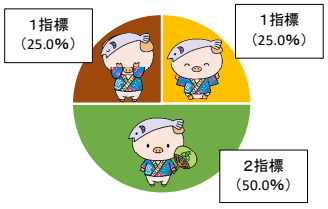
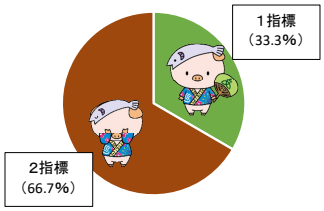
【総評】

「ビジョン１　命、財産を守り抜くまち」については、総合計画の基本計画に位置付けられた代表となる指標の達成率平均が 85.3%、市民実感度の達成率平均が 84.0%となり、おおむね順調に推移した。

しかしながら、命、財産を守り抜くまちの実現状況を評価するための重要な指標である、代表となる指標「交通事故発生件数（暦年）（20 ページ）」はおおむね順調に推移した一方で、「出火率（人口１万人当たりの出火件数）（18 ページ）」及び「刑法犯認知件数（暦年）（20 ページ）」は悪化したため、第 11 次総合計画で引き続き取り組んでいく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	1	命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	1	**災害に強いまちの実現**
目指す姿	・災害に備えたハード整備など、防災・減災対策が進んでいます。 ・防災・減災への意識が高まり、一人一人が日頃から災害への備えを行っています。 ・災害発生時には、市民・事業者・行政が一体となって、自助・共助・公助の連携が更に進んでいます。	
第１期基本計画での取組方針	・地震や風水害に備えた防災インフラの整備及び耐震化の普及啓発を進めます。 ・市民が「自分の命は自分が守る」という防災意識を持ち、必要な準備を行うことができるよう、情報の周知や啓発を行うとともに、災害時においても必要な医療が受けられるよう、体制の整備を進めます。 ・自主防災組織への支援や避難所機能強化等を通じて、地域防災力の強化を図ります。	
施策の方向	① 災害に強い社会基盤の整備 ② 災害対応力の強化 ③ 地域防災組織の強化	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
災害に備えていることがある市民の割合（%）	86.3（令和２年度）	98.0	85.0	86.7%	
住宅の耐震化率（%）	89.8（令和元年度）	95.8	93.4	97.5%	
災害応急対策等に関する協定の締結数（件）	121（令和元年度）	155	154	99.4%	
市民防災研修会における防災に対する意識高揚度（%）	－	95.0	95.8	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合	40.8（令和２年度）	44.3	41.4	93.5%	
災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合	49.8（令和２年度）	58.3	44.7	76.7%	
自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合	37.3（令和２年度）	47.9	35.1	73.3%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

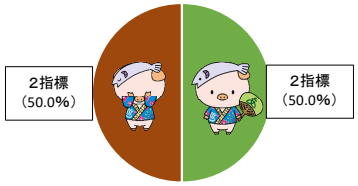
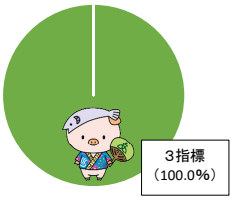
施策の方向	① 災害に強い社会基盤の整備
取組の方向性	急傾斜地の土砂崩れ対策、河川の洪水対策や下水道による浸水対策などにより、地震、風水害時のリスク軽減に向けた取組を行います。 また、耐震化促進の普及啓発を進め、必要な水準を満たさない建物の耐震化を支援します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・急傾斜地等崩壊防止対策工事費の一部助成 ・本厚木駅周辺の厚木排水区において雨水貯留管を整備 ・市内各地の浸水被害発生箇所における雨水管整備工事の実施 ・耐震性が低い住宅の解消等を目標とし、厚木市耐震改修促進計画を改定 ・木造住宅の耐震改修を促進するための補助、耐震診断及び耐震改修工事に係る経費の一部を補助（補助額の増額、非課税世帯への加算及び除却工事に係る補助制度の新設） ・緊急輸送道路等の沿道建築物の所有者に対する耐震改修設計及び耐震改修工事の実施要請 ・民間における止水板設置の取組に係る費用の一部補助
施策の方向	② 災害対応力の強化
取組の方向性	「自分の命は自分で守る」という防災意識を啓発するため、防災訓練を実施するとともに、地区別防災マップやオールハザードマップの活用を図り、指定避難所などを周知します。 また、市立病院等との連携により、災害時に継続して医療を提供できるよう医療体制の確保に努めます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・市及び自主防災隊における総合防災訓練の実施 ・地区別防災マップ及びオールハザードマップの作成・配布 ・防災行政無線を補完する防災ラジオの有償配布
施策の方向	③ 地域防災組織の強化
取組の方向性	自主防災組織の支援や避難所の機能強化と運営支援などを通じて、地域における防災対応力を強化します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・防災指導員や防災推進員に対する資機材等の取扱研修会の開催 ・市民の防災意識を高めるための市民防災研修会の実施

◆成果と課題

成果	防災意識の啓発については、市民防災研修会を実施したほか、各種研修、講話等を通じて、市の防災・減災対策や自助の重要性を周知した。これらの取組により、代表となる指標「市民防災研修会における防災に対する意識高揚度」の目標値を達成し、市民の防災意識の高揚を図ることができた。 また、水害防止を目的とした雨水管等の整備や民間における止水板設置に係る費用の一部助成を進めたほか、耐震改修促進計画を改定し、啓発活動や職員による相談会、助成事業などにより住宅の耐震化を推進した。これにより、代表となる指標「住宅の耐震化率」及び市民実感度「急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合」がおおむね順調に推移し、被害を最小限にとどめる環境づくりを進めることができた。
課題	市民の防災意識の高揚を図るため、地区別防災マップ及びオールハザードマップの作成・配布等に取り組んだが、代表となる指標「災害に備えていることがある市民の割合」の実績値が低下したことから、市が行っている防災・減災対策の取組や補助制度について、より一層効果的な情報発信を行う必要がある。 また、市及び自主防災隊における総合防災訓練を実施したほか、防災行政無線を補完する防災ラジオの有償配布に取り組んだが、市民実感度「災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値が低下したことから、災害種別やニーズに沿った研修会や避難所運営訓練等を実施する必要がある。 なお、断水・停電の長期化に伴う衛生問題など、近年の大規模災害で明らかとなった課題を踏まえ、避難所への井戸や災害用トイレの整備など、災害時も安心して過ごせる環境を整えていく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	1	命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	2	**消防力の充実・強化**
目指す姿	・複雑多様化、大規模化する災害に、迅速かつ的確に対応した消防体制が充実しています。 ・市民の応急処置への対応力向上と医療機関との連携の強化により、救急体制が充実し、救命率の向上が図られています。 ・防火意識が高まり、防火対策が推進されています。	
第１期基本計画での取組方針	・複雑多様化、大規模化する災害に、迅速かつ的確に対応するため、消防庁舎の整備、消防組織体制の見直し及び地域防災の要である消防団との連携強化を図ります。 ・応急手当の普及啓発、救急高度化の推進及び医療機関との連携による救急体制の充実を図ります。 ・火災のないまちを目指し、地域や事業者と連携した地域ぐるみの火災予防対策に取り組みます。	
施策の方向	① 消防体制の充実 ② 救急体制の充実 ③ 火災予防対策の推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
出火率（人口１万人当たりの出火件数）	2.4（令和元年度）	2.4	2.7	88.9%	
AED の使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合（%）	60.7（令和２年度）	66.9	64.7	96.7%	
市民による応急手当の実施率（%）	61.2（令和元年度）	66.5	61.9	93.1%	
消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合（%）	79.4（令和２年度）	81.7	77.9	95.3%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
消防・救急・救助体制が充実していると思う市民の割合	70.7（令和２年度）	74.6	74.2	99.5%	
応急手当の普及に向けた取組が進んでいると思う市民の割合	47.5（令和２年度）	53.8	49.4	91.8%	
火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいると思う市民の割合	51.9（令和２年度）	58.9	55.0	93.4%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

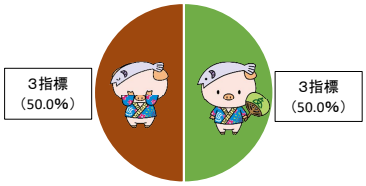
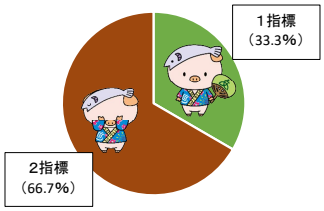
施策の方向	① 消防体制の充実
取組の方向性	消防拠点施設や消防資機材等の整備を始め、消防団員確保と活動環境の充実を図るとともに、消防広域応援体制を推進し、消防力を強化します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・地域の消防・防災の拠点となる南毛利分署・相川分署の移転整備 ・消防団の強化を図るため、器具置場の建て替え及び装備品の整備 ・車両整備計画に基づく消防車両の更新整備 ・睦合分署消防訓練場の再整備及び訓練用模擬家屋の設置 ・高機能消防指令センター移転整備に向けた電波伝搬路調査及び実施設計業務委託の実施 ・厚木消防署本署の建て替えに向けた再整備検討支援業務委託及び庁舎敷地測量の実施 ・災害時の情報収集を目的とした各種ドローンの整備 ・災害に対応できる体制を強化するため、大規模災害サポート隊に訓練を実施
施策の方向	② 救急体制の充実
取組の方向性	市民協働による応急救護体制を強化するため、幅広く救命講習会を開催し、応急手当の普及啓発を推進します。 また、医療機関との連携を更に強化し、救命率の向上を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・救命率の向上を図るため、小・中学生を含む幅広い幅広い世代を対象とした救命講習の実施 ・医療機関と連携した派遣型救急ワークステーション方式による効果的な病院実習の実施及び医師が救急車に同乗して現場に急行する救急医療体制の構築 ・救急業務の高度化を着実に推進するため、指導救命士や高度な医療処置ができる認定救命士の育成
施策の方向	③ 火災予防対策の推進
取組の方向性	地域や事業所における防火意識の普及啓発を推進するとともに、立入検査等を強化し、地域と連携した火災予防対策に取り組みます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・火災予防運動を始めとする各種イベント行事において火災予防啓発活動の実施 ・ＳＮＳを活用した住宅用防災機器設置の必要性と維持管理の重要性の周知 ・デジタル技術を活用した立入検査の実施による「火災による死者ゼロ」の取組の推進

◆成果と課題

成果	救急体制の充実については、普通救命講習会等の実施により応急手当の普及啓発に取り組んだ。これらの取組により、代表となる指標「ＡＥＤの使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合」及び市民実感度「応急手当の普及に向けた取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値がおおむね順調に推移し、救命率の向上につながる環境づくりを進めることができた。 また、消防体制の充実に向け、消防庁舎、消防車両及び消防団安全装備品等を整備したほか、大規模災害サポート隊に対する訓練を実施し、災害に対応できる体制を強化した。これにより、代表となる指標「消防・救急・救助体制が充実していると思う市民の割合」の実績値がおおむね順調に推移し、消防・救急体制の充実強化につなげることができた。
課題	火災予防については、各種イベント行事における啓発活動やＳＮＳを活用した周知に取り組んだが、代表となる指標「出火率（人口１万人当たりの出火件数）」が増加し、市民実感度「消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合」の実績値が低下した。引き続き、消防団を含めた関係機関と連携するとともに、火災が多くなる時期に合わせてイベントやＳＮＳ等による啓発を強化するなど、取組を工夫していく必要がある。 また、激甚化・頻発化する自然災害や発生が危惧される都心南部直下地震等の大規模災害に対応するため、厚木消防署本署の建て替えを始めとする消防拠点施設や消防資機材等の整備を計画的に進めていく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	1	命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	3	**セーフコミュニティの推進**
目指す姿	「事故やけがは、偶然の結果ではなく、予防できる」というセーフコミュニティの理念の下、地域住民などとの協働により、誰もがいつまでも安心・安全で健康に暮らせるまちが実現されています。	
第１期 基本計画での 取組方針	・市民・関係団体・行政などが連携・協働し、セーフコミュニティの認証指標やセーフコミュニティ推進条例に基づき、誰もが健康で安心して安全に暮らすことができるまちづくりを進めます。 ・交通安全の啓発活動や、放置自転車の対策に取り組みます。 ・街頭犯罪の未然防止及び犯罪の抑制を図るため、市民協働による防犯パトロールなどの防犯活動を行うとともに、消費者トラブルの早期解決・防止に向け、消費生活相談や啓発活動を実施します。	
施策の方向	① セーフコミュニティの取組の推進 ② 交通安全対策の強化 ③ 防犯に対する取組の推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度（%）	86.5 （令和元年度）	96.4	94.9	98.4%	
自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合（%）	53.2 （令和２年度）	66.2	53.9	81.4%	
交通事故発生件数（暦年）（件）	852 （令和元年度）	571	590	96.8%	
防犯などの対策について心掛けていることがある市民の割合（%）	90.1 （令和２年度）	95.0	88.9	93.6%	
刑法犯認知件数（暦年）（件）	1,259 （令和元年度）	590	1,498	39.4%	
特殊詐欺被害件数（暦年）（件）	31 （令和元年度）	13	48	27.1%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
事故やけがなどがない健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	41.8 （令和２年度）	52.3	41.4	79.2%	
交通安全の取組が進んでいると思う市民の割合	40.4 （令和２年度）	50.4	41.0	81.3%	
防犯の取組が進んでいると思う市民の割合	36.8 （令和２年度）	50.0	33.8	67.6%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

施策の方向	① セーフコミュニティの取組の推進
取組の方向性	セーフコミュニティの理念の下、市民や関係団体など、安全の向上を担う様々な組織と連携・協働し、事故やけがなどのデータの収集と科学的な分析を行い、根拠に基づいた対策を実施します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・急傾斜地等崩壊防止対策工事費の一部助成 ・本厚木駅周辺の厚木排水区において雨水貯留管を整備 ・市内各地の浸水被害発生箇所における雨水管整備工事の実施 ・耐震性が低い住宅の解消等を目標とし、厚木市耐震改修促進計画を改定 ・木造住宅の耐震改修を促進するための補助、耐震診断及び耐震改修工事に係る経費の一部を補助（補助額の増額、非課税世帯への加算及び除却工事に係る補助制度の新設） ・緊急輸送道路等の沿道建築物の所有者に対する耐震改修設計及び耐震改修工事の実施要請 ・民間における止水板設置の取組に係る費用の一部補助
施策の方向	② 交通安全対策の強化
取組の方向性	地域と行政などとの協働により、市内の主要道路における交通指導や駅周辺などでの啓発キャンペーンを実施します。 また、放置自転車の指導・整理や自転車などの駐車場の拡充などにより、通行の安全確保を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・通行の安全確保に向けた、交通安全の会会員や交通安全指導員による立哨の実施 ・放置自転車の撤去及び駐輪場への駐輪を促す取組の実施 ・市民の交通安全意識の向上に向けた、本厚木駅前や自転車等駐輪場周辺での啓発物品等の配布及び声掛けの実施 ・交通安全教室の開催 ・自転車ヘルメット購入費用の一部助成
施策の方向	③ 防犯に対する取組の推進
取組の方向性	市民協働による防犯活動の充実を図ります。 また、特殊詐欺の情報の周知などに取り組むとともに、警察と連携して特殊詐欺被害の未然防止に努めます。 さらに、消費者トラブルの早期解決を図るとともに、悪質商法などに関する効果的な啓発活動の展開を図り、消費者被害の未然防止に努めます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・客引き行為等防止条例の一部改正による規制強化 ・客引き行為等指導員による本厚木駅周辺のパトロールを実施 ・関係団体や警察等と連携した本厚木駅周辺の環境浄化パトロールを実施 ・市内４郵便局や公民館において、市民安全指導員による移動番屋を実施 ・詐欺被害を未然に防ぐ効果のある固定電話機等を購入した世帯に対する補助金の交付 ・青色回転灯装備車による防犯パトロールを実施している団体に対する補助金の交付 ・街頭キャンペーンや公民館まつりにおいて、悪質商法被害未然防止に係る啓発活動を実施

◆成果と課題

成果	交通安全対策については、交通安全教室の開催や交通安全関係団体による立哨及び啓発活動に取り組んだほか、自転車ヘルメット購入費用の一部助成を行うなど、取組の強化を図った。これにより、代表となる指標「交通事故発生件数（暦年）」がおおむね順調に推移したほか、「自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合」及び市民実感度「交通安全の取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値が上昇し、安全に通行できる環境づくりを進めることができた。
課題	客引き行為等防止条例の一部改正による規制強化や客引き行為等指導員及び市民安全指導員によるパトロール等を実施したほか、公民館まつり等において悪質商法被害未然防止活動に取り組んだが、代表となる指標「刑法犯認知件数（暦年）」、「特殊詐欺被害件数（暦年）」が増加し、市民実感度「防犯の取組が進んでいると思う市民の割合」等の実績値が低下したため、犯罪等の未然防止に向けた啓発・情報提供等を強化し、犯罪に対する抑止力を高めていく必要がある。 また、消費生活に関する相談は内容が多様化・複雑化していることから、消費生活相談員の確保及び資質の向上を図る必要がある。

ビジョン２

支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）

【基本施策】

１　住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現

２　子育て環境の充実

３　健康寿命延伸の推進

４　多様性の尊重と平和都市の推進

【全体結果】

・最終年度における代表となる指標の達成率平均（24指標）　89.9%

・最終年度における市民実感度の達成率平均（17指標）　91.2%

【評価区分】

代表となる指標	
	8 指標
	9 指標
	7 指標

市民実感度	
	4 指標
	11指標
	2 指標

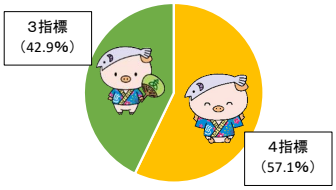
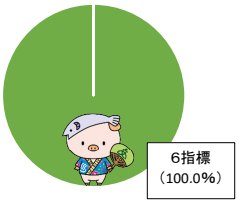
【総評】

「ビジョン２　支え合い、生き生きと暮らせるまち」については、総合計画の基本計画に位置付けられた代表となる指標の達成率平均が 89.9%、市民実感度の達成率平均が 91.2%となり、おおむね順調に推移した。

特に、支え合い、生き生きと暮らせるまちの実現状況を評価するための重要な指標である、代表となる指標「生きがいを持って生活を送っている市民の割合（24 ページ）」、「保育施設等入所率（28 ページ）」及び市民実感度「国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合（32 ページ）」において、高い達成率で推移するなどの成果を上げることができた。

まちづくりのビジョン（基本政策）	2	支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	1	**住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現**
目指す姿	誰もが、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる社会が実現されています。	
第１期 基本計画での 取組方針	・「見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり」を進め、助け合える関係を構築します。 ・高齢者の生きがいや就労機会の創出の取組を進め、社会参加の機会を提供します。 ・介護老人保健施設などの整備や人材確保など、ニーズに対応した高齢者福祉サービス提供体制を整備します。 ・高齢者が可能な限り自立した生活を送ることができるよう、生活支援の取組を進めます。 ・障がい者が自立して生活できるよう、また、サービスを必要とする人に質の高いサービスを提供できるよう、サービス内容の充実や人材の確保に取り組みます。 ・医療、介護、福祉等の連携による包括的な支援体制の構築を図ります。	
施策の方向	① 地域福祉活動の推進 ② 就労・生きがいづくりの推進 ③ 福祉サービス提供体制の充実 ④ 高齢者福祉サービスの充実 ⑤ 障がい者福祉サービスの充実 ⑥ 包括的な支援体制の充実	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
地域の人との関わりがあると思う市民の割合（%）	53.9 （令和２年度）	62.0	57.0	91.9%	
生きがいを持って生活を送っている市民の割合（%）	74.6 （令和２年度）	79.0	75.2	95.2%	
ケアプラン点検の実施事業所数（事業所）	35 （令和元年度）	50	50	100.0%	
介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数（人）	20 （令和元年度）	50	51	100.0%	
地域住民による助け合い活動団体数（団体）	7 （令和元年度）	22	25	100.0%	
市内障害福祉サービス事業所の地域生活支援拠点の登録数（か所）	5 （令和元年度）	51	45	88.2%	
地域福祉コーディネーターの活動件数（件）	1,752 （令和元年度）	2,700	3,031	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいると思う市民の割合	48.0 （令和２年度）	58.0	55.0	94.8%	
高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいると思う市民の割合	39.6 （令和２年度）	48.0	46.0	95.8%	
高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実していると思う市民の割合	43.4 （令和２年度）	49.4	45.1	91.3%	
高齢者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合	44.3 （令和２年度）	49.0	45.5	92.9%	

指標名	策定時現状値(%)	R7目標値	R7実績値(%)	実績値(%)	評価区分
障がい者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合	36.4 (令和２年度)	49.0	40.3	82.2%	
支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実していると思う市民の割合	35.4 (令和２年度)	48.0	39.7	82.7%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

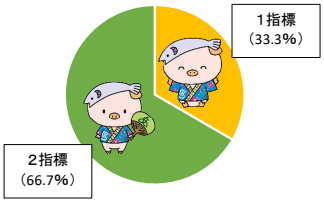
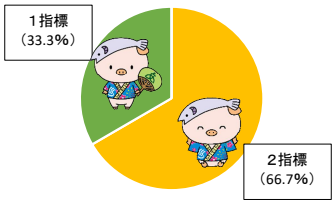
施策の方向	① 地域福祉活動の推進
取組の方向性	地域において、日頃から適度な距離感を持った、住民同士のゆるやかな見守り活動を通じて、困ったときに助け合える、「見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり」を進めます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・市内15地区の地域福祉推進委員会の活動を支援するため、社会福祉協議会を通じ交付金を交付 ・地域福祉の基本的な方向性や重点施策を定めた「地域福祉計画（第６期）」の策定及び推進
施策の方向	② 就労・生きがいづくりの推進
取組の方向性	高齢者の外出を促進するとともに、地域における交流の場を整備し、社会参加の機会の拡大を通じて、いつまでも生きがいを持てるよう支援します。 また、高齢者が培った豊かな知見や経験をいかせる場づくりを支援し、高齢者の就労機会の確保を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・65歳以上の方を対象に指定の老人保養施設等の利用料等の一部を助成 ・厚木市シルバー人材センターに対し補助金を交付 ・高齢者の生きがいづくりを推進するため、老人クラブ連合会の運営費等の一部を補助 ・市内障がい者就労施設等が設置した共同受注窓口に補助金を交付
施策の方向	③ 福祉サービス提供体制の充実
取組の方向性	要介護者などが、自宅で日常生活を維持するために、身体状況などに応じて作成された介護支援計画（ケアプラン）に基づき、必要なサービスが受けられるよう、サービス必要量の確保に努めます。 また、在宅サービスの要望を基本とした上で、必要に応じた施設整備を行います。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・地域包括ケア社会の実現に向けた行動計画である「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第９期）」の策定及び推進 ・介護給付の適正化に向け、ケアプラン点検を実施 ・介護人材の確保に向け、就職相談会を実施した市内介護サービス事業所等に対する交付金の交付及び事業所における人材確保に係る経費の支援 ・市内の事業所等に介護職員として従事している方の研修費用を助成 ・介護職の人材確保のため、奨学金の返済費用の一部助成並びに転入及び復職者に対する奨励助成金の交付 ・地域密着型サービス施設の整備や短期入所ベッドの介護老人福祉施設への転換による増床など、介護サービス提供体制の充実
施策の方向	④ 高齢者福祉サービスの充実
取組の方向性	ひとり暮らし高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、可能な限り自立した生活を送るための在宅支援サービスを提供します。 また、高齢者の外出機会を拡大するため、バス交通費に対する一部助成を行うなど、高齢者福祉サービスを提供します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・要介護・高齢者等歯科診療の運営費の一部を補助 ・高齢者の社会参加の機会拡大に向け、かなちゃん手形及び高齢者タクシー利用券の助成額等を拡大 ・高齢者等ができる限り安心して自立した生活を送ることができるよう、おむつや尿取りパッド等の日常生活用具の給付、杖や補聴器のほか住宅への手すり等の設置に係る費用等への一部助成及び緊急通報機器の貸与等を実施 ・各対象年齢に該当する高齢者に敬老祝品・祝金を贈呈 ・各老人ホームにおいて開催する敬老会に対し交付金を交付
施策の方向	⑤ 障がい者福祉サービスの充実
取組の方向性	福祉施設や医療機関などとの連携により、障がいの特性に応じた必要なサービスの提供の充実を図るとともに、地域や社会活動への参加を促進し、生きがいを持った自分らしい生活を支援します。 また、障がいに対する理解を深める機会を提供し、啓発を進めます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・障がい者福祉の基本的な計画である「厚木市障がい者福祉計画（第７期）」の策定及び推進 ・障がい者福祉サービスの充実に向け、障がい者歯科診療の運営費の一部を補助 ・市内８か所の障がい者相談支援センターで相談、助言及び必要な情報の提供を実施 ・地域生活支援拠点登録事業所による障がい者の緊急時受入を実施 ・障がいのある方に対して、特別障害者手当や心身障害者福祉手当などを支給 ・重度障がい者の医療に係る経済的負担を軽減するため、健康保険適用後の医療費の自己負担分を助成 ・児童発達支援センター「ひよこ園」において児童発達支援、保育所等訪問支援及び障がい児相談支援を実施
施策の方向	⑥ 包括的な支援体制の充実
取組の方向性	地域包括支援センターや障がい者相談支援センターを中心に、それぞれが地域の実態や課題について把握するとともに、関係機関などとの連携による分野横断的な相談体制の充実を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・地域包括支援センターが地域住民により身近な相談窓口となるよう、相談支援及び認知度向上に向けた周知を実施 ・在宅医療等に関する相談支援を行うため、地域包括ケア連携センターを設置 ・医療関係者の顔の見える関係づくり構築に向け、多職種研修会を開催 ・関係機関との連携により高齢者虐待の早期発見・早期対応を図るとともに、成年後見制度の利用支援及び市長申立てを実施 ・生活困窮者の自立に向け、自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、就労準備支援事業及び学習支援事業を実施

◆成果と課題

成果	地域福祉の推進については、地域福祉計画に基づき、市内15地区の地域福祉推進委員会の活動を支援したほか、地域包括支援センターの周知や多職種研修会の開催により、高齢者を適切なサービスにつなぐ相談支援体制を整えることができた。 高齢者福祉については、就労・生きがいづくりの支援や外出支援の拡充に取り組むとともに、介護人材の確保・定着に向けた助成や施設整備により、サービスの提供体制の充実を図った。また、障がい者福祉については、市内８か所の相談支援センターによる相談支援や緊急時の受入体制の整備等に取り組み、多様なニーズに応じた支援につなげることができた。 これらの取組により、代表となる指標「介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数」の目標値を達成したほか、「地域の人との関わりがあると思う市民の割合」等の指標がおおむね順調に推移し、支援を必要とする人を地域で支える体制づくりを進めることができた。
課題	今後も老年人口の割合が上昇し、生産年齢人口の割合が減少するほか、障がいサービス等の利用の増加とともにニーズも多様化、複合化することが見込まれている。このような社会環境の中でも、こどもから高齢者まで誰もが自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる「地域包括ケア社会」を実現させるためには、引き続き多様なニーズにきめ細かく対応する支援体制の整備に積極的に取り組む必要がある。 なお、発達に心配のある児童が緩やかな増加傾向にあることから、児童発達支援センター「ひよこ園」の移転・拡充について検討していく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	2	支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	2	子育て環境の充実
目指す姿	・子どもたちが健やかで心豊かに成長できる環境が整っています。 ・地域全体で子どもと子育て家庭を支える体制が整い、保護者が子育てに伴う誇りと喜びを実感できる社会が実現されています。 ・子どもたちの育つ力を応援するため、保育・幼児教育ニーズに対応したサービスが提供されています。 ・保健・医療支援が充実し、安心して子どもを産み育てることができる環境が整っています。	
第１期基本計画での取組方針	・子育て家庭に対する経済的な負担軽減などの子育てサービスを充実させるとともに、地域全体での子育てを推進するため、地域、関係機関などとの連携を深め、子育て支援体制の充実を図ります。 ・保育所などの機能充実や保育・幼児教育内容の充実を図るとともに、人材確保に努め、保育・幼児教育の提供体制の充実を図ります。 ・保健、福祉などの分野が連携した総合的な健康づくりや育児に関する不安・悩みの軽減を図り、親と子の健康づくりを推進します。	
施策の方向	① 子育てサービスの充実 ② 保育・幼児教育等の提供体制の充実 ③ 親と子の健康づくりの推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合（%）	55.9（令和２年度）	68.4	61.8	90.4%	
保育施設等入所率（%）	99.9（令和元年度）	100.0	100.0	100.0%	
妊娠届出率（妊娠11 週以下）（%）	80.9（令和元年度）	92.0	83.9	91.2%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
子育てサービスが充実していると思う市民の割合	66.0（令和２年度）	67.0	68.6	100.0%	
保育と幼児教育の提供体制が充実していると思う市民の割合	54.4（令和２年度）	56.4	55.8	98.9%	
母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合	51.3（令和２年度）	54.0	58.2	100.0%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

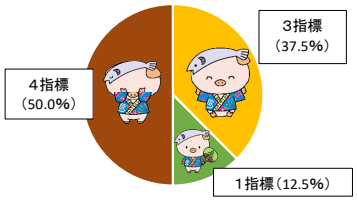
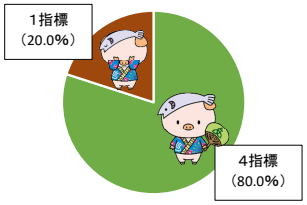
施策の方向	① 子育てサービスの充実
取組の方向性	ライフスタイルの変化などによる保育ニーズの多様化に対応した子育てサービスを提供するとともに、家庭や子どもの状況に合わせ、適切な支援を実施します。 また、地域における子育て支援体制の充実を図り、地域力を活用した子育て支援を促進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・子育てサロンの運営、育児不安等についての相談指導、子育て講座等、未就学児とその保護者を対象とした総合的な支援を実施 ・冒険・経験・体験・学びができる全天候型の屋内施設を目指し、子育て支援センターのリニューアル基本方針及び基本計画を策定 ・令和６年度に計画期間を満了した「あつぎ子ども未来プラン（第３期）」において推進してきた施策を継承しつつ、「こども基本法」が目指す「こどもまんなか社会の実現」を基本理念に掲げた新たな計画として「厚木市こども・若者みらい計画」を策定
施策の方向	② 保育・幼児教育等の提供体制の充実
取組の方向性	保育所の機能充実や、認定こども園、幼稚園、保育所などの保育・教育内容の充実を図るとともに、担い手となる教育・保育従事者の確保に取り組みます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・保育・教育の提供体制の充実に向け、認可保育所及び幼稚園等の運営費並びに各園が実施する事業に対し補助金を交付 ・保育士及び幼稚園教諭の人材確保のため、奨学金の返済費用の一部助成及び転入・復職者等に対する奨励助成金を交付 ・市内幼稚園への就職を後押しするため、転入費用助成、復職者支援助成及び奨学金返済助成を実施したほか、令和７年度から、採用後最長５年間継続して市内の園に勤務する方への給付金制度を開始 ・私設保育施設等を利用する世帯に対し助成金を交付 ・バリアフリー化を実現した小鮎保育所の建て替え整備を実施
施策の方向	③ 親と子の健康づくりの推進
取組の方向性	子どものライフステージに応じて、保健、福祉などの分野が連携した、総合的な健康づくりに取り組みます。 また、保護者の育児に関する悩みや不安の軽減を図るとともに、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を提供します。 さらに、療育を必要とする子どもとその保護者に対する療育支援を推進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・親と子の健康づくりを目的に、母子健康手帳の交付や妊婦・産婦・こどもの各種健康診査等を実施 ・療育相談センター「まめの木」において、療育相談、経過観察、親子サロンを実施 ・子育て世帯の経済的負担の軽減に向け、子ども医療費の助成を高校生年齢まで拡大 ・ひとり親家庭等の経済的負担の軽減に向け、健康保険適用医療費の自己負担分を助成 ・母子家庭等に対し、福祉手当、家賃助成及び就学祝金等を支給

◆成果と課題

成果	子育て支援の充実については、子育てサロンの運営や育児不安に関する相談指導など、未就学児とその保護者に対する総合的な支援に取り組むとともに、「こどもまんなか社会」の実現に向けた「厚木市こども・若者みらい計画」を策定した。 また、保育・教育の提供体制の充実については、各園の運営に対する補助や小鮎保育所の建て替え整備を実施したほか、保育士・幼稚園教諭の人材確保に向けた各種助成に取り組んだ。経済的支援については、子ども医療費助成の対象年齢を高校生年齢まで拡大し、子育て世帯の負担軽減を図った。 これらの取組により、代表となる指標「保育所入所率」や市民実感度「子育てサービスが充実していると思う市民の割合」の目標値を達成したほか、代表となる指標「子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合」等の指標がおおむね順調に推移し、安心してこどもを産み育てられる環境づくりを進めることができた。
課題	子育てに関する相談内容は多様化・複雑化しており、関係機関との連携強化や相談員等の専門性の向上を図る必要がある。また、こどもの数が減少する一方で必要とされる教育・保育の内容は増加していることから、各園における人材確保への支援を一層進める必要がある。 全国的に出生数の減少に歯止めがかからず、少子化への対応が課題となっているため、本市では、第11次厚木市総合計画の重点プロジェクトに「育てたいまち」を掲げ、こどもたちが幸せに暮らし続けられるまちをつくることを目指し、引き続き妊娠から出産、こどもの成長過程における切れ目のない支援等に取り組んでいく。

まちづくりのビジョン（基本政策）	2	支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	3	**健康寿命延伸の推進**
目指す姿	・地域医療の提供体制が整い、安心して医療機関を受診できる体制づくりが進んでいます。 ・予防的観点から、ライフステージに応じた健康づくりの取組が進み、健康寿命が延伸されています。 ・介護予防の取組が進み、健康寿命が延伸されるとともに、認知症に対する理解が広まり、高齢者やその家族を支える体制が整っています。	
第１期基本計画での取組方針	・新たな感染症を始め、あらゆる医療ニーズに対応するため、市立病院など地域医療支援病院と地域の医療機関等との連携により、医療体制の更なる充実を図ります。 ・健康診査受診率の向上を図るとともに、保健、栄養指導、健康講座等による健康管理意識の高揚により、健康づくりを進めます。 ・要介護状態になることを予防するため、介護予防ケアマネジメントを実施するとともに、医療や福祉サービスと連携した認知症対策を進めます。	
施策の方向	① 地域医療体制の充実 ② 心と体の健康づくりの推進 ③ 介護予防と認知症に対する取組の推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
市立病院の紹介率（%）	71.2（令和元年度）	81.0	90.7	100.0%	
市立病院の逆紹介率（%）	60.9（令和元年度）	87.5	103.0	100.0%	
健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合（%）	90.0（令和２年度）	93.0	90.1	96.9%	
健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合（%）	80.0（令和２年度）	85.0	78.5	92.4%	
特定健康診査の受診率（%）	36.3（令和元年度）	42.0	32.2	76.7%	
長寿健康診査等の受診率（%）	39.5（令和元年度）	41.4	37.2	89.9%	
認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある市民の割合（%）	78.9（令和２年度）	79.4	78.2	98.5%	
高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合（%）	14.3（令和元年度）	18.0	17.6	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実していると思う市民の割合	56.0（令和２年度）	58.5	56.3	96.2%	
市立病院の救急医療体制が充実していると思う市民の割合	50.2（令和２年度）	57.5	51.3	89.2%	
市立病院と地域のクリニック等との連携が充実していると思う市民の割合	39.6（令和２年度）	47.0	44.3	94.3%	

指標名	策定時現状値(%)	R7目標値	R7実績値(%)	実績値(%)	評価区分
検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合	64.1 (令和２年度)	74.0	63.7	86.1%	
介護予防と認知症に対する取組が進んでいると思う市民の割合	31.2 (令和２年度)	38.0	34.0	89.5%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

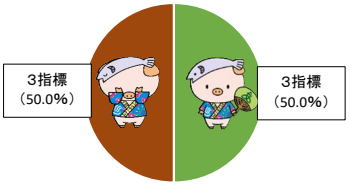
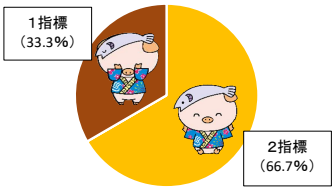
施策の方向	① 地域医療体制の充実
取組の方向性	医療需要の増大に対応するため、保健師や看護師等の医療人材の確保、定着を図り、医療体制を強化します。 また、休日・夜間における救急医療体制の確保、健康相談や医療機関情報の提供の充実を図るとともに、市立病院と地域の医療機関等との連携を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・看護職等の人材確保のため、奨学金の返済費用の一部助成及び転入・復職者等に対する奨励助成金の交付 ・救急医療体制の充実に向け、休日夜間急患診療、病院群輪番制病院及び休日歯科診療の運営に対し補助金を交付 ・新型コロナウイルス感染症専用病床の確保などによる受入体制の強化 ・地域医療機関との連携強化及び機能分化に向け、紹介及び逆紹介の推進 ・救急医療体制の拡充に向け、救急科専門医を常勤配置
施策の方向	② 心と体の健康づくりの推進
取組の方向性	各種検診等に対する周知や積極的受診勧奨により、受診率の向上を図り、疾病の早期発見・早期治療に取り組むとともに、健康管理に関する情報提供等により健康課題に関する認知度、意識の高揚を図り、生活習慣病の発症、重症化の予防を推進します。 また、生涯にわたり心身ともに健康に過ごせるよう、運動等の身体を動かす機会の提供や心と体の健康相談を実施します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・24時間、年中無休で健康相談や医療機関情報等の提供を行うあつぎ健康相談ダイヤル24を実施 ・生活習慣病予防に関する健康講座や栄養指導等を実施 ・各種健診・検診の受診等により抽選で特典が当たる「あつぎ健康チャレンジ」を実施 ・各種がん検診並びに定期予防接種及び任意予防接種を実施 ・特定健康診査及び長寿健康診査の受診勧奨並びにデータヘルス計画推進事業を実施
施策の方向	③ 介護予防と認知症に対する取組の推進
取組の方向性	要支援者等の多様な生活支援ニーズに対応した介護サービスの提供を行うとともに、要介護状態等になることを予防するため、介護予防ケアマネジメントを実施します。 また、医療や福祉サービスと連携した認知症に対する総合的な支援を行います。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・要支援者等に対する必要なサービスの提供に向け、介護予防ケアマネジメントを実施 ・要介護状態になることを予防するため、介護予防教室を開催 ・認知症に対する正しい理解の普及に向け、認知症サポーター養成講座及び認知症普及啓発イベント等を開催

◆成果と課題

成果	健康寿命延伸の推進に向け、介護予防教室及び介護予防ケアマネジメントによる要介護状態になることの予防に取り組んだほか、認知症サポーター養成講座及び認知症普及啓発イベントの開催により、幅広い世代に向けて普及啓発を進め、認知症の方やその家族の方の支援の輪を広げた。これにより、代表となる指標「高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合」の目標値を達成し、介護予防や認知症に対して総合的に支援することができた。 また、地域医療体制の充実に向け、紹介及び逆紹介の推進による地域医療機関との連携強化や、救急科専門医の常勤配置による救急医療体制の拡充に取り組んだ。これらの取組により、代表となる指標「市立病院の紹介率」及び「市立病院の逆紹介率」の目標値を達成し、地域医療体制を充実させることができた。
課題	心と体の健康づくりの推進に向け、各種健診や健康教育及び健康相談等に取り組んだが、代表となる指標「健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合」、「特定健康診査の受診率」及び「長寿健康診査等の受診率」の実績値が低下したほか、市民実感度「検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値も低下した。年代及び居住地区等の属性ごとの受診率の傾向を分析し、受診率の低い層の関心を高めるような情報発信を実施していく必要がある。特に国民健康保険被保険者が対象の特定健康診査については、40歳代から50歳代の未受診者が多い状況にあるため、この世代に届く勧奨方法を引き続き検討する必要がある。 また、救急医療体制については、応需率が低下する平日夜間帯や休日の体制を強化するとともに、地域全体で医療体制を維持・確保していくため、市民への周知を図る必要がある。認知症については、高齢者人口の増加に伴い認知症の方の増加が見込まれることから、早期診断・早期対応に向けた支援体制を強化していく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	2	支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	4	**多様性の尊重と平和都市の推進**
目指す姿	・年齢、性別、国籍、心身の特性、考え方などにかかわらず、一人一人が互いの存在を尊重できるまちが実現されています。 ・虐待、ＤＶなどについての相談・支援体制が充実しています。 ・戦争の悲惨さと平和の尊さについて理解が深まっています。	
第１期基本計画での取組方針	・互いを尊重し合えるよう、多様性、多文化共生についての啓発を推進します。 ・被害者、相談者の立場に立ったきめ細かな支援を行うため、関係機関相互の連携強化を図り、情報共有や支援体制を充実させます。 ・平和について理解を深めるための取組を推進します。	
施策の方向	① 多様性に対する理解の促進 ② 多文化共生の推進 ③ 相談・支援体制の充実 ④ 平和都市の推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
人権講座参加者の人権意識高揚度（%）	86. 2（令和元年度）	95. 0	89. 3	94. 0%	
民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数（件）	3（令和元年度）	8	5	62. 5%	
海外友好都市等との交流活動件数（件）	12（令和元年度）	20	19	95. 0%	
日本語教室参加者数（人）	5, 179（令和元年度）	5, 500	4, 337	78. 9%	
児童虐待相談に対し速やかに（48 時間以内）対応できた件数の割合（%）	73. 7（令和元年度）	100. 0	81. 0	81. 0%	
平和のための展示会参加者数（人）	509（令和元年度）	610	213	34. 9%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合	26. 7（令和２年度）	29. 5	29. 9	100. 0%	
困りごとに対する相談・支援体制が充実していると思う市民の割合	27. 1（令和２年度）	29. 5	30. 2	100. 0%	
平和についての啓発が進んでいると思う市民の割合	17. 5（令和２年度）	36. 0	20. 5	56. 9%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

施策の方向	① 多様性に対する理解の促進
取組の方向性	人権について正しく理解し、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、相互に尊重し行動できるよう、市民、地域、学校、事業者等と協働、連携しながら、ライフステージに合わせた人権教育・啓発を推進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・障がい者への理解を深めることを目的に、障がい者体育大会や映画上映会を開催したほか、啓発冊子及び啓発チラシの配布等を実施 ・人権についての理解を深めることを目的に、人権教室及びヒューマンライツフェスタ等を実施
施策の方向	② 多文化共生の推進
取組の方向性	国籍に関係なく、地域の構成員として共に生活できるよう、必要な情報を提供し、日常生活を支援するとともに、関係機関との連携、海外友好都市等との交流を進め、国際理解や多様な価値観への理解を促進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・外国籍市民が地域の構成員として共に生活できるよう、日本語教室、多文化交流イベント及び日本語講師養成講座等を実施 ・国際交流のきっかけづくりや活性化を目的として、海外友好都市等の訪問団の受入れ及び派遣を実施したほか、市民交流プラザにおける友好都市等紹介展及びニュージーランド短期留学プログラムを実施
施策の方向	③ 相談・支援体制の充実
取組の方向性	人権侵害やその脅威・不安等について、気軽に相談できるよう、相談窓口の周知を図るとともに、相談体制の充実に努めます。また、複雑化、多様化する人権問題に総合的かつ迅速に対応できるよう、国、県等の関係機関・相談支援機関や各種団体との連携強化を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・市民生活における様々な悩みや問題を解決するため、一般相談及び11項目の特別相談を実施 ・児童虐待対策として、要保護児童対策地域協議会を始めとする関係機関との協働による支援を実施 ・女性の様々な悩みへの対応のため、女性相談員による一般相談及び女性弁護士による法律相談を実施 ・ＤＶ被害者の相談、一時保護及び自立支援を実施 ・犯罪被害者等が地域社会で安心して暮らせるよう、令和７年４月に厚木市犯罪被害者等支援条例を施行し、専門相談員による相談対応のほか、条例に基づく経済的支援及び日常生活支援を実施
施策の方向	④ 平和都市の推進
取組の方向性	「国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言“ あつぎ”」を広く周知するとともに、戦争を知らない世代が、興味や関心を持てる方法で、平和への理解を促進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・平和への理解を深めるため、「平和のための展示会」及び「平和について学ぶ映画上映」を開催したほか、市内の児童生徒が被爆地・広島県を訪問する「広島県平和学習訪問」を実施

◆成果と課題

成果	多様性に対する理解の促進に向け、ヒューマンライツフェスタや人権講座等を実施し、人権教育・啓発を推進したほか、障がい者理解のための映画上映会や啓発冊子の配布等により、障がい及び障がい者への理解促進を図った。これにより、市民実感度「国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合」の目標値を達成したほか、代表となる指標「人権講座参加者の人権意識高揚度」等がおおむね順調に推移し、一人一人が互いの存在を尊重できるまちづくりを進めることができた。 また、相談・支援体制の充実に向け、ＤＶ及び女性の様々な悩みなどに対する相談に応じたほか、児童虐待対策として、通報や相談に基づく保護対策や、関係機関との連携によるケースに応じた適切な支援を行った。これらの取組により、市民実感度「困りごとに対する相談・支援体制が充実していると思う市民の割合」の目標値を達成し、相談・支援体制の充実を図ることができた。 さらに、令和７年４月に厚木市犯罪被害者等支援条例を施行し、条例に基づく経済的支援及び日常生活支援並びに広報啓発を行うことで、犯罪被害者等の権利利益の保護並びに被害の軽減及び回復を図り、犯罪被害者等を支える地域社会づくりを進めることができた。
課題	多文化共生の推進については、日本語教室や多文化交流イベント等を実施したが、代表となる指標「日本語教室参加者数」の実績値が低下した。本市の外国籍市民は年々増加傾向にあることから、開催形態や周知方法を工夫し、参加につながる環境を整えるとともに、多文化共生のまちづくりを一層推進する必要がある。 また、平和都市の推進に向け、各種イベントを開催したが、代表となる指標「平和のための展示会参加者数」の実績値が低下した。戦争体験者の高齢化が進む中、戦争や被爆の記憶を次世代へ継承していくためには、若い世代が平和について主体的に学び、発信できる機会の充実を図る必要がある。

ビジョン３

夢や希望を持ち、自己実現ができるまち
（成長政策）

【基本施策】

１　学校教育の充実

２　地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進

３　文化芸術の振興

４　生涯スポーツの振興

【全体結果】

・最終年度における代表となる指標の達成率平均（21指標）　88.2%

・最終年度における市民実感度の達成率平均（14指標）　97.7%

【評価区分】

代表となる指標	
	３指標
	11指標
	７指標

市民実感度	
	９指標
	４指標
	１指標

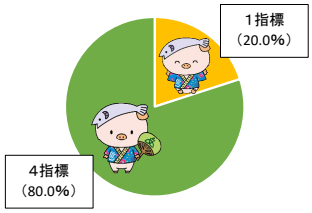
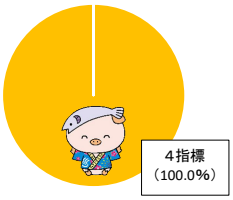
【総評】

「ビジョン３　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち」については、総合計画の基本計画に位置付けられた代表となる指標の達成率平均が 88.2%、市民実感度の達成率平均が 97.7%となり、おおむね順調に推移した。

夢や希望を持ち、自己実現ができるまちの実現状況を評価するための重要な指標である、市民実感度「運動やスポーツを週３回以上行っている市民の割合（42 ページ）」の実績値が低下するなどの課題が残った一方で、「子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっていると思う市民の割合（36 ページ）」が目標値を達成したほか、「生涯学習活動を行っている市民の割合（38 ページ）」がおおむね順調に推移するなど、一定の成果を上げることができた。

まちづくりのビジョン（基本政策）	3	夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	1	**学校教育の充実**
目指す姿	子ども一人一人が伸び伸びと学び、自分の進みたい道を選択するために必要な学力及び心身を育むことができる教育環境が整備されています。	
第１期基本計画での取組方針	・これからの社会の変化に対応できるよう、生きる力を育みます。 ・教職員の資質、能力、指導力を一層向上させるため、研究・研修等により教育環境の充実を図ります。 ・安心・安全で快適な教育環境の確保を図ります。 ・様々な課題や困難を抱える子どもと保護者に対し、状況に応じた相談・支援体制を充実させます。	
施策の方向	① 自立につながる生きる力の育成 ② 子どもたちを育てる支援体制の充実 ③ 安全な教育環境の整備 ④ 安心して共に学べる教育の推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する本市の達成率（%）	95.8（令和元年度）	100.0	96.7	96.7%	
ICT を活用して授業を行った教員の割合（%）	70.4（令和元年度）	100.0	91.7	91.7%	
校舎の外壁、屋上などの長寿命化改修率（%）	58.5（令和元年度）	67.5	65.1	96.4%	
子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合（%）	61.1（令和２年度）	76.0	67.3	88.6%	
全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合（%）	86.3（令和元年度）	89.5	92.2	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっていると思う市民の割合	26.8（令和２年度）	35.0	36.1	100.0%	
教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実していると思う市民の割合	29.7（令和２年度）	34.0	38.7	100.0%	
安全な教育環境の整備が進んでいると思う市民の割合	37.3（令和２年度）	39.3	45.3	100.0%	
人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいると思う市民の割合	28.3（令和２年度）	35.0	40.2	100.0%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

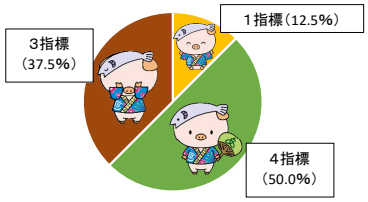
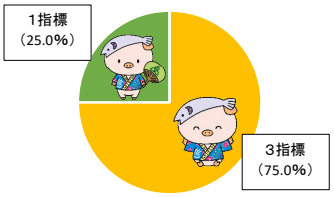
施策の方向	① 自立につながる生きる力の育成
取組の方向性	本市独自の特色ある学校づくりを進めるとともに、個に応じたきめ細かな指導を充実させることにより、基礎的な知識、技能や学ぶ意欲の向上を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・不登校やいじめ、問題行動などに対して、児童や生徒一人一人に対してきめ細かな対応ができるよう、非常勤講師を派遣 ・本市の教育の方向性を定める「第３次教育振興基本計画」を策定 ・９年間を見通した新時代の義務教育の在り方を提示するため、「小中一貫教育の在り方について」を策定 ・厚木ＳＥＬ教育基金条例に基づき、「こども科学賞」、「おもしろ理科教室」及び「小学校理科の観察・実験講習会」を実施 ・国際理解の促進を図るため、「外国語指導助手」の配置や「グローバル教育交流事業」による中学生留学プログラム及びオンライン交流事業を実施 ・最新の調理器具を備えた厚木市北部学校給食センターをＰＦＩ事業により開設 ・地域の食や食文化について理解を深めるとともに、生産者や食べ物への感謝の心を育むため、厚木産米の学校給食への導入及び地場農産物の導入回数拡大
施策の方向	② 子どもたちを育てる支援体制の充実
取組の方向性	子ども一人一人の課題や教育的ニーズに応じた指導、支援を行うため、教職員の資質・能力を向上させることにより、質の高い教育環境の充実を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・国や県の動向や今日的課題を踏まえた希望研修等により専門性の向上を図るため、指定研修に加え、指導力の向上ニーズに合わせた各種講座を開催 ・教育課題の解決に向け、分野・テーマ別の調査研究を実施し、研究成果の刊行及び児童・生徒向けの学習教材・資料を作成 ・一人一人の実態に応じたきめ細かい学習指導の一層の充実を図るため、児童・生徒の学習をサポートする学力ステップアップ支援員を市立小・中学校に配置
施策の方向	③ 安全な教育環境の整備
取組の方向性	適切で計画的な学校施設の維持管理と予防保全等を実施することにより、子どもたちが安心して安全に学校生活を送ることができる快適な教育環境を確保します。 また、市立小・中学校の適正規模・適正配置に係る検討を進めます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・市立小・中学校の適正規模・適正配置に係る市の考え方や方向性を定めた「厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」の策定及び推進 ・児童・生徒が安心して安全に学校生活を送れるよう、対象の学校の体育館及び特別教室に冷暖房設備を設置したほか、校庭及び校舎等の整備を実施 ・学校施設の照明器具を高効率なＬＥＤ器具に更新 ・児童・生徒が安心して登下校できるよう、新入学児童に対して防犯ブザーを配布 ・インターナショナルセーフスクールの理念のもと学校が課題を設定して取り組み、令和４年度及び令和７年度に３校合同の認証式を実施
施策の方向	④ 安心して共に学べる教育の推進
取組の方向性	学校生活を進める上で支援を必要とする子どもや、外国につながる子ども、学校に行きづらさを感じている子どもなどへの支援を推進します。 また、子どもや保護者が学校生活に関する不安や悩みについて安心して相談でき、支援を受けられる体制を構築します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・日本語の理解が不十分な外国につながりのある児童・生徒が安心して日本で生活できるよう、日本語指導協力者による日本語指導及び生活指導を実施 ・いじめ、暴力行為、少年非行などの問題行動等に適切に対応するため、定期的な学校訪問等を実施 ・特別な支援を必要とする児童・生徒に対し、適切な就学相談、教育支援委員会の運営及び介助員の配置を実施 ・経済的な理由で就学が困難な児童・生徒及び特別支援学級等に就学する児童・生徒の保護者に対し、学用品費等の経費の一部を支給 ・青少年が抱える課題に対し、青少年心理相談員等による教育相談を実施

◆成果と課題

成果	学校教育の充実に向け、ＳＥＬ教育及び英語教育等を推進したほか、ＰＦＩによる学校給食センターの整備やＬＥＤ化を実施し、ソフト面及びハード面の両面から教育環境の整備を実施した。 さらに、非常勤講師や学力ステップアップ支援員の配置、青少年心理相談員等による教育相談により、一人一人の状況に応じたきめ細かな支援を進め、不登校の改善等につなげることができた。 これらの取組により、市民実感度「教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実していると思う市民の割合」及び「安全な教育環境の整備が進んでいると思う市民の割合」等の目標値を達成し、市の教育環境の充実に対する市民の評価を得ることができた。
課題	ＧＩＧＡスクール構想により、デジタル環境の基盤が整ったが、ＩＣＴの活用度は学校間や教員間で差があるため、ＩＣＴを最大限活用する必要がある。また、学校施設の老朽化や不登校児童・生徒への対応に取り組む必要がある。 また、児童・生徒へのきめ細かな支援には非常勤講師等の人材が不可欠であるが、任用希望者にも限りがあり、安定的な確保が課題となっている。通学路の安全確保についても、地域の高齢化等により学童通学誘導員を始めとする見守り活動の継続が困難になりつつあることから、地域と連携しながらこどもたちの安全を守る仕組みを検討していく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	3	夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	2	**地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進**
目指す姿	・地域の実情に応じた学習機会の創出や地域の人材を活用した学習支援づくりが進んでいます。 ・家庭、地域、学校が連携し、家庭教育の充実が図られています。 ・生涯にわたって多様な学習機会が提供され、学びや交流、つながりの拠点が整備されています。 ・地域における子どもたちの健全育成に対する取組が進んでいます。	
第１期基本計画での取組方針	・多様な学習機会の提供、地域住民の出会いや交流、つながりの拠点である公民館活動を推進します。 ・教育の出発点である家庭の教育力を高めるため、家庭教育を推進します。 ・生涯にわたって自ら学び続けられる学習環境を提供します。 ・地域全体で青少年の健全な育成を図るため、関係団体の活動の支援や子どもの居場所づくりを進めます。	
施策の方向	① 地域主体で取り組む社会教育の振興 ② 家庭・地域・学校の協働の推進 ③ 生涯学習活動の推進 ④ 青少年の健全育成に向けた取組の推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
公民館を利用している市民の割合（%）	28.6（令和２年度）	32.0	31.9	99.7%	
公民館での学級・講座参加者の満足度（%）	70.1（令和元年度）	81.3	69.7	85.7%	
地域や学校の行事に参加又は協力している市民の割合（%）	34.0（令和２年度）	39.0	40.4	100.0%	
家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度（%）	97.3（令和元年度）	97.5	96.9	99.4%	
生涯学習活動を行っている市民の割合（%）	41.6（令和２年度）	55.2	53.0	96.0%	
図書館を利用している市民の割合（%）	22.0（令和２年度）	27.0	25.0	92.6%	
図書館の貸出者数（人）	408,233（令和元年度）	450,000	365,743	81.3%	
青少年健全育成団体が行った事業の参加率（%）	45.7（令和元年度）	59.5	59.3	99.7%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいると思う市民の割合	26.0（令和２年度）	31.0	36.9	100.0%	
家庭・地域・学校の協働が推進されていると思う市民の割合	33.3（令和２年度）	38.0	39.1	100.0%	
生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいると思う市民の割合	30.3（令和２年度）	35.0	36.8	100.0%	
青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実していると思う市民の割合	29.7（令和２年度）	39.5	38.3	97.0%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

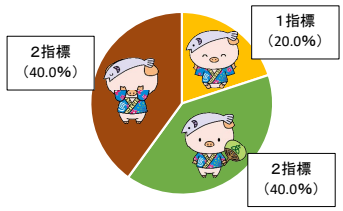
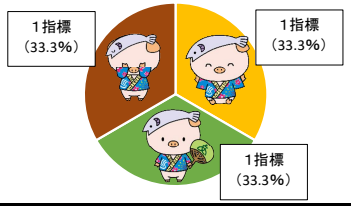
施策の方向	① 地域主体で取り組む社会教育の振興
取組の方向性	公民館における各種学級・講座、事業の充実や必要な機能、施設の整備により、公民館の地域コミュニティ活動や地域教育の拠点性の向上を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・生涯学習や地域コミュニティの活動拠点となる厚木北公民館を整備 ・各公民館において、各種学級・講座及び文化振興事業、公民館まつり事業、コミュニティ推進事業並びにスポーツ・レクリエーション推進事業を実施 ・熱中症対策として、一部公民館のロビーに冷房設備や遮熱フィルムを整備
施策の方向	② 家庭・地域・学校の協働の推進
取組の方向性	家庭・地域・学校がそれぞれの役割を担い、相互に補完し、協力しながら、家庭の教育力向上等に向けた取組の充実を図るとともに、家庭教育の重要性について理解が深まるよう啓発を行います。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・家庭教育の重要性について理解を深めるため、家庭教育情報提供講演会を開催 ・地域における緩やかなネットワークを形成するため、地域と学校が一層の連携を図る地域学校協働活動を実施
施策の方向	③ 生涯学習活動の推進
取組の方向性	年代に応じた様々な学習機会の提供、読書環境の充実、誰もが生涯学習活動に参加しやすい環境の整備、地域人材の積極的な活用と指導者やボランティアの育成等により、生涯にわたり学ぶことができる環境づくりを推進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・図書館機能と未来館機能を融合した厚木市未来・図書館の整備 ・電子図書館の利用促進に向けたＰＲ活動や電子図書館ウェブサイト上での特集を実施 ・読書機会の拡充に向け、市立中学校生徒への図書館カードの交付及びマルチライセンス書籍の充実を実施 ・市内５大学及び市内企業等との協働・連携による「あつぎ協働大学」の実施 ・学習機会を提供し、生涯学習活動を充実させるため「輝き厚木塾」や「生涯学習出前講座」の実施
施策の方向	④ 青少年の健全育成に向けた取組の推進
取組の方向性	青少年の主体性や社会性を育む多様な学習、活動、体験の機会及び場の提供並びに指導者、関係団体の支援に取り組みます。 また、青少年の悩み、薬物及び非行問題、有害環境などに対応するため、各関係機関・団体との連携を強化します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・厚木市制70周年記念事業として「こどもフェスタ2025」の開催 ・青少年の主体性や社会性を育むため、横手市及び網走市のこどもたちとの交流を含む青少年自然文化体験研修事業を実施 ・青少年非行の早期発見と未然防止のため、市街地及び各地域において社会教育指導員及び青少年相談員による街頭指導を実施 ・地域において心豊かな青少年を育成するため、研修会等により青少年指導者の養成及び活動を支援

◆成果と課題

成果	地域学校協働活動推進員が学校と地域のパイプ役となり学校と連携・協働しながらより良い地域づくりを推進した。これにより、代表となる指標「地域や学校の行事に参加又は協力している市民の割合」及び市民実感度「家庭・地域・学校の協働が推進されていると思う市民の割合」の目標値を達成させることができた。 また、あつぎ協働大学や輝き厚木塾等の実施による生涯学習の推進を図った。あわせて、厚木北公民館の整備や各公民館における学級・講座の実施により、地域住民の学習活動と地域コミュニティの充実を図った。これらの取組により、代表となる指標「生涯学習活動を行っている市民の割合」及び市民実感度「生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいると思う市民の割合」がおおむね順調に推移し、生涯にわたり学ぶことができる環境づくりを推進することができた。 さらに、青少年の健全育成については、市制70周年記念事業として「こどもフェスタ2025」を開催したほか、街頭指導や関係団体と連携した啓発活動に取り組み、地域全体で青少年を見守る体制づくりを進めることができた。
課題	代表となる指標「公民館を利用している市民の割合」が順調に推移した一方で、「公民館での学級・講座参加者の満足度」が低下した。学級・講座の満足度については、地域差が生じているため、地域住民のニーズを把握し、増加している利用者の満足度向上につなげる必要がある。 また、代表となる指標「図書館を利用している市民の割合」が順調に推移した一方で、「図書館の貸出者数」が低下した。特に、児童の貸出者数が減少傾向にあることから、児童向け資料の更なる充実を図るとともに、利用者数が増加傾向にある電子図書館を活用した、本との新たな出会いを創出する仕組みづくりを強化していく必要がある。 なお、あつぎ協働大学や輝き厚木塾は参加者が高齢層に偏る傾向が見られることから、若年層に向けた講座内容や周知方法を工夫する必要がある。また、地域学校協働活動推進員を始めとする活動の担い手の確保や、青少年の健全育成に携わる指導者の育成についても、継続的に取り組んでいく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	3	夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	3	**文化芸術の振興**
目指す姿	・身近に本市の歴史や文化芸術に触れる機会が提供されています。 ・伝統文化・郷土芸能や文化財が、次の世代へ保存・継承されています。	
第１期 基本計画での 取組方針	・文化、芸術に触れる機会を提供するとともに、文化芸術活動に取り組みやすい環境の整備に努めます。 ・郷土の文化や自然、文化財、伝承してきた伝統芸能を受け継ぎ、後世に伝えるため、活動の場の充実や後継者の育成を支援します。	
施策の方向	① 文化芸術活動の推進 ② 郷土文化の継承と発展	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合（%）	18. 9 （令和２年度）	23. 0	23. 8	100. 0%	
文化芸術事業の参加者数（人）	4, 729 （令和元年度）	5, 150	2, 524	49. 0%	
厚木の郷土文化に興味がある市民の割合（%）	49. 2 （令和２年度）	62. 0	51. 1	82. 4%	
あつぎ郷土博物館の講座及び展示における満足度（%）	90. 2 （令和元年度）	98. 0	92. 8	94. 7%	
郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数（人）	8, 678 （令和元年度）	8, 750	5, 028	57. 5%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
文化芸術に親しむ機会が提供されていると思う市民の割合	41. 1 （令和２年度）	45. 0	52. 9	100. 0%	
郷土文化の継承と発展の取組が進んでいると思う市民の割合	37. 5 （令和２年度）	43. 0	40. 3	93. 7%	
あつぎ郷土博物館の取組が進んでいると思う市民の割合	38. 1 （令和２年度）	43. 0	37. 9	88. 1%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

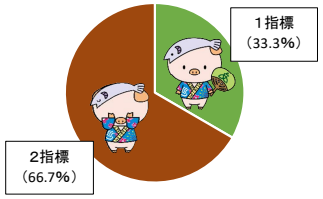
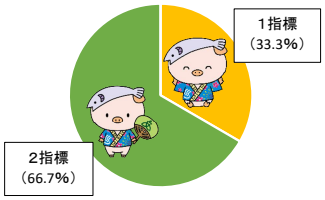
施策の方向	① 文化芸術活動の推進
取組の方向性	様々な世代の多様なニーズを捉えた文化芸術事業を企画・実施し、文化芸術の振興に向けた環境づくりに取り組みます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・経年劣化等により更新が必要となった厚木市文化会館のリニューアル ・市民による多様な文化芸術活動の推進に向け、市民文化祭、あつぎミュージックフェスティバル及び野外彫刻造形展等を実施 ・文化芸術活動において国際大会及び全国大会に出場した市民に対する全国大会等出場奨励金の交付を令和６年度から実施 ・青少年の文化芸術活動を奨励するため、青少年音楽コンクールを開催
施策の方向	② 郷土文化の継承と発展
取組の方向性	市民協働により、伝統文化・芸能や文化財の保護及び活用を図ることで、市民の郷土文化に関する理解を深め、継承につなげます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・伝統文化・伝統芸能の保存・伝承及び後継者の育成を目的に、郷土芸能まつり、相模人形芝居特別公演及び郷土芸能普及公演等を実施 ・郷土芸能に触れる機会を広げるため、郷土芸能出前体験教室及び郷土芸能学校を実施 ・郷土文化の継承と発展を図るため、あつぎ郷土博物館において、地域展や各種講座等を実施

◆成果と課題

成果	文化芸術の振興に向け、市民文化祭や郷土芸能まつり等を実施し、文化芸術活動の推進や伝統文化・伝統芸能の保存及び継承等を図った。また、事業の周知に向けた発信を強化し、市民が文化芸術を身近に感じられる機会の拡充を図った。これらの取組により、代表となる指標「市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合」及び市民実感度「文化芸術に親しむ機会が提供されていると思う市民の割合」の目標値を達成し、市の取組に対する市民の評価を得ることができた。
課題	代表となる指標「厚木の郷土文化に興味がある市民の割合」の実績値が上昇した一方で、「文化芸術事業の参加者数」及び「郷土芸能事業の公演及び体験講座の参加者数」の実績値が低下した。各事業の参加者や観覧者に固定化が見られるため、興味がある人が参加しやすくなるようなアプローチが求められる。また、郷土芸能については各団体とも後継者の育成が課題となっていることから、駅ビルでの公演など、普段郷土芸能に親しむ機会が少ない方に届く場を広げ、担い手の裾野を広げていく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	3	夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	4	**生涯スポーツの振興**
目指す姿	いつでも、どこでも、誰でも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツを通じて相互理解を深めることができる環境が整備されています。	
第１期基本計画での取組方針	・誰もが、自発的に様々な形でスポーツ活動に取り組めるよう、スポーツイベントの拡充や施設の整備及び充実に取り組みます。 ・トップアスリートの育成及び指導者の育成を支援し、競技スポーツ活動を推進します。	
施策の方向	① 生涯スポーツ活動の推進 ② 競技スポーツ活動の推進 ③ スポーツ施設の整備・充実	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
運動やスポーツを週３回以上行っている市民の割合（%）	34.5（令和２年度）	39.0	25.1	64.4%	
スポーツ指導者養成研修等参加者数（人）	1,083（令和元年度）	1,140	953	83.6%	
公共スポーツ施設の利用者数（人）	1,529,937（令和元年度）	1,755,000	1,549,004	88.3%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
運動・スポーツ活動の機会が提供されていると思う市民の割合	50.2（令和２年度）	55.0	54.2	98.5%	
スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実していると思う市民の割合	31.5（令和２年度）	36.0	39.1	100.0%	
スポーツ施設が充実していると思う市民の割合	42.7（令和２年度）	47.0	42.8	91.1%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

施策の方向	① 生涯スポーツ活動の推進
取組の方向性	いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも興味や関心、目的に応じてスポーツに親しむことができるよう、スポーツイベントの開催等を通じて、様々なスポーツ活動の機会を提供します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・誰でも気軽に参加できる「スポーツなじみDAY」等のスポーツイベントを開催 ・（公財）厚木市スポーツ協会に補助金を交付し、スポーツ教室、スポーツ大会等を開催 ・スポーツ関係団体と連携し、市民の体力向上や健康増進に係る事業を実施 ・地域のスポーツ・レクリエーションのリーダーシップを担うスポーツ推進委員の研修会等を実施
施策の方向	② 競技スポーツ活動の推進
取組の方向性	子どもたちの育成や競技団体の競技力の底上げを図るため、あつぎスポーツアカデミーを推進するとともに、スポーツ活動を支える団体、指導者、スポーツボランティアなどの育成及び活用を進めます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・国際大会及び全国大会等に出場する市民に対し、全国大会出場奨励金等を交付 ・競技団体が全国大会や県大会等に選手を派遣する際に実施する強化合宿及び強化練習会等に対し、全国大会選手強化事業交付金を交付 ・トップアスリート及び指導者の育成を支援するため、（公財）厚木市スポーツ協会が行うあつぎスポーツアカデミー事業に対し、補助金を交付 ・スポーツ合宿によるスポーツに対する関心の高揚や交流人口の拡大等に向け、市内スポーツ施設等の使用等を条件とした合宿誘致補助金を交付
施策の方向	③ スポーツ施設の整備・充実
取組の方向性	身近な場所で、いつでも気軽にスポーツができるよう、既存スポーツ施設の整備及び充実、学校体育施設の開放など、多様なスポーツ活動の場を提供するとともに、公共スポーツ施設の特性に応じた効果的で効率的な施設運営を行います。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・本市のスポーツ活動の基盤となるスポーツ施設の整備方針を明確にするため、「厚木市スポーツの聖地づくり基本計画」を策定 ・市民が今後も安心・安全に運動公園施設を利用できるよう、荻野運動公園の長寿命化に向けた改修工事を実施 ・スポーツ活動促進、健康長寿社会及び多世代交流を実現するため、睦合南地区ふれあい公園をグラウンド・ゴルフ場として再整備

◆成果と課題

成果	生涯スポーツの振興に向け、「スポーツなじみＤＡＹ」等のスポーツイベントの開催、（公財）厚木市スポーツ協会への支援によるスポーツ教室等の開催及び及川グラウンド・ゴルフ場等の整備に取り組んだ。また、競技スポーツについては、全国大会等出場奨励金やスポーツ合宿等誘致事業補助金の交付を通じて、市民やスポーツ関係団体等の活動を幅広く支援した。これらの取組により、市民実感度をおおむね順調に推移させることができた。
課題	市民実感度の上昇がみられる一方で、代表となる指標「運動やスポーツを週３回以上行っている市民の割合」の実績値が低下した。引き続き多くの市民がスポーツに親しめる環境づくりに努めるとともに、より多くの方にスポーツ活動に関する情報を発信できるよう、周知方法の工夫が必要である。 また、スポーツ推進委員の研修会等に取り組んだものの、代表となる指標「スポーツ指導者養成研修等参加者数」の実績値が低下した。スポーツ推進委員の活動はスポーツ・レクリエーション活動の普及振興に直結するものであるため、研修内容を見直すとともに、対象者に対して積極的に参加を呼びかける必要がある。 なお、施設整備については、市内公共スポーツ施設の多くが整備から30年以上経過し、老朽化への対応が本格化する局面を迎えていることから、「厚木市スポーツの聖地づくり基本計画」に基づき、既存施設の計画的な改修や集約による運営の適正化を図るとともに、スポーツ需要の多様化に対応した施設機能の充実を推進していく必要がある。

ビジョン４

人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）

【基本施策】

１　誰もが生活しやすいコンパクト・プラスネットワークの推進
２　魅力ある中心市街地等の形成
３　地域の個性をいかした魅力あるまちの実現
４　産業・商業の振興
５　安心して働くことができるまちの実現
６　観光の振興
７　シティプロモーションと定住促進
８　農業・林業・水産業の振興

【全体結果】

・最終年度における代表となる指標の達成率平均（26指標）　88.4%

・最終年度における市民実感度の達成率平均（21指標）　89.7%

【評価区分】

代表となる指標	
	11指標
	5 指標
	10指標

市民実感度	
	9 指標
	7 指標
	5 指標

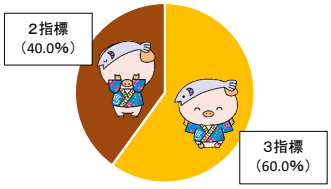
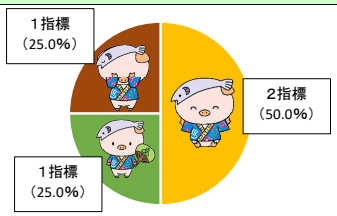
【総評】

「ビジョン４　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち」については、総合計画の基本計画に位置付けられた代表となる指標の達成率平均が 88.4%、市民実感度の達成率平均が 89.7%となり、おおむね順調に推移した。

人が集い、交流し、新たな価値を生むまちの実現状況を評価するための重要な指標である、代表となる指標「中心市街地の歩行者数（48 ページ）」の実績値が低下するなどの課題が残った一方で、代表となる指標「観光消費額（年間）（56 ページ）」の目標値を達成したほか、市民実感度「通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできていると思う市民の割合（46 ページ）」及び「就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実していると思う市民の割合（54 ページ）」がおおむね順調に推移するなど、一定の成果を上げることができた。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	1	**誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進**
目指す姿	・誰もが公共交通等を利用して快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができるまちが実現されています。 ・空き家の発生が抑制されるとともに、市営住宅については、安全で快適な状態が保たれ、暮らしやすい住環境が形成されています。	
第１期基本計画での取組方針	・都市機能の維持・誘導や、バス路線沿線への居住及び生活利便施設の緩やかな誘導を図り、住み慣れた地域での生活利便性を高めます。 ・幹線道路の計画的な整備や、生活道路の効果的な整備を推進します。 ・コミュニティ交通導入の検討や、環境に優しい移動手段への転換を推進します。 ・新たな空き家等の状況把握に努め、管理不全な状況の改善・解消を図るとともに、空き家の有効活用を促進し、空き家に起因する様々な不安の解消に努めます。 ・市営住宅の長寿命化を計画的に実施し、安全で快適な生活環境を安定的に提供します。	
施策の方向	① コンパクトなまちづくりの推進 ② 市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進 ③ 移動しやすい公共交通環境の整備 ④ 安全で快適な住環境の整備	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率（%）	79.4 （令和２年度）	80.6	82.5	100.0%	
幹線道路（１・２級市道）等の整備延長（累計）（m）	103 （令和元年度）	503	349	69.4%	
公共交通の徒歩圏人口カバー率（%）	85.1 （平成27年度）	85.2	85.6	100.0%	
路線バスの利用者数（１日当たり）（人）	70,000 （平成30年度）	70,000	56,749	81.1%	
管理不全であるため、助言等が必要な空き家数（戸）	63 （令和元年度）	28	24	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にあると思う市民の割合	76.2 （令和２年度）	80.6	80.6	100.0%	
安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合	39.8 （令和２年度）	42.5	51.8	100.0%	
通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできていると思う市民の割合	54.4 （令和２年度）	62.4	60.3	96.6%	
空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合	14.1 （令和２年度）	44.0	18.0	40.9%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

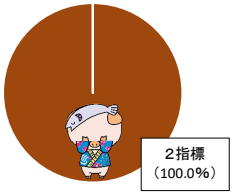
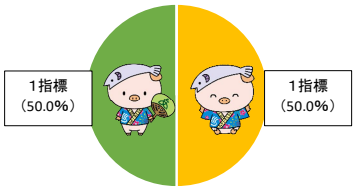
施策の方向	① コンパクトなまちづくりの推進
取組の方向性	公共交通等を利用して誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができる都市を実現するため、鉄道駅周辺の都市機能の維持又は誘導を図るとともに、バス路線沿線など公共交通の利便性の高い地域に、居住や生活利便施設を緩やかに誘導します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・生活利便施設が不足している地域において、生活利便施設の立地誘導を実施 ・災害リスクの高いハザードエリアからの住宅の移転に係る補助制度を創設 ・補助制度の実効性を高めるため、ハザードエリア内に居住する方を対象としたアンケート調査を実施
施策の方向	② 市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進
取組の方向性	市内の道路ネットワークの充実を図るため、都市計画道路を含む幹線道路を計画的に整備し、交通混雑の解消を進めます。 また、日常生活の利便性、安全性を高めるため、生活道路の効果的な整備を推進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・厚木市道路維持管理計画に基づき、橋梁・歩道橋・トンネル・大型標識・街路灯の修繕工事及び法定点検等を実施 ・通学路の安全対策のため、横断防止柵及びガードレール等の交通安全施設の整備を実施 ・通学路の安全確保のため、人道橋を設置 ・交通混雑の解消や安心・安全なみちづくりを進めるため、厚木環状３号線及び本厚木下津古久線等の都市計画道路を整備したほか、尼寺原幹線及び船子飯山線の事業に着手 ・交通の円滑化及び交通混雑の緩和を図るため、交差点等の改良を実施
施策の方向	③ 移動しやすい公共交通環境の整備
取組の方向性	更なる移動環境の向上を図るため、路線バスの利便性向上を図るとともに、路線バスを補完するコミュニティ交通導入を検討します。 また、公共交通利用への転換を促進し、環境に優しい移動手段の普及啓発を推進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・バス利用者の利便性の向上を図るため、バス事業者に対し、ノンステップバス導入費のほか、バス停留所の上屋及びベンチ設置費用の一部を補助 ・地域の移動手段を確保するため、コミュニティ交通を２地域において本格導入 ・公共交通機関の利用促進に向け、公共交通機関の利用促進に係るＰＲ動画及び公共交通機関に係るパンフレットの作成等を実施したほか、依知神社前にサイクルアンドバスライド自転車駐車場を整備
施策の方向	④ 安全で快適な住環境の整備
取組の方向性	空き家等の状況把握に努め、管理不全な状況の改善及び解消を図るとともに、利用可能な空き家については、空き家バンクを活用するなど、空き家に起因する犯罪や災害等の未然防止に努めます。 また、市営住宅については、厚木市市営住宅等長寿命化計画などに基づき、予防保全的な修繕や改善等を適正かつ効率的に実施することにより、施設の長寿命化を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・「厚木市空家等対策計画」に基づき、空き家の解体工事に要する費用の一部を補助 ・空き家の予防・解消・活用を促進するため、空き家利活用相談会及び空き家所有者と不動産事業者とのマッチングを実施 ・管理不全かつ所有者不明の空き家について、財産管理制度を活用し、売却等の処分を実施 ・市営住宅の長寿命化を図るため、上向原ハイツ、富士見町及び旭町ハイツ等の外壁・屋根等の改修工事を実施

◆成果と課題

成果	誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進に向け、生活利便施設の立地誘導に取り組んだほか、道路及び交通安全施設の整備等を実施し、生活利便性の向上や交通混雑の緩和等を図った。これらの取組により、代表となる指標「スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率」及び市民実感度「日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にあると思う市民の割合」の目標値を達成し、コンパクトなまちづくりを推進させることができた。
課題	公共交通機関の利便性向上や利用促進を図るため、設備導入費等への補助や利用促進に向けたＰＲ等に取り組んだことにより、代表となる指標「公共交通の徒歩圏人口カバー率」の目標値を達成した一方で、「路線バス利用者数（１日当たり）」の実績値が低下した。在宅勤務の定着など生活様式の変化により公共交通機関の利用者数が減少する中でも交通機関と連携し、快適な移動環境を維持・発展させることで、新たな人の流れを生み出していく必要がある。 また、道路施設については、点検の結果、予防的な修繕が必要な橋りょう等が数多くあることから、計画的な修繕を進める必要がある。都市計画道路の整備については、用地買収や関係機関との協議に長期間を要することから、事業費の平準化による安定的な予算確保と計画的な協議を進めていく必要がある。空き家については、人口減少や単身高齢者世帯の増加に伴い更なる発生が見込まれるため、発生の抑制や適正な管理の推進、早期の利活用を促進していく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	2	**魅力ある中心市街地等の形成**
目指す姿	中心市街地等の再整備により、都市機能や交通利便性が向上し、魅力にあふれた街並みが形成され、誰もが訪れてみたい、歩いて楽しいまちが実現されています。	
第１期基本計画での取組方針	・官民が連携して本厚木駅周辺及び愛甲石田駅周辺の再整備を進めることにより、中心市街地等の魅力向上とともに、都市機能の充実に取り組みます。 ・空き店舗の活用やイベントの開催により、中心市街地のにぎわいを創出します。	
施策の方向	① 中心市街地等の都市機能の向上 ② にぎわい創出に向けた取組の推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
中心市街地の歩行者数（人）	109,836（令和元年度）	112,000	98,066	87.6%	
中心市街地の活性化イベント数（件）	42（令和元年度）	47	34	72.3%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
中心市街地の整備が進んでいると思う市民の割合	42.9（令和２年度）	50.0	53.4	100.0%	
中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合	27.1（令和２年度）	48.0	42.7	89.0%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

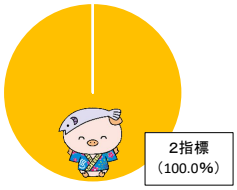
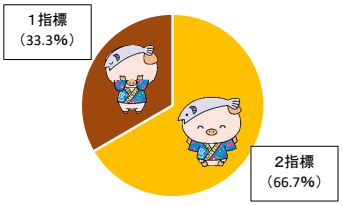
施策の方向	① 中心市街地等の都市機能の向上
取組の方向性	本厚木駅周辺は、商業・業務、行政、文化などの多様な都市機能の集積や交通結節機能の充実を図るとともに、居心地が良く、歩いて楽しい市街地の創出による魅力ある拠点を形成します。 愛甲石田駅周辺は、地域の生活を支える商業・業務等の都市機能の集積や交通結節機能の充実を図るとともに、駅へのアクセス性を高める周辺道路整備を進めます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・「生まれ変わる中心市街地」の実現に向け、本厚木駅北口地区市街地再開発準備組合への運営支援を実施 ・愛甲石田駅周辺のまちづくりに向け、権利者等を対象とした意見交換会及びオープンハウスを実施 ・新たな集客の核となる複合施設あつめきの整備を設計施工一括方式により実施 ・中心市街地の回遊性の向上を目的として、CHiKaフェスを開催したほか、地下道における市民提案事業及び柱巻き装飾を実施
施策の方向	② にぎわい創出に向けた取組の推進
取組の方向性	商店街が実施するイベントや環境整備などにより、人でにぎわう市街地となるよう、空き店舗対策やイベント開催の支援を行います。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・持続可能なまちづくりを支援するため、市内商業団体が中心市街地の活性化を推進するために要する経費に対し、補助金を交付 ・夜間のにぎわいを創出するため、本厚木駅北口広場及び南口駅前広場にイルミネーションを設置 ・中心市街地のにぎわい創出と活性化に向け、「あつぎジャズナイト」及び「にぎわい爆発あつぎ国際大道芸」等の大型イベントを開催 ・起業や新規店舗開設を促進するため、中心市街地の空き店舗を活用する事業者に対し、改装及び出店に係る支援を実施

◆成果と課題

成果	魅力ある中心市街地等の形成に向け、複合施設あつめきの建設や本厚木駅北口周辺の再整備に向けた検討などを実施し、歩いて楽しいまちの実現を図った。これらの取組により、市民実感度「中心市街地の整備が進んでいると思う市民の割合」の目標値を達成させることができた。
課題	市民実感度「中心市街地の整備が進んでいると思う市民の割合」の目標値を達成した一方で、代表となる指標「中心市街地の歩行者数」、「中心市街地の活性化イベント数」及び「中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合」の実績値が低下した。中心市街地等の整備を着実に推進し、新たな魅力を創造するとともに、引き続き関係団体と連携し、活性化イベントの推進を図る必要がある。 なお、本厚木駅北口地区市街地再開発事業については、全国的な建設費の高騰が続く中で事業成立が可能な手法を検討していく必要があるほか、早期の事業化に向けて権利者や関係機関との合意形成を図っていく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	3	**地域の個性をいかした魅力あるまちの実現**
目指す姿	・交通利便性の高い新たな産業拠点が整備されることにより、雇用が拡大し、経済・産業が活性化したまちが実現されています。 ・自然景観が保全、継承されるとともに、都市機能と生活機能の両立が図られた地域特性をいかした魅力あるまちが実現されています。	
第１期基本計画での取組方針	・森の里東地区、酒井地区などの新たな産業拠点の整備を進めます。 ・景観に配慮したまちづくりを進めます。	
施策の方向	① 地域に合った計画的な土地利用の推進 ② 景観形成の推進 ③ 新たな産業拠点の整備	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
森の里東土地区画整理事業の産業用地創出面積（ha）	6.9 （令和元年度）	26.8	26.8	100.0%	
酒井土地区画整理事業の産業用地創出面積（ha）	0.0 （令和元年度）	20.6	20.6	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められていると思う市民の割合	55.6 （令和２年度）	59.2	51.0	86.1%	
山地、河川、市街地などの景観が守られていると思う市民の割合	46.7 （令和２年度）	48.2	55.0	100.0%	
新たな産業拠点の創出が進んでいると思う市民の割合	28.8 （令和２年度）	32.0	32.7	100.0%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

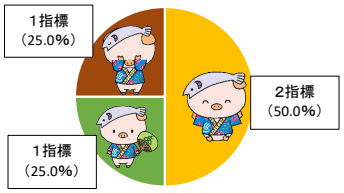
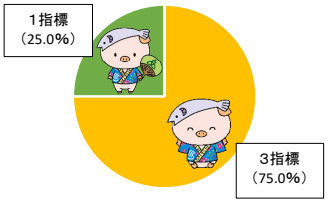
施策の方向	① 地域に合った計画的な土地利用の推進
取組の方向性	周辺の自然環境との調和を図りながら、山際地区及び山際北部地区を始め、各地区における特徴をいかした土地利用を進めます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・国土調査法に基づき、地籍を明確にするため地籍調査を実施 ・厚木秦野道路の早期完成に向け、計画予定地周辺の地籍調査を実施 ・産業系土地利用を図るため、土地区画整理組合設立準備委員会等に対する支援の実施
施策の方向	② 景観形成の推進
取組の方向性	自然と都市が融合する本市の景観の形成を行うとともに、景観の魅力を周知します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・市内の魅力ある景観の共有を図るため、厚木市民情報提供システム「スマ報」の投稿をホームページで周知
施策の方向	③ 新たな産業拠点の整備
取組の方向性	森の里東地区及び酒井地区において、本市の交通利便性を活用した魅力ある拠点の整備を進めます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・新たな産業拠点の創出に向け、森の里東地区及び酒井地区の基盤整備工事を完了させ、換地処分を実施 ・土地区画整理事業の円滑な推進に向け、土地区画整理組合に対し補助金等を交付

◆成果と課題

成果	地域の個性をいかした魅力あるまちの実現に向け、市民から寄せられた市内の魅力ある景観をホームページで広く共有することで、市民の景観意識の醸成を図った。これにより、市民実感度「山地、河川、市街地などの景観が守られていると思う市民の割合」の目標値を達成させることができた。 また、森の里東地区及び酒井地区に新たな産業拠点を創出したことにより、代表となる指標「森の里東土地区画整理事業の産業用地創出面積」、「酒井土地区画整理事業の産業用地創出面積」及び市民実感度「新たな産業拠点の創出が進んでいると思う市民の割合」の目標値を達成させることができた。
課題	地域特性に応じた計画的な土地利用の推進に向けて、各種調査や準備委員会等への支援を実施したが、市民実感度「広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められていると思う市民の割合」の実績値が低下した。これらの取組は効果が市民の実感として表れるまでに時間を要するものであるが、引き続き広域的な道路ネットワークの優位性をいかした土地利用を計画的に推進し、地域経済の活性化や雇用の創出につなげていく必要がある。 また、地籍調査については、市街地周辺は一筆ごとの面積が小さく調査に多大な時間を要するほか、厚木秦野道路計画予定地周辺では相続登記等が未了の土地が多く、所有者の特定に時間を要していることから、効率的な調査手法を検討していく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	4	**産業・商業の振興**
目指す姿	・市内外からの買物客に親しまれ、活気ある商店街が広がっています。 ・創業支援と中小企業支援が充実し、多様な人材が活躍できるまちが実現されています。 ・産業が集積し、雇用が創出されています。 ・市内企業等において、先端技術が導入され、事業の継続が図られることにより、効率的で利便性の高い、活力あるまちが実現されています。	
第１期基本計画での取組方針	・市民や来訪者が立ち寄りたくなる、利便性が高く魅力ある商店街づくりを推進します。 ・創業希望者に対する支援を行い、地域経済の安定的な発展及び新たな雇用機会の創出を図ります。 ・中小企業に対し、企業の課題解決に向けた相談支援等を行い、経営の安定化を促進します。 ・企業立地支援策の充実を図り、誘致を促進します。 ・先端技術導入の促進を図るため、企業等の取組を支援します。	
施策の方向	① 商業の活性化に向けた取組の推進 ② 創業支援と中小企業支援の充実 ③ 企業誘致の促進 ④ 先端技術産業の推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
主に利用する店舗が市内にあると回答した市民の割合（%）	85.5（令和２年度）	87.5	84.6	96.7%	
本市の支援策により創業した人数（人）	0（令和２年度）	4	8	100.0%	
中小企業資金融資利子補給金交付件数（件）	1,200（令和２年度）	1,260	1,207	95.8%	
企業立地件数（件）	5（令和２年度）	11	16	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
商店街など、市内に利用したい店舗があると思う市民の割合	43.2（令和２年度）	45.5	50.7	100.0%	
創業支援や中小企業支援が充実していると思う市民の割合	18.2（令和２年度）	24.0	27.2	100.0%	
企業誘致が進んでいると思う市民の割合	25.5（令和２年度）	30.0	27.6	92.0%	
様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られていると思う市民の割合	21.5（令和２年度）	24.0	28.3	100.0%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

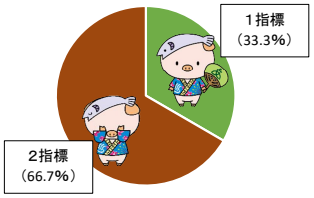
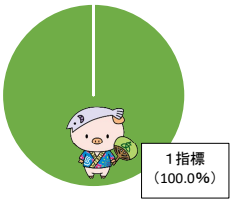
施策の方向	① 商業の活性化に向けた取組の推進
取組の方向性	市民や市外からの買物客に親しまれ魅力ある商店街づくりを地域一体となって推進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・子育てパスポートＡＹＵＣＯに対し、利用者の利便性向上及びサポーター店舗の利用促進に向けたシステム改修を実施 ・商業の活性化に向け、各商店会及び商店会連合会等が実施する販路拡大やＰＲ等に係る事業に対し、補助金を交付
施策の方向	② 創業支援と中小企業支援の充実
取組の方向性	商工団体等と連携しながら、創業や事業承継する方を支援します。また、中小企業のイノベーションを促進し、持続的な成長を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・地域経済の安定的な発展及び新たな雇用機会の創出を目的に、起業に向けたノウハウや事業を軌道に乗せる道筋を学ぶあつぎ起業スクールの実施 ・中小企業の経営基盤の安定化・強化及び受発注機会の拡大に向け、企業巡回訪問を実施 ・中小企業の資金繰りを支援するため、市制度融資に係る利子及び信用保証料に対し補助金を交付 ・市内中小企業や大学等によるＳＤＧｓ目標の達成に向けた取組の推進を図るため、企業の省エネルギー機器等導入やＳＤＧｓの視点をふまえた新製品の開発に対し補助金を交付
施策の方向	③ 企業誘致の促進
取組の方向性	幹線道路整備による交通アクセスの優位性等をいかした企業誘致を促進し、雇用の創出や持続可能な財政基盤の構築を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・幹線道路整備による交通アクセスの優位性等をいかした企業誘致を促進するため、「厚木市企業等の立地促進等に関する条例」に基づき、市内で新規立地又は増設した企業に対し奨励金を交付 ・更なる企業誘致と市内企業の再投資を促進するため、令和７年度に「厚木市企業等の立地促進等に関する条例」を改正し、奨励措置を拡大
施策の方向	④ 先端技術産業の推進
取組の方向性	先端技術の導入を促進するため、企業等における生産性向上に向けた取組等を支援します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・先端技術産業の推進を図るため、企業のＡＩ等先進技術導入にかかる経費の一部を補助 ・市民がロボットを身近に親しめるよう、ロボットの動作の実演や講義等を行うロボットリテラシー事業を実施

◆成果と課題

成果	産業・商業の振興に向け、あつぎ起業スクール、企業巡回訪問及び中小企業相談等を実施し、起業支援及び起業後の経営の安定化を図った。これらの取組により、創業支援及び中小企業をさせることができ、代表となる指標「本市の支援策により創業した人数」及び市民実感度「創業支援や中小企業支援が充実していると思う市民の割合」の目標値を達成したほか、代表となる指標「中小企業資金融資利子補給金交付件数」がおおむね順調に推移した。 また、企業誘致については、「厚木市企業等の立地促進等に関する条例」に基づく奨励措置を毎年適用し、新たな立地を促進した。先端技術の導入促進については、ロボット等の導入に対する補助を行うとともに、こども向けの工作教室やロボットリテラシー事業により、市民の関心を高めることができた。
課題	市民実感度「商店街など、市内に利用したい店舗があると思う市民の割合」が順調に推移した一方で、代表となる指標「主に利用する店舗が市内にあると回答した市民の割合」の実績値が低下した。商業の活性化に向けては、空き店舗の活用やイベントの開催により中心市街地のにぎわいを創出するとともに、市民や来訪者が立ち寄りたくなる、利便性が高く魅力ある商店街づくり等を推進する必要がある。 また、令和８年度から企業誘致に係る奨励措置を拡大することから、制度を広く周知し、更なる誘致と市内企業の再投資につなげていく必要がある。企業等を取り巻く状況は刻々と変化するため、引き続き社会情勢等を踏まえた支援を実施していく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	5	**安心して働くことができるまちの実現**
目指す姿	多様な人材が、その経験や能力を十分に発揮し、ワーク・ライフ・バランスを図りながら、安心して働くことのできる環境が整備されています。	
第１期基本計画での取組方針	・関係機関と連携しながら、求職者に対する就業相談、スキルアップの機会を提供します。 ・中小企業等で働く勤労者やその家族に対して福利厚生制度の充実など必要な支援を行います。	
施策の方向	① 勤労者支援の充実 ② 勤労者の福利厚生支援	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
障害者雇用奨励交付金交付件数（件）	35 （令和２年度）	44	38	86.4%	
勤労者生活資金融資件数（件）	8 （令和２年度）	70	43	61.4%	
中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数（社）	100 （令和２年度）	110	75	68.2%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実していると思う市民の割合	23.7 （令和２年度）	29.0	28.1	96.9%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

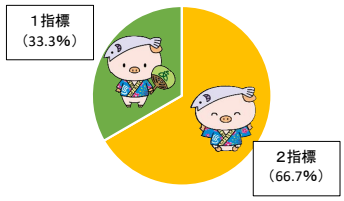
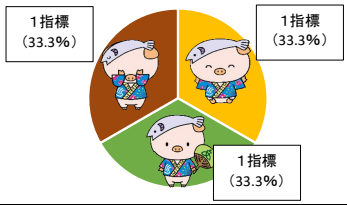
施策の方向	① 勤労者支援の充実
取組の方向性	勤労者に対して、関係機関と連携し、相談の場やスキルアップの機会などを提供します。 また、事業者に対して、多様な人材を確保するための支援や働き方改革を促進するため、ワーク・ライフ・バランスの推進を啓発するとともに、人材確保のためのマッチング支援等を推進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・市内企業の人材確保に向け、市内在住在勤の奨学金返還者に対する奨学金返還の一部を補助 ・障がい者又は高年齢者を１年以上常用雇用している中小企業者に奨励金を交付 ・技能後継者の育成に向け、職業訓練校に対し補助金を交付したほか、技能教室を開催
施策の方向	② 勤労者の福利厚生支援
取組の方向性	勤労者が安心して働くことのできる環境を整えるため、勤労者のニーズを把握するとともに、関係機関と連携しながら、中小企業における福利厚生事業の充実など、必要な支援を行います。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・勤労者の負担軽減に向け、市内在住勤労者の教育、生活及び住宅資金等臨時的資金需要への低利な融資の提供 ・中小企業勤労者及びその家族の福利厚生を充実させるため、（公財）厚木市勤労者福祉サービスセンターに対し補助金を交付 ・（独法）勤労者退職金共済機構が実施する中小企業退職金共済又は厚木商工会議所が実施する特定退職金共済と共済契約を締結している中小企業者に対し、掛金の一部を補助

◆成果と課題

成果	安心して働くことができるまちの実現に向け、障がい者や高年齢者の雇用に対する補助のほか、職業訓練校等に対する助成及び技能教室等の開催により、就労対策及び技能振興を図った。また、奨学金返還助成の申請者は年々増加しており、市内での就労と定住を後押しすることができた。これらの取組により、市民実感度「就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実していると思う市民の割合」がおおむね順調に推移した。
課題	勤労者の福利厚生支援に向け、勤労者に対する各種支援を実施したことで、代表となる指標「勤労者生活資金融資件数」の実績値が上昇したものの、達成率が61.4%にとどまったほか、代表となる指標「中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数」の実績値が低下した。交付企業数の減少に対しては、事業の周知を強化する必要がある。市内外の人が本市で働きたいと思うまちをつくるためには、企業及び勤労者の支援に一体的に取り組み、誰もが安心して生き生きと働けるまちづくりを推進していく必要がある。 また、勤労者貸付融資預託事業については、預託金を増額したものの新規の申込みが増加し、年度途中で受付を停止する状況が生じていることから、更なる増額や制度内容の見直しを検討し、勤労者のニーズに対応していく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	6	**観光の振興**
目指す姿	・周辺自治体との連携により、広域観光の推進が図られ、多くの周遊客が訪れています。 ・観光資源の効果的な発信により、国内外から多くの観光客が訪れています。	
第１期基本計画での取組方針	・近隣市町村や交通機関との連携を通じて広域観光を推進します。 ・観光資源の発掘、磨き上げ、活用とともに、豊かな自然や交通利便性の高さをいかした魅力ある観光地づくりを推進します。 ・趣味・志向、客層に応じて適切な媒体を通じた情報発信を行います。	
施策の方向	① 広域観光の推進 ② 観光資源の磨き上げの推進 ③ 情報発信の充実	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした市民の割合（%）	23.8（令和２年度）	38.0	35.5	93.4%	
観光消費額（年間）（億円）	173.0（令和元年度）	195.5	216.9	100.0%	
厚木市観光協会ホームページのアクセス件数（件）	30,889（令和２年度）	1,884,650	2,071,299	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいると思う市民の割合	43.7（令和２年度）	49.0	50.5	100.0%	
温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られていると思う市民の割合	42.6（令和２年度）	48.5	44.7	92.2%	
観光情報の発信が充実していると思う市民の割合	37.1（令和２年度）	44.0	35.3	80.2%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

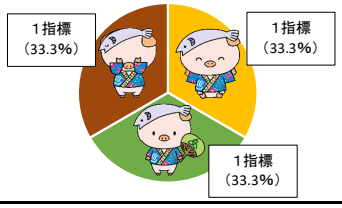
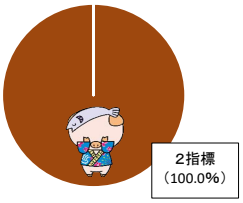
施策の方向	① 広域観光の推進
取組の方向性	近隣市町村と連携し、広域観光プロモーションを実施するなど、広域観光の取組を推進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・観光地としての魅力を向上させるため、近隣市町村との連携によるガストロノミーツーリズム及びデジタルスタンプラリー等を実施
施策の方向	② 観光資源の磨き上げの推進
取組の方向性	旅行者のニーズやスタイルが多様化する中、選ばれる観光地を目指し、豊かな自然や温泉など既存の観光資源を活用した観光振興や新たな観光資源の発掘、磨き上げをするとともに、交通アクセスの良さなど、厚木らしさをいかした魅力ある観光地づくりを進めます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・魅力ある観光イベントの開催により、地域経済の活性化を図るため、あつぎ鮎まつり及びあつぎ飯山桜まつりを開催したほか、地域の特色を生かした地域観光まつりへの補助を実施 ・観光地としての魅力向上を図るため、観光拠点の機能強化に向けた整備を実施（飯山白山森林公園桜の広場周辺、七沢の不動尻等） ・観光地としての魅力づくりを目的に花の里事業を行う地域団体への補助のほか、鮎や豚ホルモンを活用したイベントを実施 ・インバウンドの誘客促進に向け、外国人観光客を対象とした周遊ツアーを実施したほか、受入体制を強化する事業者に対し補助を実施
施策の方向	③ 情報発信の充実
取組の方向性	必要な観光情報を的確に入手できるよう、ＳＮＳの活用による効果的な情報発信など、趣味・志向、客層に応じて適切な媒体を通じた情報発信を行うとともに、観光のブランドイメージづくりを推進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・既存観光資源のブラッシュアップを図るため、温泉及び食をテーマとして、ＳＮＳ並びにパンフレット等を活用したＰＲを実施 ・本市の知名度向上及びイメージアップを図るため、マスコットキャラクター「あゆコロちゃん」を活用した啓発物品を作成したほか、キャラクターイベントにおいて本市のＰＲを実施

◆成果と課題

成果	観光の振興に向け、近隣市町村との連携による各種イベント等を開催し、広域観光の推進を図った。これにより、市民実感度「大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいると思う市民の割合」の目標値を達成させることができた。また、あつぎ鮎まつり等の既存の観光イベントの開催に加え、観光拠点の機能強化に向けた整備及び地場産品を活用したイベント等の実施により、観光資源の磨き上げを推進した。これにより、代表となる指標「市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした市民の割合」及び市民実感度「温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られていると思う市民の割合」がおおむね順調に推移した。
課題	情報発信の充実に向け、地域資源やマスコットキャラクター等を活用したＰＲを実施したものの、市民実感度「観光情報の発信が充実していると思う市民の割合」の実績値が低下した。観光による地域の活性化を図るためには、市外からの認知度が低いという課題を踏まえ、広域観光の推進やインバウンドの誘客等を促進するとともに、ＳＮＳ等の活用による更なる情報発信に取り組む必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	7	シティプロモーションと定住促進
目指す姿	・住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちが実現されています。 ・市民が誇りや愛着を持てるまちが実現されています。 ・バランスの取れた人口構成を確保しています。	
第１期基本計画での取組方針	・市外や海外に本市の魅力を発信するとともに、市民がまちの魅力を実感できるよう、効果的な情報発信を行います。 ・バランスの取れた人口構成を確保するため、定住促進策を推進します。	
施策の方向	① シティプロモーションの推進 ② 定住促進に向けた取組の推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合（%）	87.8（令和元年度）	100.0	100.0	100.0%	
ホストタウン交流事業参加者数（人）	8,500（令和元年度）	470 *	142	30.2%	
転入者数（定住促進住宅取得支援事業等による転入者数）（人）	176（令和元年度）	494	475	96.2%	

＊ 令和２年度及び３年度は東京2020オリンピック・パラリンピックがあったため、本指標の目標値は次のとおり。
【令和３年度】6,250人【令和４年度】380人【令和５年度】410人【令和６年度】440人【令和７年度】470人

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合	42.2（令和２年度）	48.7	40.5	83.2%	
親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいると思う市民の割合	16.9（令和２年度）	61.0	21.1	34.6%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

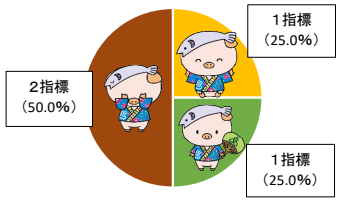
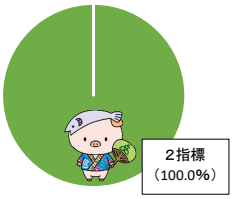
施策の方向	① シティプロモーションの推進
取組の方向性	住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちづくりを、分野横断的に推進するとともに、本市の魅力を広く伝えるため、対象に応じた効果的な情報発信等の取組を進めます。 また、ワーケーション等で訪れる人など、地域や地域の人々と多様に関わる関係人口を増やし、より多様な人材が地域づくりに参画できる取組を推進します。 さらに、東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、ニュージーランドのホストタウンとして、歴史や文化、教育などを始めとした幅広い分野での交流により、将来につながるレガシーの創出を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・本市の魅力や優れた施策を広くＰＲするため、市ホームページのトップページをリニューアルしたほか、子育て及び教育等に係るＰＲ動画の作成及び各種メディアやＳＮＳを活用した魅力発信を実施 ・市民が必要な情報を手軽に入手できるよう、市公式ＬＩＮＥの機能を拡張 ・新たな出会いや交流の場を創出するため、eスポーツを通じた各種イベント及び婚活ツアー等を実施 ・国際交流を図るため、東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたニュージーランドとの交流を礎に、オンライン交流や短期留学等の事業を実施
施策の方向	② 定住促進に向けた取組の推進
取組の方向性	親元近居・同居や子育て世帯の住宅取得支援により、市外からの若年世帯の定住や保育士、看護職、介護職等の有資格者の転入を促進するなど、定住促進の取組を推進し、バランスの取れた人口構成の確保を図ります。 また、これらの取組について、対象に応じた効果的な情報発信を行います。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・バランスの取れた人口構成の実現に向け、親元近居・同居及び若年世帯の住宅取得に対し補助を実施 ・専門職の人材確保に向け、介護職、幼稚園教諭、保育士及び看護職等に対し助成金を交付

◆成果と課題

成果	定住促進に向けた取組の推進のため、若年世帯や専門職に向けた各種補助を実施したほか、関係団体等に対し各種補助に係る情報発信を実施し、バランスの取れた人口構成の確保を図った。これらの取組により、代表となる指標「転入者数(定住促進住宅取得支援事業等による転入者数)」がおおむね順調に推移した。 また、シティプロモーションについては、市ホームページのリニューアルや市公式ＬＩＮＥの機能拡張により、市民が必要な情報を手軽に入手できる環境を整備するとともに、多様な媒体を活用して本市の魅力を発信した。
課題	シティプロモーションの推進に向け、各種イベントによる出会い及び交流の場の創出や、ＳＮＳ等を活用した魅力発信に取り組んだ結果、代表となる指標『あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合』の目標値を達成させることができた。一方で、市民実感度「本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合」の実績値が低下した。転入促進及び転出抑制を更に推進させるためには、本市の魅力をより効果的に発信する必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	8	**農業・林業・水産業の振興**
目指す姿	・農業の担い手の育成や農地の有効活用が図られています。 ・市内で生産された新鮮で安心・安全な農畜水産物が提供され、地産地消が進んでいます。 ・農業者が生産から加工、販売までを手掛ける付加価値の高い農業経営が進んでいます。 ・鳥獣被害から農作物が守られています。 ・持続的な森林資源の循環が図られています。 ・アユ資源の安定確保が図られています。	
第１期基本計画での取組方針	・農業後継者の育成支援等を通じた農業経営の安定化を図ります。 ・地産地消や６次産業化を推進します。 ・地域や関係団体と連携しながら、有害鳥獣による農作物被害を抑えます。 ・間伐材の有効活用等を促進し、林業支援を行います。 ・アユを活用した地域活性化を図ります。	
施策の方向	① 農地有効利用の推進 ② 地産地消の推進・６次産業化の推進 ③ 鳥獣被害対策の強化 ④ 林業への支援 ⑤ 水産業の活性化	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
認定新規就農者数（累計）（人）	25（令和元年度）	46	43	93.5%	
地元の農産物を購入した市民の割合（%）	76.6（令和２年度）	86.0	76.0	88.4%	
有害鳥獣による農産物被害額減少率（平成18年度の被害額を基準とする。）（%）	79.0（平成27年度）	97.4	76.7	78.7%	
間伐材の搬出量（㎥）	677（令和元年度）	2,000	2,089	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいると思う市民の割合	21.2（令和２年度）	26.0	24.3	93.5%	
地産地消が進んでいると思う市民の割合	35.4（令和２年度）	48.0	47.0	97.9%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

施策の方向	① 農地有効利用の推進
取組の方向性	持続的で環境に配慮した農業経営を支援するため、新たな担い手や認定農業者の育成を図るとともに、市民農園の運営や体験型農園を推進し、憩いと安らぎの場を提供します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・農業の担い手不足及び都市農業の持続的な発展に向け、新規就農者に対しマッチング及び営農後の経営確立に向けた支援・育成を実施 ・農業の担い手に対する経営改善を図るため、ＡＩ等最新技術を活用した機器等及び農業用機械の導入に係る補助を実施 ・本市農業の一層の推進を図るため、市民農園を運営
施策の方向	② 地産地消の推進・６次産業化の推進
取組の方向性	農畜産物の地産地消と消費者の利便性向上を推進するため、直売所に関する情報発信を行うとともに、朝市、夕焼け市の内容の充実を図り、農業、生産者と触れ合うことができる場を提供します。 また、農業者等からの相談に応じて、関係機関と連携しながら、農畜産物の生産、販売、流通を促進するとともに、農畜産物の更なる付加価値向上を目指します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・地産地消の推進を図るため、厚木市民朝市や夕焼け市、各農産物直売所、直売所まつりの開催等を支援 ・持続可能な「あつぎの農業」の実現に向け、農産物のブランド化事業に取り組む事業実施者に対し交付金を交付
施策の方向	③ 鳥獣被害対策の強化
取組の方向性	地域や関係団体と連携しながら、有害鳥獣による農作物被害を最小限に抑え、農業経営の安定化や生活被害を防止する対策を推進します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・農業経営の安定化に向け、ニホンザル等の有害鳥獣の追い払い等を実施したほか、個人防護柵を設置する農業者等に補助金を交付 ・ヤマビルが生息しにくい環境を整備するため、地域住民との協働により草刈り及び落ち葉かき等を実施
施策の方向	④ 林業への支援
取組の方向性	人工林や林道等の計画的な整備や再生可能な森林資源である間伐材の有効活用や製品化等に関する取組を支援します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・森林の持つ公益的な機能の発揮や林業の振興に向け、公共施設内装木質化及び市内小中学校における児童・生徒の机の天板交換等を実施 ・森林の適正な管理と間伐材の利用促進を図るため、人工林の枝打ち、除伐及び間伐に対する補助を実施
施策の方向	⑤ 水産業の活性化
取組の方向性	相模川、中津川における漁業の生産性向上を目的として、アユの安定的な供給とアユを活用した地域の活性化を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・相模川・中津川の水産業等の活性化を図るため、関係組織と協力し、生態系調査及び情報交換等を実施

◆成果と課題

成果	農業の振興に向け、新規就農及び営農後の支援のほか、市民農園等での農業体験及び厚木市民朝市等への支援を実施した。これにより、市民実感度がおおむね順調に推移した。 また、林業への支援に向け、人工林の枝打ち、除伐及び間伐に対する補助等を実施し、樹木の健全な成長を図った。これにより、代表となる指標「間伐材の搬出量」の目標値を達成させることができた。
課題	市民実感度「地産地消が進んでいると思う市民の割合」が順調に推移した一方で、代表となる指標「地元の農産物を購入した市民の割合」の実績値が低下した。若年層の購入割合が低い傾向にあるため、ＳＮＳ等の更なる活用により、認知度の向上及び購入の促進を図る必要がある。 また、農業の担い手を継続的に確保するとともに、担い手への農地の集約を進めるため、耕作放棄地の再生利用や農業基盤の整備を進め、農地の生産性を向上させていく必要がある。

ビジョン５

環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）

【基本施策】

１　地球温暖化対策の推進
２　未来へつなげる循環型都市の実現
３　自然との共生の推進
４　緑豊かで美しいまちの実現
５　河川と共生するまちの実現

【全体結果】

・最終年度における代表となる指標の達成率平均（14指標）　78.6%

・最終年度における市民実感度の達成率平均（10指標）　76.7%

【評価区分】

代表となる指標	
	2 指標
	6 指標
	6 指標

市民実感度	
	2 指標
	1 指標
	7 指標

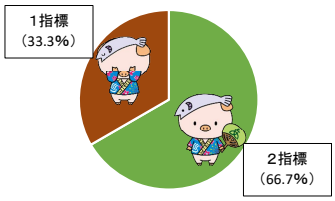
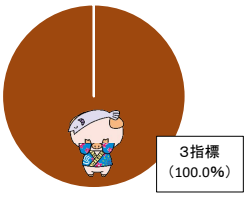
【総評】

「ビジョン５　環境に優しく、自然と共生するまち」については、総合計画の基本計画に位置付けられた代表となる指標の達成率平均が 78.6%、市民実感度の達成率平均が 76.7%となり、やや遅れている結果となった。

環境に優しく、自然と共生するまちの実現状況を評価するための重要な指標である、代表となる指標「一人１日当たりの家庭系ごみの排出量（66 ページ）」、「事業系ごみの排出量（66 ページ）」がおおむね順調に推移した一方で、「市内再生可能エネルギー出力量（64 ページ）」、「市内温室効果ガス排出量推計削減率（平成 25 年度比）（64 ページ）」等の達成率が伸び悩んだため、第 11 次総合計画で引き続き取り組んでいく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	5	環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	1	**地球温暖化対策の推進**
目指す姿	地球温暖化防止に対する意識が高まり、家庭や学校、事業所等における省エネルギー化が図られ、地球環境への負荷が低減しています。	
第１期基本計画での取組方針	・地球環境への負荷が少ない脱炭素社会の実現に向けて、家庭や学校、事業所などにおける省エネルギーの普及啓発を進めます。 ・地球温暖化対策の必要性への理解向上を促し、再生可能エネルギーの普及に向けた取組等を推進します。 ・温室効果ガスの排出抑制を進めます。	
施策の方向	① 環境教育の推進と環境問題に対する意識啓発 ② 再生可能エネルギーの導入推進 ③ 温室効果ガスの排出抑制	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合（%）	76.2（令和２年度）	95.0	80.6	84.8%	
市内再生可能エネルギー出力量（MW）	32.7（令和元年度）	90.0	55.1	61.2%	
市内温室効果ガス排出量推計削減率（平成25年度比）（%）	10.2（平成29年度）	29.0	26.0	89.7%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
環境教育や環境学習の取組が進んでいると思う市民の割合	24.5（令和２年度）	45.0	26.5	58.9%	
再生可能エネルギーの普及が進んでいると思う市民の割合	22.6（令和２年度）	36.0	25.8	71.7%	
公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいると思う市民の割合	23.8（令和２年度）	50.0	27.4	54.8%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

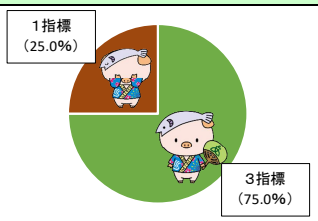
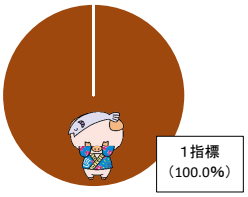
施策の方向	① 環境教育の推進と環境問題に対する意識啓発
取組の方向性	環境学習講座や啓発イベントを積極的に実施することにより、地球温暖化を始めとした環境問題についての意識啓発を図り、ライフスタイルの変革を促します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・環境保全の重要性等についての市民の理解を深めるため、環境シンポジウム等の環境学習講座及びジュニアエコリーダー講座等を実施 ・「みんなでつくる、自然環境と共生する元気なまち」の実現を目指し、第５次厚木市環境基本計画を推進したほか、第６次厚木市環境基本計画の策定に向けたアンケート調査を実施 ・こどもたちの環境意識を育むため、エコスクールの推進及び親子でのエコな料理体験等を実施
施策の方向	② 再生可能エネルギーの導入推進
取組の方向性	市内における太陽光発電システム設置に対する支援等、再生可能エネルギーの導入を進め、創エネ、省エネ、蓄エネの推進を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・省エネルギー化及び再生可能エネルギーの導入を推進するため、省エネ住宅の導入、住宅・事業所への再生可能エネルギーの導入及び電気自動車等の導入に対する新たな補助制度を創設
施策の方向	③ 温室効果ガスの排出抑制
取組の方向性	スマートハウスの推進やＥＶごみ収集車の導入等により、温室効果ガスの排出量の削減を進めます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・カーボンニュートラルの実現に向け、関連する情報を発信し、市民・事業者の皆様一丸となった取組を推進するためのカーボンニュートラルプラットフォームの開設及び運用 ・市と市内の企業、大学、金融機関等が、分野を超えて相互に連携した取組を進めるため、カーボンニュートラル推進ネットワークを創設 ・公共施設における再生可能エネルギーの導入及び省エネルギー化を図るため、太陽光発電設備をＰＰＡ方式により、ＬＥＤ照明をＥＳＣＯ方式により導入 ・温室効果ガスの排出を抑制するため、ごみの焼却により発電した電力で走行するＥＶごみ収集車の導入及び運用

◆成果と課題

成果	地球温暖化対策の推進に向け、環境教育に係る各種講座やイベント等の実施により、第５次厚木市環境基本計画を推進するとともに、次期計画の策定に向けてアンケート調査を実施した。また、カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの導入推進に係る各種補助金等を運用したほか、温室効果ガスの排出抑制に向けた情報発信やＥＶごみ収集車の導入・運用等に取り組んだ。これらの取組により、代表となる指標及び市民実感度の全ての指標において実績値を上昇させることができた。
課題	地球温暖化対策に係る指標については、実績値は着実に推移しているものの、達成率が伸び悩んでいるため、引き続きこどもたちを含む幅広い世代に対する意識啓発を実施するとともに、カーボンニュートラルプラットフォーム等の積極的な活用により、市民や事業者の更なる行動変容を促していく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	5	環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	2	**未来へつなげる循環型都市の実現**
目指す姿	ごみの適正排出に対する市民や事業者の意識が高まり、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組が進むことにより、ごみの減量化・資源化が進み、循環型都市が実現されています。	
第１期基本計画での取組方針	・家庭系ごみ及び事業系ごみの減量化・資源化を推進します。 ・将来へ向けた安定的なごみ処理体制の確立に取り組みます。	
施策の方向	① ３Ｒの推進による家庭系ごみの減量化・資源化 ② 事業系ごみの更なる減量化・資源化 ③ 安定的なごみ処理体制の確立	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
ごみの減量を意識している市民の割合（%）	66.9 （令和２年度）	85.0	70.0	82.4%	
資源の分別を意識している市民の割合（%）	97.4 （令和２年度）	99.5	97.4	97.9%	
一人１日当たりの家庭系ごみの排出量（g）	438 （平成30年度）	384	386	99.5%	
事業系ごみの排出量（t）	19,323 （平成30年度）	14,171	14,906	95.1%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
ごみの減量化・資源化が進んでいると思う市民の割合	57.3 （令和２年度）	77.0	59.5	77.3%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

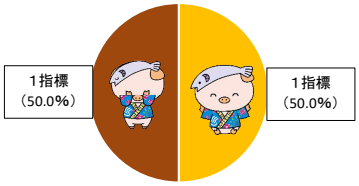
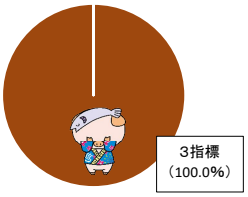
施策の方向	① ３Ｒの推進による家庭系ごみの減量化・資源化
取組の方向性	自治会等と協働し、ごみの排出抑制や分別の徹底など、３Ｒの取組を進め、ごみの減量化・資源化を推進します。
第10次総合計画期間（令和３～７年度）に実施した主な取組等	・循環型社会の形成を図るため、資源物の適正な収集及び処理を実施したほか、３Ｒ推進月間には広報あつぎによる啓発を実施 ・家庭から出る生ごみの減量を推進するため、家庭用生ごみ処理機を購入した市民に対して補助金を交付
施策の方向	② 事業系ごみの更なる減量化・資源化
取組の方向性	多量排出事業者や不適正排出事業者等に対し適正処理を求めるとともに、事業系ごみの排出抑制や資源化に取り組みます。 また、食品廃棄物排出事業者における食品ロス削減に取り組みます。
第10次総合計画期間（令和３～７年度）に実施した主な取組等	・事業系ごみの減量化・資源化を図るため、事業者への啓発及び戸別訪問指導を実施したほか、減量化・資源化に係る事業系生ごみ処理機設置等への補助等を実施
施策の方向	③ 安定的なごみ処理体制の確立
取組の方向性	ごみの安定的かつ確実な広域処理を推進するため、新たなごみ中間処理施設の整備を支援するとともに、新施設稼働後の環境センター跡地等の有効利用など、地域の実情に即したまちづくりを進めます。 また、将来に向けたごみと資源の安定的な収集処理体制の確立に取り組みます。
第10次総合計画期間（令和３～７年度）に実施した主な取組等	・厚木愛甲環境施設組合の円滑な運営及び事業推進に向け、運営に係る経費及び施設建設に係る経費を支出

◆成果と課題

成果	未来へつなげる循環型都市の実現に向け、厚木愛甲環境施設組合の運営等により安定的なごみ処理体制を確立したほか、設備導入に対する補助や適正化に向けた指導等により、家庭系及び事業系ごみの適正処理による減量化・資源化を図った。これにより、代表となる指標「家庭系ごみの排出量」及び「事業系ごみの排出量」等がおおむね順調に推移し、ごみの減量化・資源化を進めることができた。
課題	代表となる指標が順調に推移した一方で、市民実感度「ごみの減量化・資源化が進んでいると思う市民の割合」の実績値の実績値が低下したため、市の取組が市民の実感として表れるように、引き続き適正な分別の周知・啓発活動を実施するとともに、民間活力を活用した取組及びもえるごみの戸別収集の効果等を総合的に検討し、更なる環境負荷の減少を図っていく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	5	環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	3	**自然との共生の推進**
目指す姿	・人と自然の共生に向け、生物多様性への配慮が進められています。 ・市民、事業者等との連携・協働により、生物の良好な生息環境の整備、森林や里地里山の保全・活用が行われています。	
第１期基本計画での取組方針	・生物多様性の保全と持続可能なまちづくりを推進するため、市民、事業者、民間団体等と連携・協働し、豊かな自然の保全・活用を図ります。 ・森林の持つ多面的、公益的機能を維持するため、森林整備活動を行うとともに、里地里山の保全・活用を行います。	
施策の方向	① 多様な自然環境・生物多様性の保全と活用 ② 森林再生の推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
里地里山活動認定の対象面積（ha）	6.0（令和元年度）	6.7	6.8	100.0%	
森林ボランティア会員人数（人）	26（令和元年度）	40	23	57.5%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
生物多様性の普及や保全が進んでいると思う市民の割合	18.7（令和２年度）	41.0	29.0	70.7%	
里地里山の保全や活用が進んでいると思う市民の割合	23.4（令和２年度）	46.0	28.7	62.4%	
森林整備など山林の再生が進んでいると思う市民の割合	19.8（令和２年度）	33.0	24.4	73.9%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

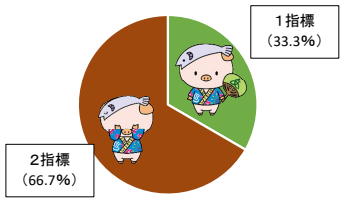
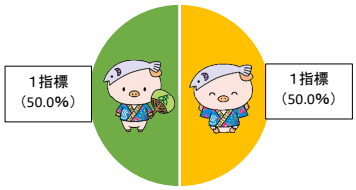
施策の方向	① 多様な自然環境・生物多様性の保全と活用
取組の方向性	生物多様性あつぎ戦略に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を計画的に推進するとともに、生物多様性の意味や重要性の普及及び配慮意識の浸透等の啓発を行います。 また、里地里山保全等促進計画に基づき、保全活動拠点のネットワーク化を推進し、重点地域における里地里山の継続的な保全活動を通じて、保全活動の全市的な展開につなげます。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・生物多様性の保全を推進する「生物多様性あつぎ戦略」の改定及び推進 ・生物多様性の重要性の理解を深めるため、環境エコツアー及びさがみ自然フォーラム等を開催 ・里地里山の保全等を進めるため、活動団体に対し補助金交付等の支援を実施 ・豊かな自然を維持する体制を整えるため、市内の企業や団体と協定を締結
施策の方向	② 森林再生の推進
取組の方向性	枝打ちや徐間伐等、地域水源林エリアの森林整備を行うとともに、森林ボランティア活動への支援等を通じて、森林愛護意識の向上を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・森林の持つ公益的な機能を効率的に発揮させるため、厚木市森林整備計画及び元気な森づくり整備計画等に基づく森林の維持管理を実施 ・水源涵養能力の回復を図るため、地域水源林整備事業及び森林環境整備促進事業を実施 ・森林への愛護意識の向上及び森林整備・管理人材の確保に向け、市民参加による森林づくり体験教室を実施したほか、森林づくりボランティア協会へ交付金を交付

◆成果と課題

成果	多様な自然環境及び生物多様性の保全並びに活用に向け、里地里山の保全活動を行う団体に対する新たな補助金メニューの創設や定期的なヒアリング等の支援により活性化を図ることで、代表となる指標「里地里山活動認定の対象面積」の目標値を達成させることができた。 また、生物多様性の保全については、各種イベント及び補助金交付等による支援を実施し、「生物多様性あつぎ戦略」の着実な推進を図ったことで、あつぎこどもの森公園内の生態系を保全する計画が認められ、環境省が推進する自然共生サイトの認定を受けた。 さらに、森林の再生に向け、地域水源林整備事業等により荒廃していた山林の改善を進め、樹木の生育促進と水源涵養能力の回復を図ったほか、森林づくり体験教室等を通じて森林に対する愛護意識の醸成を図った。
課題	森林の再生に向け、地域水源林整備事業等により荒廃していた山林の改善を進め、樹木の生育促進と水源涵養能力の回復を図った。しかし、代表となる指標「森林ボランティア会員人数」及び市民実感度「森林整備など山林の再生が進んでいると思う市民の割合」の達成率が伸び悩んだ。会員の高齢化に伴う担い手不足を改善するため、既存の活動に対する交付金等による支援に加え、新たな人材の加入及び育成にも支援を広げていくとともに、引き続き、森林づくり体験教室等に取り組み、森林に対する愛護意識の醸成を図っていく必要がある。 また、生物多様性の保全の必要性については、市民や事業者の理解や認知度が十分でないことから、より一層の周知啓発を図る必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	5	環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	4	**緑豊かで美しいまちの実現**
目指す姿	・憩いの場としての公園や緑地が整備され、良好な緑地空間の保全が図られています。 ・歩行喫煙や落書き、ごみのポイ捨てなどのない、緑豊かで美しい生活環境が整備されています。	
第１期基本計画での取組方針	・市民の憩いや安らぎの場となる公園及び緑地の整備、改修を行うとともに、緑地の確保を進め、緑豊かな生活環境づくりを推進します。 ・市民や事業者との協働により、環境の美化を進め、快適で美しい生活環境づくりを推進します。	
施策の方向	① 緑豊かな公園緑地の整備 ② 環境美化の推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
市民一人当たりの公園及び緑地面積（㎡/人）	8.15 （令和元年度）	9.65	9.45	97.9%	
地域美化清掃の実施件数（件）	243 （令和元年度）	258	162	62.8%	
不法投棄件数（件）	574 （令和元年度）	450	634	71.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っていると思う市民の割合	62.4 （令和２年度）	65.9	66.9	100.0%	
地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	58.6 （令和２年度）	68.0	66.0	97.1%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

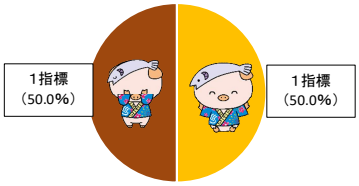
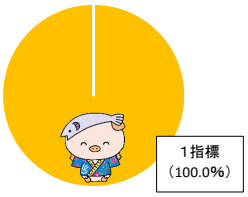
施策の方向	① 緑豊かな公園緑地の整備
取組の方向性	新規公園を整備するとともに、利用者が安心して過ごすことができるよう、老朽化、機能低下している公園や樹木により見通しの悪い公園等を改修します。 また、健康増進やバリアフリー化等市民ニーズに対応した公園の整備を行います。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・市民に憩いと安らぎの場を提供するため、瀬戸むつみ公園を整備したほか、長寿命化計画に基づき老朽化した公園施設を更新 ・防災機能を有した地区公園を整備するため、北部地区公園の整備検討 ・緑の大切さについて認識を深めるため、緑のまつりを開催
施策の方向	② 環境美化の推進
取組の方向性	環境美化やマナー向上を図るため、市民や事業者との協働により、ポイ捨て防止、路上喫煙禁止及びペットの適正な飼育等に関する啓発活動を実施します。 また、不法投棄防止を図るため、パトロールの実施や看板の設置等、取組を強化します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・まちの環境美化の向上を図るため、地域美化清掃のごみ収集運搬、年末の市内一斉美化清掃及び路上喫煙・ポイ捨て防止キャンペーンによる啓発活動を実施 ・公衆衛生の向上に向け、猫の不妊・去勢手術費の一部の助成や狂犬病予防法に基づき集合注射を実施したほか、動物愛護・動物適正飼養啓発イベント及びペット適正飼養講演会等を開催 ・良好な生活環境の確保に向け、不法投棄の防止に係る看板を集積所等に設置したほか、監視（防止）パトロールを実施

◆成果と課題

成果	緑豊かで美しいまちの実現に向け、瀬戸むつみ公園の整備や長寿命化に向けた公園施設の更新、防災機能を有した地区公園の整備検討のほか、緑のまつりにおいて各種イベントを開催したことにより、ハード整備及び市民意識の啓発を図った。これにより、市民実感度「身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っていると思う市民の割合」の目標値を達成したほか、代表となる指標「市民一人当たりの公園及び緑地面積」がおおむね順調に推移した。
課題	市民実感度「地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っていると思う市民の割合」が順調に推移した一方で、代表となる指標「地域美化清掃の実施件数」の実績値が低下した。高齢化や地域コミュニティの希薄化等により自治会数が減少し、美化清掃を実施する団体も減少していることから、地域美化清掃の支援を継続するとともに、路上喫煙防止などについては行政としてより一層主体的に取り組んでいく必要がある。 また、不法投棄については、迅速な収集により環境美化を図っているものの、件数は減少していないことから、更なる防止対策に取り組む必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	5	環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	5	**河川と共生するまちの実現**
目指す姿	・河川の水質保全が図られ、良好な河川環境が保たれています。 ・安心して水と親しめる水辺空間が確保され、水辺と人との触れ合いが、より身近に感じられるようになっています。	
第１期基本計画での取組方針	・生活環境や河川環境を保全するため、引き続き、河川等の水質の保全に努めます。 ・貴重な自然資源である谷戸の水辺環境の保全や、市民に親しみやすい自然をいかした河川環境づくりを進めます。	
施策の方向	① 良好な河川環境の保全 ② 親しみやすい河川環境の整備	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率（%）	92.0（令和元年度）	92.0	100.0	100.0%	
親水広場を活用した環境学習の実施回数（回）	2（令和元年度）	3	0	0.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
親しみやすい水辺空間が整っていると思う市民の割合	43.7（令和２年度）	47.2	48.5	100.0%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

施策の方向	① 良好な河川環境の保全
取組の方向性	生態系に配慮した河川環境の保全を行うとともに、事業効果を検証するため、水質調査や水生生物調査を実施します。 また、河川の水質常時監視調査や地下水調査、市内河川や水路等の水質調査及び工場や事業場の排水調査を実施します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・生活排水の処理を適正に行うため、市街化調整区域における汚水管整備工事を実施 ・河川美化意識の推進を図るため、相模川クリーンキャンペーンを実施 ・市民の健康の保護及び生活環境の保全のため、河川及び地下水の常時監視のほか、河川水質調査及び事業所排水事業を実施 ・生活排水による水道原水の汚濁を防止するため、単独処理浄化槽又はくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換に対する補助金を交付
施策の方向	② 親しみやすい河川環境の整備
取組の方向性	谷戸周辺の水辺環境の再生及び保全を図るとともに、親水広場の整備や河川を活用した環境学習を実施し、水辺と人が身近に触れ合うことができる、憩いと活動の場を提供します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・水と触れ合う機会の創出のため、親水広場を活用した環境学習の実施 ・相模川水辺ふれあい拠点の創出に向け、河川管理者等との協議及び実施設計を実施

◆成果と課題

成果	河川と共生するまちの実現に向け、水質の監視や調査を実施したほか、汚水管整備工事を実施し、良好な河川環境の保全に取り組んだ。また、相模川クリーンキャンペーンや親水広場を活用した環境学習を実施し、市民が河川に親しみ、水環境について学ぶ機会を提供した。これにより、代表となる指標「BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率」の目標値を達成させることができた。
課題	市民実感度「親しみやすい水辺空間が整っていると思う市民の割合」の目標値を達成した一方で、代表となる指標「親水広場を活用した環境学習の実施回数」の実績値が低下した。近年の気候変動により夏場の実施が困難となっていることから、開催時期の見直し等の工夫により着実に実施し、若い世代に水と触れ合う機会を提供することで、水質の保全等に対する意識を啓発していく必要がある。 また、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換件数が減少傾向にあるため、補助制度の一層の周知を図る必要がある。相模川水辺ふれあい拠点創出事業については、用地の処理に時間を要していることから、関係者との調整を進め、早期の事業化を図る必要がある。

ビジョン６

市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）

【基本施策】

1　市民参加・市民協働の推進

2　行財政改革の推進

3　都市間連携の推進

【全体結果】

・最終年度における代表となる指標の達成率平均（11指標）　90.3%

・最終年度における市民実感度の達成率平均（６指標）　85.0%

【評価区分】

代表となる指標	
	3 指標
	4 指標
	4 指標

市民実感度	
	2 指標
	1 指標
	3 指標

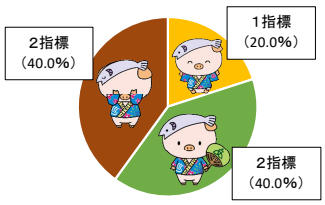
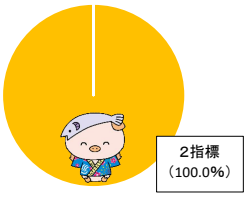
【総評】

「ビジョン６　市民と共に確かな成長を創り出すまち」については、総合計画の基本計画に位置付けられた代表となる指標の達成率平均が 90.3%、市民実感度の達成率平均が 85.0%となり、おおむね順調に推移した。

しかしながら、市民と共に確かな成長を創り出すまちの実現状況を評価するための重要な指標である、市民実感度「自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいると思う市民の割合（76 ページ）」が目標値を達成した一方で、「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合（78 ページ）」及び「防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいると思う市民の割合（80 ページ）」の達成率が伸び悩んだため、第 11 次総合計画で引き続き取り組んでいく必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	6	市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）
基本施策	1	**市民参加・市民協働の推進**
目指す姿	・市民協働が一層進み、地域課題の解決に向けた取組が進んでいます。 ・必要な情報を必要なときに入手できるとともに、日常的にまちづくりへの市民参加の機会が得られることにより、市民同士での議論が活発化し、市民の意見が市政に反映されています。	
第１期基本計画での取組方針	・地域コミュニティ団体やボランティア団体等の活動を支援するとともに、多様な主体がまちづくりに関わる市民協働によるまちづくりを進めます。 ・市民公募によるワークショップやパブリックコメント等、市民参加の機会を増やすとともに、情報発信手段の多様化や情報のアクセシビリティを強化し、市政がより身近なものとなるよう取組を進めます。	
施策の方向	① 市民協働の推進 ② 地域コミュニティ活動の充実 ③ 情報発信力の強化	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
市民対話等要望対応率（%）	74.7（令和２年度）	89.6	81.5	91.0%	
自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している市民の割合（%）	34.3（令和２年度）	39.3	37.9	96.4%	
市内で活動する市民活動団体数（団体）	211（令和２年度）	226	197	87.2%	
必要な行政情報を入手できている市民の割合（%）	72.9（令和２年度）	87.1	72.1	82.8%	
公式ＳＮＳの利用登録者数（人）	43,000（令和２年度）	83,000	94,964	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいると思う市民の割合	40.9（令和２年度）	45.9	47.1	100.0%	
市の情報媒体から必要な行政情報が発信されていると思う市民の割合	58.6（令和２年度）	61.0	62.0	100.0%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

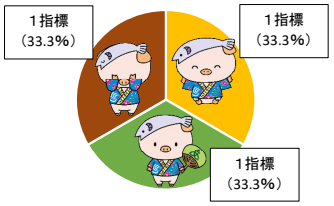
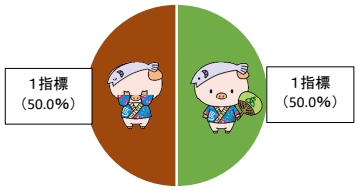
施策の方向	① 市民協働の推進
取組の方向性	多様化する地域課題の解決に向け、ボランティア団体等の活動支援や担い手の育成等に取り組み、市民協働によるまちづくりを一層推進します。 また、パブリックコメント等の市民参加手続を実施し、積極的な情報提供と市民ニーズの把握及び意見聴取機会を設けることにより、まちづくりへの市民参加の促進を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・厚木市制70周年記念に伴う特別事業、冠事業、協賛事業、広報事業を実施したほか、記念事業に対する補助金を交付 ・市民活動団体との協働による地域課題の解決に向けた市民協働提案事業を実施したほか、市民活動団体に対する補助金を交付 ・市民ニーズや地域課題等を的確に把握し、施策等へ反映させるため、あつぎタウンミーティングを実施 ・市民意見の反映機会を拡充するため、パブリックコメントの意見提出方法にＬＩＮＥ及び電子申請システムを追加 ・ＳＤＧｓの理念である「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、あつぎＳＤＧｓフェスティバルを実施したほか、あつぎＳＤＧｓパートナー登録制度等を推進
施策の方向	② 地域コミュニティ活動の充実
取組の方向性	地域のニーズに沿った活動支援、交流促進等を行います。 また、地域コミュニティ活動の拠点となる施設の維持管理及び整備を支援し、市民が安心して集い、活動できる環境を作ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・自治会活動及び地域コミュニティ活動の充実を図るため、地域集会施設の新築等に対する補助金を交付 ・自治会への加入を促進するため、自治会活動を紹介するパンフレットを全戸配布 ・自治会の負担軽減・ＤＸを推進するため、電子回覧板の導入及び運用
施策の方向	③ 情報発信力の強化
取組の方向性	広報紙、市ホームページ、デジタルサイネージ、ＳＮＳを活用し、必要な行政情報が届くよう、情報を発信します。 また、利用者の目線に立った情報整理やアクセシビリティの強化を図ります。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・市政や市民活動に関する情報について、より効果的な情報発信を図るため、広報あつぎと連動した広報番組の作成・放映、ＹｏｕＴｕｂｅでの配信を行ったほか、ｔｖｋ、ＦＭヨコハマ等のメディアやＳＮＳ等を活用した情報発信を実施

◆成果と課題

成果	市民協働の推進に向け、タウンミーティング等の市民対話により、自治会、企業及び保育園児や幼稚園児の保護者を始めとする多様な世代や立場の方々と対話し、市民ニーズに即した施策の推進を図った。これにより、代表となる指標「市民対話等要望対応率」がおおむね順調に推移した。 また、市民参加手続については、パブリックコメントの意見提出方法にＬＩＮＥや電子申請システムを追加したことで、より多くの意見を募ることができ、多様な意見を条例や計画にいかす機会の拡充につながった。自治会活動については、活動を紹介するパンフレットの全戸配布や電子回覧板の導入により、加入促進及び負担軽減を図ることができた。 さらに、市制70周年記念事業については、市民、事業者及び各団体等が一体となった各種記念事業を実施し、ふるさと「あつぎ」への愛着と誇りを深める機会とすることができた。 これらの取組により、市民実感度「自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいると思う市民の割合」の目標値を達成したほか、代表となる指標「自治会やボランティア・ＮＰＯ等の活動に参加している市民の割合」がおおむね順調に推移した。
課題	人口減少や超高齢社会の進展、価値観の多様化などにより市民ニーズが複雑・多様化する中、代表となる指標「市内で活動する市民活動団体数」の実績値が低下した。地域課題を効果的に解決するためには、市と市民の協働による取組を一層推進していく必要がある。 市民実感度「市の情報媒体から必要な行政情報が発信されていると思う市民の割合」が目標値を達成した一方で、「必要な行政情報を入手できている市民の割合」の実績値が低下した。デジタル化に伴い情報を受け取る媒体が多様化しており、市民ニーズの把握が難しくなっていることから、引き続き効果的な情報発信に向け、情報の質の向上及び発信方法等への工夫を図っていく必要がある。 なお、ＳＤＧｓについては、認知度が上昇した一方で、国連が定めた進捗度が達成期限までの目標に達しない見込みであることから、本市においても更に取組を推進していく必要がある

まちづくりのビジョン（基本政策）	6	市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）
基本施策	2	行財政改革の推進
目指す姿	・市民ニーズの多様化や社会環境の変化に柔軟に対応した質の高い行政サービスの提供ができています。 ・安定的な財政基盤に基づく持続可能な財政運営が図られています。 ・市民共有の財産である公共施設が計画的に更新され、次世代へと引き継がれています。	
第１期基本計画での取組方針	・市民ニーズに対応した質の高い行政サービスを提供するため、デジタル技術の活用による業務効率化などの行政改革に取り組みます。 ・安定した財政基盤を確立するため、更なる自主財源の確保を図ります。 ・公共施設の最適化を計画的に推進し、将来負担の軽減を図ります。	
施策の方向	① 行政改革の推進 ② 健全な財政運営 ③ 公共施設最適化の推進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
第７次行政改革の推進度（%）	－	100.0	87.8	87.8%	
市税収納率（%）	98.81（令和元年度）	99.05	98.70	99.6%	
公共施設個別施設計画に基づく第１期短期再編プログラムの進捗率（%）	－	81.8	81.8	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合	29.9（令和２年度）	46.6	36.5	78.3%	
小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいると思う市民の割合	30.1（令和２年度）	46.6	45.3	97.2%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

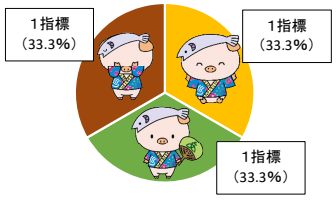
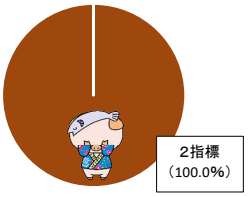
施策の方向	① 行政改革の推進
取組の方向性	行政改革大綱に基づき、行政手続等におけるデジタル技術の活用や根拠に基づく政策立案（EBPM）、官民連携を推進するなど、質の高い行政サービスの提供に向けた行政改革を推進します。
第10次総合計画期間（令和３～７年度）に実施した主な取組等	・社会・経済環境の変化への対応や将来都市像を実現させるため、まちづくりの方向性や施策の体系を示す「第11次厚木市総合計画」を策定 ・「第11次厚木市総合計画」の策定に合わせ、人口の将来展望を推計し施策を企画立案するため、「厚木市人口ビジョン」を改定 ・効果的・効率的な行政運営を行うため、全1,086事業に対し、事務事業評価を実施 ・業務の効率化及び生産性の向上を図るため、ＡＩ－ＯＣＲ及びＲＰＡを導入し、対象業務を拡大 ・誰でも利用しやすく、少ない手順で目的が達成できる窓口の実現に向け、「厚木市総合窓口整備計画」を策定し、市民課証明発行窓口における「書かない窓口」を運用したほか、他課が所管する手続の代理受付を開始 ・災害時の情報収集支援及び公共施設利用者の利便性向上を図るため、公衆無線ＬＡＮサービス「Atsugi Free Wi-Fi」を新規整備し、令和７年度末までに33か所で運用
施策の方向	③ 公共施設最適化の推進
取組の方向性	公共施設最適化基本計画に基づき、公共施設の老朽化対策として、計画的な長寿命化改修を行うとともに、公共施設の複合化などの適正配置を推進します。
第10次総合計画期間（令和３～７年度）に実施した主な取組等	・公共建築物の長寿命化を図り、今後の財政負担の軽減及び建築物の機能回復・機能向上を図るため、公共建築物の築年数や劣化状況に応じた長寿命化改修工事を実施 ・公共施設最適化基本計画の改定及び公共施設個別施設計画の策定

◆成果と課題

成果	行財政改革の推進に向け、市民窓口支援システムやＲＰＡの導入によるデジタル技術を活用したサービスの提供と業務の効率化、他課が所管する手続の代理受付の開始など、窓口サービス改革を進め、質の高い窓口サービスの提供に取り組んだ。事務事業評価についても、全1,086事業を対象に実施し、評価結果を踏まえた事業の見直しを図ることができた。 また、財政負担の軽減や建築物の機能回復・機能向上に向け、公共建築物の改修工事を着実に推進した。これにより、市民実感度「小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいると思う市民の割合」がおおむね順調に推移した。
課題	第11次厚木市総合計画を始めとする各種計画の策定及び改定を行うとともに、市民ニーズに即した行政サービスの提供に取り組んだ。しかし、市民実感度「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合」の達成率が伸び悩んだため、令和８年度を始期とする第11次厚木市総合計画に掲げる将来都市像の実現に向けて、ロジックモデルの考えのもと、指標や目標値を柔軟に修正し、社会変化に即した推進を図っていく必要がある。 また、人口減少を受け止めた中で、人口減少に耐えうるまちづくりや行政サービス提供のあり方を考える必要があるため、引き続き現状を分析し、適応につながる調査・研究を進める。 さらに、社会的ニーズへの対応等に伴い市内公共施設の延べ床面積は全体的に増加していることから、公共施設個別施設計画に基づき、施設の最適化を計画的に進めていく必要がある。事務事業評価についても、施策評価と連動させ、更に精度の高い事業の見直しを進める必要がある。

まちづくりのビジョン（基本政策）	6	市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）
基本施策	3	**都市間連携の推進**
目指す姿	・近隣市町村と共通する行政課題の解決に向け、適切に対応することができる都市間連携の体制を確立しています。 ・国内友好都市との都市間の交流が進み、友好親善が深まっています。	
第１期基本計画での取組方針	・近隣市町村と共通する行政課題の解決に向け、都市間連携を推進し、市民サービスの向上を図ります。 ・国内友好都市との交流を促進させるため、本市が主催する交流事業のほか、民間団体による交流活動を支援します。	
施策の方向	① 広域連携の推進 ② 他都市との交流促進	

◆現状値と最終年度の実績値の比較（内訳）≪代表となる指標及び市民実感度≫

代表となる指標	市民実感度
	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較≪代表となる指標≫

指標名（単位）	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
都市間連携の実施件数（件）	49 （令和元年度）	54	52	96.3%	
民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数（件）	1 （令和元年度）	4	2	50.0%	
国内友好都市との交流活動件数（件）	21 （令和元年度）	25	27	100.0%	

◆指標ごとの現状値と最終年度の比較
≪市民実感度（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）≫

指標名	策定時現状値	R7目標値	R7実績値	達成率	評価区分
防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいると思う市民の割合	26.3 （令和２年度）	46.3	29.2	63.1%	
国内友好都市との交流が進んでいると思う市民の割合	31.1 （令和２年度）	47.0	33.4	71.1%	

◆施策の方向ごとの主な取組等

施策の方向	① 広域連携の推進
取組の方向性	災害対策や観光振興など様々な分野における広域的な行政課題の解決や事務の効率化に向けた取組を行うなど、市域を超えた都市間連携を推進することで、更なる市民サービス向上を目指します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・周辺の自治体と共通する行政課題の多様化・専門化・広域化に対応するため、県央相模川サミットで「カーボンニュートラル推進に向けた共同宣言」を実施したほか、県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定及びパートナーシップ宣誓制度に係る自治体間連携に関する協定を締結 ・県央やまなみ地域の発信力を高めるため、丹沢・大山・宮ケ瀬湖周辺エリアの観光イラストマップ及びデジタルマップを作成したほか、県央やまなみ協議会のロゴマークを制作
施策の方向	② 他都市との交流促進
取組の方向性	国内友好都市との連携を深めていくため、様々な分野で友好都市との交流を促進します。 また、民間における交流を促進するため、本市が主催する交流事業の実施のほか、民間団体による交流活動を支援します。
第10次総合計画期間(令和３～７年度)に実施した主な取組等	・地域の活性化や市民文化の向上を図るため、国内友好都市との訪問団の受入、派遣及び友好都市紹介展等のイベントを実施したほか、友好都市と交流を行う市民団体への補助金を交付

◆成果と課題

成果	都市間連携の推進に向け、近隣自治体との共同宣言の実施や協定を締結したほか、国内友好都市との交流事業及び市民団体の交流活動への支援を実施した。広域連携については、従来から連携してきた広域観光振興や防災対策に加え、パートナーシップ制度やカーボンニュートラルの推進など、新たな行政課題についても連携の取組を広げることができた。これらの取組により、代表となる指標「国内友好都市との交流活動件数」の実績値を達成したほか、「都市間連携の実施件数」がおおむね順調に推移した。
課題	市民実感度の達成率が伸び悩んでいるため、市の取組が市民の実感として表れるように、県央やまなみ地域の活性化を図るため、共通する行政課題等の解決に向けた研究を進めていくとともに、民間団体による国内友好都市との交流の促進に向け、幅広い分野での交流事業を企画するとともに、市民団体向けの補助金について周知などに取り組む必要がある。

【総合計画審議会からの意見】

【まとめ】

巻末資料

第10次厚木市総合計画に掲げた指標の実績（推移）

ビジョン１　命、財産を守り抜くまち（安心政策）　・・・・・・・・・・・86

ビジョン２　支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）　・・・・・92

ビジョン３　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）　・・・100

ビジョン４　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）　・・108

ビジョン５　環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）　・・・・・118

ビジョン６　市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）　・・・・126

まちづくりのビジョン（基本政策）	1　命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	**1　災害に強いまちの実現**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	96.3 /100	A	90.9 /100	A	88.3 /100	B	88.7 /100	B	85.0 /100	B

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　災害に備えていることがある市民の割合

年度	単位	現状値（令和２年度）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	86.9	87.5	94.0	96.0	98.0
実績値	%	86.3	89.9	89.0	86.8	89.9	85.0
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**92.3**	**93.6**	**86.7**

指標②　住宅の耐震化率

年度	単位	現状値（令和元年度）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	91.1	92.1	94.1	94.9	95.8
実績値	%	89.8	92.7	92.9	93.1	93.3	93.4
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**98.9**	**98.3**	**97.5**

指標③　災害応急対策等に関する協定の締結数

年度	単位	現状値（令和元年度）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	124	127	145	150	155
実績値	件	121	134	139	134	142	154
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**92.4**	**94.7**	**99.4**

指標④　市民防災研修会における防災に対する意識高揚度

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	55.0	60.0	95.0	95.0	95.0
実績値	%	－	0.0	91.0	95.3	95.4	95.8
達成率	%	－	★1 **0.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値（令和２年度）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	41.5	42.2	42.9	43.6	44.3
実績値	%	40.8	40.3	38.1	37.7	39.4	41.4
達成率	%	－	**97.1**	**90.3**	**87.9**	**90.4**	**93.5**

指標②　災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値（令和２年度）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	51.5	53.1	54.9	56.6	58.3
実績値	%	49.8	44.4	44.0	41.0	44.9	44.7
達成率	%	－	**86.2**	**82.9**	**74.7**	**79.3**	**76.7**

指標③　自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値（令和２年度）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	39.5	41.6	43.7	45.8	47.9
実績値	%	37.3	34.3	35.4	33.0	34.5	35.1
達成率	%	－	**86.8**	**85.1**	**75.5**	**75.3**	**73.3**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 災害に強い社会基盤の整備	1	急傾斜地安全対策事業	100.0%	100.0%	97.6%	94.7%	83.8%
	2	準用河川安全対策事業	100.0%	0.0%	100.0%		
	3	公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	4	公共下水道厚木排水区浸水被害軽減事業【公共下水道事業会計】	100.0%	100.0%	－		
	5	本厚木駅周辺地域都市再生安全確保計画改定事業	100.0%	－	－		
	6	無電柱化推進計画策定事業	100.0%	－	－		
	7	防災都市づくり計画策定事業	100.0%	100.0%	－		
	8	木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	53.3%	70.0%	41.7%	58.3%	55.0%
	9	沿道建築物耐震促進事業費補助事業	－	0.0%	100.0%		
	10	耐震改修促進計画改定事業	100.0%	100.0%	-		
	11	宅地耐震化推進事業	100.0%	100.0%	100.0%		
	12	災害拠点病院整備事業【病院事業会計】	100.0%	100.0%	100.0%		
	13	建築確認台帳等電子化事業	－	100.0%	100.0%		
② 災害対応力の強化	14	総合防災訓練等事業	★1 －	53.3%	62.3%	53.1%	87.8%
	15	地区別防災マップ作成事業	100.0%	－	－		
	16	オールハザードマップ等作成事業	100.0%	－	－		
	17	新型防災ラジオ整備事業	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	96.5%
	18	地域防災計画改定事業	－	100.0%	－		
	19	風水害等対策事業	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	20	風水害等対策事業【公共下水道事業会計】	－	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	21	都市空間情報デジタル基盤構築事業	－	－	100.0%		
	22	国土強靭化地域計画改定事業				100.0%	－
	23	災害時医療対策事業				100.0%	100.0%
	24	感震ブレーカー設置事業				100.0%	35.4%
	25	防災行政無線更新整備事業				－	100.0%
③ 地域防災組織の強化	26	地域防災力強化事業	★1 －	61.7%	39.4%	59.8%	46.9%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	1　命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	**2　消防力の充実・強化**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	98.8/100	A	93.3/100	A	97.7/100	A	94.8/100	A	93.1/100	A

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　出火率（人口１万人当たりの出火件数）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4
実績値		2.4	2.4	2.6	2.2	2.9	2.7
達成率	%	－	**100.0**	**92.3**	**100.0**	**82.8**	**88.9**

指標②　AEDの使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	61.9	63.1	64.4	65.6	66.9
実績値		60.7	61.9	62.2	62.9	64.4	64.7
達成率		－	**100.0**	**98.6**	**97.7**	**98.2**	**96.7**

指標③　市民による応急手当の実施率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	66.5	66.5	66.5	66.5	66.5
実績値		61.2	66.3	69.1	65.4	67.0	61.9
達成率		－	**99.7**	**100.0**	**98.3**	**100.0**	**93.1**

指標④　消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	79.9	80.3	80.8	81.3	81.7
実績値		79.4	79.4	79.5	79.9	78.9	77.9
達成率		－	**99.4**	**99.0**	**98.9**	**97.0**	**95.3**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　消防・救急・救助体制が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	71.5	72.3	73.0	73.8	74.6
実績値		70.7	69.1	70.1	72.0	69.8	74.2
達成率		－	**96.6**	**97.0**	**98.6**	**94.6**	**99.5**

指標②　応急手当の普及に向けた取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	48.8	50.0	51.3	52.5	53.8
実績値		47.5	49.1	45.4	48.4	48.8	49.4
達成率		－	**100.0**	**90.8**	**94.3**	**93.0**	**91.8**

指標③　火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	53.3	54.7	56.1	57.5	58.9
実績値		51.9	54.8	52.2	54.2	53.0	55.0
達成率		－	**100.0**	**95.4**	**96.6**	**92.2**	**93.4**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 消防体制の充実	1	消防庁舎整備事業	100.0%	100.0%	－	100.0%	100.0%
	2	消防団施設整備事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	3	高機能消防指令センター整備事業	－	－	100.0%	100.0%	100.0%
	4	消防車両整備事業	100.0%	70.0%	100.0%	100.0%	36.4%
	5	消防水利整備事業	100.0%	0.0%	100.0%	－	－
	6	消防資器材整備事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	7	消防活動用ドローン導入事業				100.0%	100.0%
	8	消防団活性化事業	90.2%	92.1%	92.1%	100.0%	85.7%
② 救急体制の充実	9	救急推進事業	★2 95.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
③ 火災予防対策の推進	10	防火意識啓発事業	87.9%	93.4%	90.8%	88.3%	87.9%

★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	1　命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	**3　セーフコミュニティの推進**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	95.8/100	A	85.2/100	B	83.2/100	B	81.4/100	B	77.7/100	C

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	92.7	93.6	94.5	95.4	96.4
実績値		86.5	94.1	92.0	93.6	93.8	94.9
達成率		－	**100.0**	**98.3**	**99.0**	**98.3**	**98.4**

指標②　自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	55.2	57.2	63.4	64.8	66.2
実績値		53.2	60.8	57.3	54.8	54.8	53.9
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**86.4**	**84.6**	**81.4**

指標③　交通事故発生件数（暦年）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	777	742	603	587	571
実績値		852	711	617	620	618	590
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**97.3**	**95.0**	**96.8**

指標④　防犯などの対策について心掛けていることがある市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0
実績値		90.1	89.5	89.6	90.4	90.7	88.9
達成率		－	**98.4**	**97.4**	**97.2**	**96.5**	**93.6**

指標⑤　刑法犯認知件数（暦年）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	900	810	729	656	590
実績値		1,259	1,131	1,056	1,262	1,397	1,498
達成率	%	－	**79.6**	**76.7**	**57.8**	**47.0**	**39.4**

指標⑥　特殊詐欺被害件数（暦年）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	30	27	19	16	13
実績値		31	10	38	38	40	48
達成率	%	－	**100.0**	**71.1**	**50.0**	**40.0**	**27.1**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　事故やけがなどがない健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	–	43.9	46.0	48.1	50.2	52.3
実績値 ％	41.8	41.6	37.0	41.6	40.3	41.4
達成率	–	**94.8**	**80.4**	**86.5**	**80.3**	**79.2**

指標②　交通安全の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	–	42.4	44.4	46.4	48.4	50.4
実績値 ％	40.4	42.8	37.6	44.5	43.0	41.0
達成率	–	**100.0**	**84.7**	**95.9**	**88.8**	**81.3**

指標③　防犯の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	–	40.0	42.5	45.0	47.5	50.0
実績値 ％	36.8	38.2	30.2	36.4	34.6	33.8
達成率	–	**95.5**	**71.1**	**80.9**	**72.8**	**67.6**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① セーフコミュニティの取組の推進	1	セーフコミュニティ推進事業	★2 94.8%	79.9%	93.0%	90.2%	89.6%
	2	地域セーフコミュニティ活動推進事業	★2 100.0%	99.2%	99.5%	99.2%	99.2%
② 交通安全対策の強化	3	交通安全対策事業	100.0%	100.0%	97.3%	95.0%	96.8%
	4	自転車安全促進事業	97.2%	97.9%	99.9%	92.1%	97.6%
	5	放置自転車対策事業	80.7%	74.7%	74.6%	100.0%	100.0%
③ 防犯に対する取組の推進	6	防犯対策事業	91.2%	81.5%	67.6%	93.9%	88.7%
	7	安心・安全対策整備事業	79.8%	76.8%	78.9%	97.6%	100.0%
	8	本厚木駅周辺環境浄化対策事業	92.2%	54.3%	60.7%	80.0%	65.6%
	9	振り込め詐欺等防止装置購入費補助事業	100.0%	71.1%	50.0%	95.3%	88.8%
	10	消費生活相談・消費者意識啓発事業	100.0%	96.4%	93.8%	99.2%	98.5%

★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	2　支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	1　住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	97.5/100	A	91.0/100	A	90.7/100	A	88.2/100	B	91.8/100	A

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　地域の人との関わりがあると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	56.0	57.0	59.0	60.5	62.0
実績値		53.9	55.2	57.3	57.1	55.3	57.0
達成率		－	**98.6**	**100.0**	**96.8**	**91.4**	**91.9**

指標②　生きがいを持って生活を送っている市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0
実績値		74.6	75.2	76.0	74.6	75.8	75.2
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**96.9**	**97.2**	**95.2**

指標③　ケアプラン点検の実施事業所数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	事業所	－	50	50	50	50	50
実績値		35	50	50	50	75	50
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標④　介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	28	32	45	48	50
実績値		20	39	43	37	35	51
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**82.2**	**72.9**	**100.0**

指標⑤　地域住民による助け合い活動団体数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	団体	－	8	9	15	18	22
実績値		7	7	12	13	16	25
達成率	%	－	**87.5**	**100.0**	**86.7**	**88.9**	**100.0**

指標⑥　市内障害福祉サービス事業所の地域生活支援拠点の登録数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	か所	－	6	8	10	48	51
実績値		5	38	42	49	39	45
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**81.3**	**88.2**

指標⑦　地域福祉コーディネーターの活動件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	1,800	2,100	2,300	2,500	2,700
実績値		1,752	1,532	1,422	1,990	3,083	3,031
達成率	%	－	★1 **85.1**	**67.7**	**86.5**	**100.0**	**100.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	50.0	52.0	54.0	56.0	58.0
実績値		48.0	50.3	46.7	51.6	50.7	55.0
達成率		－	**100.0**	**89.8**	**95.6**	**90.5**	**94.8**

指標②　高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0
実績値		39.6	43.3	37.0	44.1	43.3	46.0
達成率		－	**100.0**	**88.1**	**100.0**	**94.1**	**95.8**

指標③　高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実していると思う市民の割合							
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	44.6	45.8	47.0	48.2	49.4
実績値		43.4	44.6	39.1	43.7	44.7	45.1
達成率		－	**100.0**	**85.4**	**93.0**	**92.7**	**91.3**

指標④　高齢者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合							
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0
実績値		44.3	45.3	39.7	44.8	46.9	45.5
達成率		－	**100.0**	**86.3**	**95.3**	**97.7**	**92.9**

指標⑤　障がい者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合							
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	37.0	40.0	43.0	46.0	49.0
実績値		36.4	38.6	34.2	37.9	36.7	40.3
達成率		－	**100.0**	**85.5**	**88.1**	**79.8**	**82.2**

指標⑥　支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実していると思う市民の割合							
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	38.0	40.5	43.0	45.5	48.0
実績値		35.4	38.2	34.7	36.8	38.2	39.7
達成率		－	**100.0**	**85.7**	**85.6**	**84.0**	**82.7**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 地域福祉活動の推進	1	地域福祉推進事業	100.0%	89.8%	97.8%	90.5%	94.8%
② 就労・生きがいづくりの推進	2	エイジレス・ライフ応援事業	★1 －	57.1%	75.7%	100.0%	100.0%
	3	老人クラブ指導育成事業	94.6%	88.5%	80.6%	92.3%	81.6%
	4	高齢者生きがい就労事業	86.0%	83.2%	83.9%	99.6%	99.2%
	5	障がい者就労施設等共同受注窓口事業補助事業	72.7%	76.1%	71.6%	100.0%	100.0%
③ 福祉サービス提供体制の充実	6	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第９期）策定事業	－	100.0%	100.0%		
	7	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）策定事業				－	100.0%
	8	介護職人材確保支援事業	100.0%	100.0%	86.6%	72.9%	100.0%
	9	特別養護老人ホーム建設事業補助事業	100.0%	-	100.0%		
④ 高齢者福祉サービスの充実	10	在宅福祉推進事業（在宅サービス事業）	79.2%	74.5%	73.5%	67.8%	53.9%
	11	介護支援事業（高齢者支援）【介護保険事業特別会計】	★2 100.0%	54.2%	57.8%	47.2%	53.1%
	12	高齢者外出支援事業	★1 －	100.0%	92.0%	100.0%	100.0%
	13	敬老事業	90.5%	81.1%	73.7%	100.0%	98.9%
	14	要介護・高齢者等歯科診療事業	－	100.0%	93.3%	93.3%	95.3%
	15	要介護・高齢者等歯科診療設備整備事業	－	100.0%	－		
⑤ 障がい者福祉サービスの充実	16	障害者地域生活支援事業（福祉サービス）	95.9%	94.7%	95.6%	93.4%	94.7%
	17	児童発達支援事業	100.0%	100.0%	95.0%	97.6%	99.7%
	18	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	100.0%	100.0%	83.3%	45.8%	58.3%
	19	障害者医療費助成事業	100.0%	100.0%	97.7%	98.3%	96.4%
	20	障害者福祉手当等給付事業	99.8%	95.4%	98.6%	81.0%	87.1%
	21	障害福祉サービス開設準備・運営経費補助事業	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	22	障がい者歯科診療事業	92.1%	92.5%	100.0%	100.0%	100.0%
	23	学校等訪問看護支援事業費	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
⑥ 包括的な支援体制の充実	24	包括的支援事業（在宅医療・介護・生活支援推進事業）	100.0%	100.0%	77.3%	51.9%	55.3%
	25	包括的支援事業（地域包括支援センター運営事業）	100.0%	100.0%	92.1%	98.3%	100.0%
	26	社会福祉団体等助成事業	★1 －	67.7%	86.5%	100.0%	100.0%
	27	生活困窮者自立支援事業	58.0%	62.0%	38.6%	32.6%	17.8%
	28	高齢者の尊厳保持支援事業	100.0%	100.0%	61.8%	76.6%	67.5%
	29	重層的支援体制整備事業	－	17.5%	13.4%	74.7%	95.0%
	30	包括的支援事業（地域ケア会議推進事業）	－	－	100.0%	100.0%	0.0%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。
★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	2　支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	**2　子育て環境の充実**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	98.3/100	A	95.8/100	A	94.0/100	A	95.4/100	A	94.2/100	A

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	56.1	56.3	65.6	67.0	68.4
実績値		55.9	62.8	60.5	59.9	59.3	61.8
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**91.3**	**88.5**	**90.4**

指標②　保育施設等入所率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値		99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標③　妊娠届出率（妊娠11週以下）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	85.0	85.0	90.0	91.0	92.0
実績値		80.9	87.6	84.9	84.0	86.5	83.9
達成率		－	**100.0**	**99.9**	**93.3**	**95.1**	**91.2**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　子育てサービスが充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	66.2	66.4	66.6	66.8	67.0
実績値		66.0	68.2	64.0	67.5	69.9	68.6
達成率		－	**100.0**	**96.4**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標②　保育と幼児教育の提供体制が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	54.8	55.2	55.6	56.0	56.4
実績値		54.4	57.5	50.7	52.9	57.8	55.8
達成率		－	**100.0**	**91.8**	**95.1**	**100.0**	**98.9**

指標③　母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	52.0	52.5	53.0	53.5	54.0
実績値		51.3	56.8	48.8	52.9	54.1	58.2
達成率		－	**100.0**	**93.0**	**99.8**	**100.0**	**100.0**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 子育てサービスの充実	1	子育て支援事業	★2100.0%	83.0%	86.7%	93.0%	92.8%
	2	母子家庭等支援事業	100.0%	97.5%	100.0%	95.7%	93.0%
	3	コミュニティ保育推進事業補助事業	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%
	4	子育てリフレッシュ事業	★1 －	100.0%	100.0%	96.7%	98.7%
	5	あつぎ子ども未来プラン（第４期）策定事業	－	－	100.0%	100.0%	－
	6	子育て日常生活支援事業	100.0%	100.0%	99.5%	98.4%	94.3%
	7	子育て支援センターリニューアル事業				－	100.0%
	8	子ども・子育て相談支援事業				－	100.0%
② 保育・幼児教育等の提供体制の充実	9	保育内容充実事業	87.8%	90.3%	95.5%	94.1%	94.8%
	10	市立保育所整備事業	－	－	100.0%		
	11	子ども・子育て支援新制度事業	100.0%	100.0%	87.5%	87.5%	87.5%
	12	私立幼稚園就園奨励事業	95.0%	92.9%	94.4%	91.8%	93.7%
	13	放課後子ども教室推進事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.0%
	14	放課後児童対策事業	97.0%	97.5%	97.8%	99.2%	99.7%
	15	幼稚園送迎ステーション事業	65.4%	66.3%	70.7%	100.0%	100.0%
	16	幼稚園教諭確保助成事業	55.0%	36.7%	55.0%	46.7%	40.0%
	17	保育士確保対策事業	50.0%	62.2%	41.1%	33.3%	72.2%
	18	保育所キャッシュレス決済導入事業				100.0%	－
	19	保育施設整備充実事業				－	0.0%
③ 親と子の健康づくりの推進	20	療育支援事業	★2100.0%	95.1%	92.6%	100.0%	97.3%
	21	子ども医療費助成事業	99.7%	96.6%	94.6%	100.0%	100.0%
	22	不妊治療費助成事業	100.0%	100.0%	3.3%		
	23	ひとり親家庭等医療費助成事業	100.0%	100.0%	95.2%	100.0%	100.0%
	24	予防接種事業	99.8%	100.0%	98.0%		
	25	母子保健衛生事業	100.0%	100.0%	95.4%	95.7%	94.2%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。
★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	2　支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	**3　健康寿命延伸の推進**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	97.3/100	A	90.6/100	A	91.2/100	A	92.7/100	A	90.8/100	A

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　市立病院の紹介率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	75.0	77.5	79.5	80.0	81.0
実績値		71.2	77.8	85.9	90.0	92.0	90.7
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標②　市立病院の逆紹介率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	60.0	62.5	82.5	85.0	87.5
実績値		60.9	76.7	82.3	89.2	93.9	103.0
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標③　健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	91.0	91.5	92.0	92.5	93.0
実績値		90.0	92.8	91.5	92.9	92.8	90.1
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**96.9**

指標④　健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
実績値		80.0	80.3	82.0	81.7	81.1	78.5
達成率		－	**99.1**	**100.0**	**98.4**	**96.5**	**92.4**

指標⑤　特定健康診査の受診率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0
実績値		36.3	32.7	32.6	32.8	30.2	32.2
達成率		－	★1 **86.1**	**83.6**	**82.0**	**73.7**	**76.7**

指標⑥　長寿健康診査等の受診率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	41.0	41.1	41.2	41.3	41.4
実績値		39.5	36.5	37.3	37.7	37.1	37.2
達成率		－	★1 **89.0**	**90.8**	**91.5**	**89.8**	**89.9**

指標⑦　認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	79.0	79.1	79.2	79.3	79.4
実績値		78.9	79.4	81.9	80.6	83.4	78.2
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**98.5**

指標⑧　高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	14.8	15.2	15.9	17.3	18.0
実績値		14.3	15.3	15.9	16.6	17.2	17.6
達成率		－	**96.7**	**95.6**	**95.8**	**100.0**	**100.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実していると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	56.5	57.0	57.5	58.0	58.5
実績値		56.0	54.3	54.0	55.7	55.0	56.3
達成率		－	**96.1**	**94.7**	**96.9**	**94.8**	**96.2**

指標②　市立病院の救急医療体制が充実していると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	51.5	53.0	54.5	56.0	57.5
実績値		50.2	49.9	50.3	48.2	50.7	51.3
達成率		－	**96.9**	**94.9**	**88.4**	**90.5**	**89.2**

指標③　市立病院と地域のクリニック等との連携が充実していると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	41.0	42.5	44.0	45.5	47.0
実績値		39.6	42.5	42.6	41.5	45.8	44.3
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**94.3**	**100.0**	**94.3**

指標④　検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	66.0	68.0	70.0	72.0	74.0
実績値		64.1	61.7	63.8	64.0	65.4	63.7
達成率		－	**93.5**	**93.8**	**91.4**	**90.8**	**86.1**

指標⑤　介護予防と認知症に対する取組が進んでいると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	32.5	34.0	36.0	37.0	38.0
実績値		31.2	28.9	28.4	31.5	34.2	34.0
達成率		－	**88.9**	**83.5**	**87.5**	**92.4**	**89.5**

≪第１期実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 地域医療体制の充実	1	看護職等人材確保支援事業	55.1%	57.3%	35.8%	53.6%	37.9%
	2	救急医療事業	100.0%	76.5%	96.2%	97.6%	96.5%
	3	市立病院運営事業	★2100.0%	91.4%	92.8%	96.5%	95.3%
② 心と体の健康づくりの推進	4	データヘルス計画推進事業【国民健康保険事業特別会計】	100.0%	100.0%	91.9%	50.0%	62.1%
	5	健康増進事業	★1 －	78.3%	77.3%	93.6%	91.1%
	6	予防接種事業	100.0%	100.0%	91.9%	98.1%	98.6%
	7	長寿健康診査等事業【後期高齢者医療事業特別会計】	★1 －	90.8%	91.5%	89.8%	89.9%
	8	特定健康診査等事業【国民健康保険事業特別会計】	★1 －	83.6%	82.0%	73.7%	76.4%
	9	未病施策事業	★1 －	30.3%	32.5%	98.8%	100.0%
	10	健康スイミング事業	★1 －	0.0%	21.0%	57.6%	69.7%
	11	健康づくり事業	★290.2%	58.7%	82.1%	70.7%	63.3%
③ 介護予防と認知症に対する取組の推進	12	介護予防・生活支援サービス事業【介護保険事業特別会計】	★2100.0%	55.1%	100.0%	100.0%	100.0%
	13	一般介護予防事業【介護保険事業特別会計】	100.0%	100.0%	91.2%	100.0%	100.0%
	14	介護支援事業（認知症サポーター養成）【介護保険事業特別会計】	100.0%	100.0%	100.0%		
	15	包括的支援事業（認知症総合支援事業）	★2100.0%	72.5%	76.5%	90.0%	72.8%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。
★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	2　支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	**4　多様性の尊重と平和都市の推進**

◆施策評価における総合評価の推移

年度	令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	93.3/100	総合評価 A	75.5/100	総合評価 C	77.7/100	総合評価 C	81.3/100	総合評価 B	81.7/100	総合評価 B

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　人権講座参加者の人権意識高揚度

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	86.3	86.4	94.0	94.5	95.0
実績値	%	86.2	92.9	86.2	92.3	97.3	89.3
達成率	%	－	**100.0**	**99.8**	**98.2**	**100.0**	**94.0**

指標②　民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	4	5	6	7	8
実績値	件	3	0	1	2	3	5
達成率	%	－	★1 **0.0**	**20.0**	**33.3**	**42.9**	**62.5**

指標③　海外友好都市等との交流活動件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	18	19	19	20	20
実績値	件	12	2	12	14	19	19
達成率	%	－	★1 **11.1**	**63.2**	**73.7**	**95.0**	**95.0**

指標④　日本語教室参加者数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
実績値	人	5,179	208	2,479	3,524	4,267	4,337
達成率	%	－	★1 **3.8**	**45.1**	**64.1**	**77.6**	**78.9**

指標⑤　児童虐待相談に対し速やかに（48時間以内）対応できた件数の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	%	73.7	75.0	99.0	70.5	83.3	81.0
達成率	%	－	**75.0**	**99.0**	**70.5**	**83.3**	**81.0**

指標⑥　平和のための展示会参加者数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	530	550	570	590	610
実績値	人	509	0	265	414	268	213
達成率	%	－	★1 **0.0**	**48.2**	**72.6**	**45.4**	**34.9**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	–	27.5	28.0	28.5	29.0	29.5
実績値		26.7	29.8	31.7	28.6	31.7	29.9
達成率		–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**
指標②　困りごとに対する相談・支援体制が充実していると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	–	27.5	28.0	28.5	29.0	29.5
実績値		27.1	30.1	29.7	29.6	31.2	30.2
達成率		–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**
指標③　平和についての啓発が進んでいると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	–	20.0	24.0	28.0	32.0	36.0
実績値		17.5	20.9	18.9	18.5	18.1	20.5
達成率		–	**100.0**	**78.8**	**66.1**	**56.6**	**56.9**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 多様性に対する理解の促進	1	人権啓発推進事業	★1 –	81.1%	93.2%	100.0%	100.0%
	2	人権教育・啓発推進事業	100.0%	99.8%	98.2%	100.0%	94.0%
	3	男女共同参画推進事業	★2100.0%	83.1%	47.2%	100.0%	100.0%
	4	障害者地域生活支援事業（障がい者理解促進）	★2100.0%	56.9%	74.0%	84.4%	84.4%
② 多文化共生の推進	5	多文化共生交流事業	★1 –	45.1%	64.1%	77.6%	78.9%
	6	国際交流推進事業	★1 –	54.2%	64.0%	81.5%	85.7%
③ 相談・支援体制の充実	7	女性のための相談事業	92.5%	100.0%	90.0%	100.0%	100.0%
	8	市民相談事業	96.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	9	児童虐待・ＤＶ対策事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	10	ヤングケアラー支援体制等強化事業	–	–	100.0%		
	11	犯罪被害者等支援事業				–	100.0%
④ 平和都市の推進	12	平和都市推進事業	★1 –	100.0%	94.7%	94.8%	98.5%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。
★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	3　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	**1　学校教育の充実**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	98.1/100	A	96.9/100	A	95.2/100	A	96.2/100	A	95.9/100	A

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する本市の達成度

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	96.0	97.0	98.0	99.0	100.0
実績値		95.8	95.5	97.1	97.1	97.4	96.7
達成率		－	**99.5**	**100.0**	**99.1**	**98.4**	**96.7**

指標②　ICTを活用して授業を行った教員の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値		70.4	91.7	91.7	83.3	93.0	91.7
達成率		－	**91.7**	**91.7**	**83.3**	**93.0**	**91.7**

指標③　校舎の外壁、屋上などの長寿命化改修率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	61.3	62.8	64.4	65.9	67.5
実績値		58.5	58.2	60.1	62.4	63.2	65.1
達成率		－	**94.9**	**95.7**	**96.9**	**95.9**	**96.4**

指標④　子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	63.0	63.0	72.8	74.4	76.0
実績値		61.1	69.8	67.4	68.8	66.9	67.3
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**94.5**	**89.9**	**88.6**

指標⑤　全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	87.5	88.0	88.5	89.0	89.5
実績値		86.3	88.6	88.2	90.0	91.0	92.2
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	30.0	30.0	30.0	35.0	35.0
実績値		26.8	34.7	33.2	33.9	33.1	36.1
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**94.6**	**100.0**

指標②　教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0
実績値		29.7	36.6	29.1	31.7	31.8	38.7
達成率		－	**100.0**	**93.9**	**99.1**	**96.4**	**100.0**

指標③　安全な教育環境の整備が進んでいると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	37.7	38.1	38.5	38.9	39.3
実績値		37.3	45.3	38.7	43.1	39.3	45.3
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標④　人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	30.0	30.0	30.0	35.0	35.0
実績値		28.3	39.2	33.1	32.3	35.0	40.2
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 自立につながる生きる力の育成	1	小・中学校ＩＣＴ化推進事業	100.0%	100.0%	95.0%		
	2	小学校児童支援推進事業	100.0%	96.3%	94.0%	93.5%	98.2%
	3	中学校少人数学級実施事業	99.1%	98.4%	0.0%	87.2%	89.2%
	4	小・中学校教材等支援事業	100.0%	97.8%	89.5%	96.0%	100.0%
	5	ＳＥＬ教育基金事業	99.3%	99.2%	100.0%	96.5%	95.9%
	6	英語教育推進事業	94.6%	92.5%	92.3%	91.9%	95.4%
	7	小中一貫教育推進事業	99.0%	98.0%	50.0%	100.0%	84.6%
	8	教育研修・活動助成事業	★1 －	46.4%	48.3%	86.5%	89.2%
	9	カーボンニュートラル教育推進事業				100.0%	－
	10	学校給食施設整備事業	100.0%	100.0%	－		
	11	オリンピック・パラリンピック体験支援事業	94.0%	－	－		
	12	学校給食食育推進事業【学校給食事業特別会計】	－	－	100.0%	100.0%	100.0%
	13	第３次教育振興基本計画策定事業				－	100.0%
② 子どもたちを育てる支援体制の充実	14	学力ステップアップ推進事業	100.0%	100.0%	95.0%	95.5%	94.0%
	15	教育調査研究事業	92.2%	100.0%	99.5%	96.6%	92.7%
	16	先生のための研修事業	99.4%	99.2%	99.8%	99.1%	98.8%
③ 安全な教育環境の整備	17	小中学校学校施設最適化推進事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	18	校舎・体育館改修事業	★2 100.0%	100.0%	100.0%		
	19	校庭整備事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	20	小中学校冷暖房設備設置事業	－	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	21	小中学校適正規模等推進事業	100.0%	50.0%	75.0%	100.0%	100.0%
	22	児童・生徒登下校等安全推進事業	92.6%	94.3%	94.9%	89.9%	90.0%
	23	インターナショナルセーフスクール推進事業	100.0%	100.0%	100.0%	90.0%	100.0%
	24	小中学校プール施設最適化推進事業	－	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	25	校舎等整備事業	－	－	100.0%	100.0%	100.0%
	26	小・中学校LED化推進事業	－	100.0%	100.0%		
	27	小学校通学路安全点検ウェアラブルカメラ導入事業	－	100.0%	－		
④ 安心して共に学べる教育の推進	28	就学支援事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	29	外国籍児童・生徒等支援事業	95.3%	92.7%	91.9%	98.8%	98.9%
	30	学校支援プロジェクト推進事業	83.4%	77.8%	97.2%	97.2%	100.0%
	31	特別支援教育推進事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	32	教育支援教室運営事業	100.0%	100.0%	94.7%	96.2%	100.0%
	33	青少年教育相談事業	100.0%	100.0%	93.3%	92.1%	95.8%
	34	登校支援推進事業	91.4%	93.6%	85.8%	91.6%	90.7%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。
★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	3　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	**2　地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	98.3/100	A	92.9/100	A	94.0/100	A	91.7/100	A	95.0/100	A

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　公民館を利用している市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	29.1	29.6	30.1	30.6	32.0
実績値		28.6	29.4	31.8	29.3	31.8	31.9
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**97.3**	**100.0**	**99.7**

指標②　公民館での学級・講座参加者の満足度

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	70.6	71.1	77.9	79.6	81.3
実績値		70.1	74.7	69.7	73.9	68.5	69.7
達成率		－	**100.0**	**98.0**	**94.9**	**86.1**	**85.7**

指標③　地域や学校の行事に参加又は協力している市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0
実績値		34.0	35.2	38.7	39.0	39.7	40.4
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標④　家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	97.4	97.5	97.5	97.5	97.5
実績値		97.3	96.8	97.1	96.1	95.3	96.9
達成率		－	**99.4**	**99.6**	**98.6**	**97.7**	**99.4**

指標⑤　生涯学習活動を行っている市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	42.0	43.0	53.0	54.1	55.2
実績値		41.6	50.7	54.1	52.4	52.6	53.0
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**98.9**	**97.2**	**96.0**

指標⑥　図書館を利用している市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	23.0	24.0	25.0	26.0	27.0
実績値		22.0	23.7	24.3	23.8	24.3	25.0
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**95.2**	**93.5**	**92.6**

指標⑦　図書館の貸出者数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	410,000	420,000	430,000	440,000	450,000
実績値		408,233	369,389	383,050	378,224	362,028	365,743
達成率	%	－	**90.1**	**91.2**	**88.0**	**82.3**	**81.3**

指標⑧　青少年健全育成団体が行った事業の参加率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	50.0	55.0	58.0	59.0	59.5
実績値		45.7	25.3	44.0	52.0	58.8	59.3
達成率		－	★1 **50.6**	**80.0**	**89.7**	**99.7**	**99.7**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	27.0	28.0	29.0	30.0	31.0
実績値		26.0	33.2	28.2	32.0	28.5	36.9
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**95.0**	**100.0**

指標②　家庭・地域・学校の協働が推進されていると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	34.0	35.0	36.0	37.0	38.0
実績値		33.3	36.8	32.0	34.4	29.5	39.1
達成率		－	**100.0**	**91.4**	**95.6**	**79.7**	**100.0**

指標③　生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0
実績値		30.3	33.3	29.9	35.6	30.8	36.8
達成率		－	**100.0**	**93.4**	**100.0**	**90.6**	**100.0**

指標④　青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実していると思う市民の割合							
年度 / 単位		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	30.0	35.0	38.0	39.0	39.5
実績値		29.7	34.6	32.3	36.2	32.6	38.3
達成率		－	**100.0**	**92.3**	**95.3**	**83.6**	**97.0**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 地域主体で取り組む社会教育の振興	1	公民館活動事業	100.0%	98.0%	94.9%	86.1%	85.7%
	2	公民館整備事業	100.0%	100.0%	50.0%	92.5%	92.5%
	3	公民館熱中症対策空調設備整備事業				－	100.0%
② 家庭・地域・学校の協働の推進	4	家庭教育支援事業	99.4%	99.6%	98.6%	97.7%	99.4%
	5	地域学校協働活動事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
③ 生涯学習活動の推進	6	あつぎ協働大学開設事業	95.1%	86.9%	98.4%	99.7%	97.2%
	7	生涯学習振興事業	★1 －	67.2%	83.4%	92.0%	95.1%
	8	アミューあつぎ改修事業（中長期保全）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	90.0%
	9	（仮称）未来館整備事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	10	図書館整備事業	100.0%	20.0%	55.0%	100.0%	90.0%
	11	電子図書館事業	55.2%	64.9%	85.3%	100.0%	100.0%
④ 青少年の健全育成に向けた取組の推進	12	青少年自然文化体験研修事業	97.8%	93.8%	100.0%	100.0%	92.9%
	13	青少年指導者育成事業	★1 －	44.2%	78.2%	78.0%	78.1%
	14	青少年非行防止活動事業	100.0%	100.0%	77.8%	71.7%	61.7%
	15	児童館整備事業	100.0%	100.0%	80.0%	65.0%	75.0%
	16	こどもフェスタ開催事業				－	100.0%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	3　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	**3　文化芸術の振興**

◆施策評価における総合評価の推移

年度	令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	99.4/100	総合評価 A	83.4/100	B	81.5/100	B	83.0/100	B	79.0/100	C

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	19.0	20.0	21.0	22.0	23.0
実績値	%	18.9	16.4	19.4	22.2	19.7	23.8
達成率	%	－	★1 **86.3**	**97.0**	**100.0**	**89.5**	**100.0**

指標②　文化芸術事業の参加者数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	4,950	5,000	5,050	5,100	5,150
実績値	人	4,729	0	2,720	2,698	3,031	2,524
達成率	%	－	★1 **0.0**	**54.4**	**53.4**	**59.4**	**49.0**

指標③　厚木の郷土文化に興味がある市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	49.5	51.0	59.4	60.7	62.0
実績値	%	49.2	57.0	52.5	54.3	52.9	51.1
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**91.4**	**87.1**	**82.4**

指標④　あつぎ郷土博物館の講座及び展示における満足度

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	92.0	92.0	94.0	96.0	98.0
実績値	%	90.2	90.2	89.9	89.7	90.4	92.8
達成率	%	－	**98.0**	**97.7**	**95.4**	**94.2**	**94.7**

指標⑤　郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	8,650	8,650	8,650	8,700	8,750
実績値	人	8,678	3,105	5,172	4,653	5,463	5,028
達成率	%	－	★1 **35.9**	**59.8**	**53.8**	**62.8**	**57.5**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　文化芸術に親しむ機会が提供されていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	41.5	42.0	43.0	44.0	45.0
実績値	%	41.1	41.3	42.9	41.7	49.2	52.9
達成率	%	－	**99.5**	**100.0**	**97.0**	**100.0**	**100.0**

指標②　郷土文化の継承と発展の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	38.0	39.5	40.5	42.0	43.0
実績値	%	37.5	37.8	36.1	36.7	39.0	40.3
達成率	%	－	**99.5**	**91.4**	**90.6**	**92.9**	**93.7**

指標③　あつぎ郷土博物館の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	39.1	40.0	41.0	42.0	43.0
実績値	%	38.1	43.8	37.4	38.3	37.2	37.9
達成率	%	－	**100.0**	**93.5**	**93.4**	**88.6**	**88.1**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 文化芸術活動の推進	1	あつぎ市民芸術文化祭開催事業	★1 －	54.4%	53.4%	59.4%	49.0%
	2	文化会館リニューアル事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	－
	3	文化芸術振興事業	－	－	100.0%	100.0%	100.0%
	4	文化芸術振興計画策定事業				－	100.0%
② 郷土文化の継承と発展	5	あつぎ郷土博物館活動推進事業	★1 －	59.3%	67.7%	94.2%	94.7%
	6	郷土芸能事業	★1 －	86.6%	39.2%	36.4%	36.3%
	7	市史編さん事業	★1 －	50.0%	60.0%	－	0.0%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	3　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	**4　生涯スポーツの振興**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	90.0/100	A	88.5/100	B	88.8/100	B	89.7/100	B	86.5/100	B

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　運動やスポーツを週３回以上行っている市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	–	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0
実績値	%	34.5	27.1	29.3	28.1	27.7	25.1
達成率	%	–	★1 **77.4**	**81.4**	**75.9**	**72.9**	**64.4**

指標②　スポーツ指導者養成研修等参加者数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	–	1,100	1,110	1,120	1,130	1,140
実績値	人	1,083	147	901	1,030	1,035	953
達成率	%	–	★1 **13.4**	**81.2**	**92.0**	**91.6**	**83.6**

指標③　公共スポーツ施設の利用者数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	–	1,575,000	1,620,000	1,665,000	1,710,000	1,755,000
実績値	人	1,529,937	1,207,361	1,343,542	1,368,000	1,546,377	1,549,004
達成率	%	–	★1 **76.7**	**82.9**	**82.2**	**90.4**	**88.3**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　運動・スポーツ活動の機会が提供されていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	–	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0
実績値	%	50.2	51.2	51.0	51.9	56.1	54.2
達成率	%	–	**100.0**	**98.1**	**97.9**	**100.0**	**98.5**

指標②　スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	–	32.0	33.0	34.0	35.0	36.0
実績値	%	31.5	32.7	33.8	35.9	33.6	39.1
達成率	%	–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**96.0**	**100.0**

指標③　スポーツ施設が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	–	43.0	44.0	45.0	46.0	47.0
実績値	%	42.7	41.2	39.9	40.1	41.8	42.8
達成率	%	–	**95.8**	**90.7**	**89.1**	**90.9**	**91.1**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 生涯スポーツ活動の推進	1	市民スポーツ推進事業（生涯スポーツ）	★1 -	88.3%	62.4%	69.4%	64.9%
	2	社会体育指導者養成事業	★1 -	81.2%	92.0%	91.6%	83.6%
② 競技スポーツ活動の推進	3	競技力向上支援事業	★1 -	100.0%	90.0%	99.4%	94.2%
	4	市民スポーツ推進事業（競技スポーツ）	100.0%	100.0%	95.0%	89.3%	88.8%
	5	スポーツ合宿誘致事業				99.4%	100.0%
③ スポーツ施設の整備・充実	6	運動公園長寿命化事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	7	グラウンド・ゴルフ場整備事業	40.0%	90.0%	100.0%	95.0%	100.0%
	8	飯山グラウンド整備事業	70.0%	100.0%	100.0%		
	9	スポーツの聖地検討事業	–	-	100.0%	100.0%	100.0%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**1　誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	89.7/100	B	85.9/100	B	85.4/100	B	87.7/100	B	85.4/100	B

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	79.4	80.6	80.6	80.6	80.6
実績値		79.4	79.7	80.4	82.2	82.4	82.5
達成率		－	**100.0**	**99.8**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標②　幹線道路（１・２級市道）等の整備延長（累計）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	m	－	208	353	403	453	503
実績値		103	134	219	264	319	349
達成率	%	－	**64.4**	**62.0**	**65.5**	**70.4**	**69.4**

指標③　公共交通の徒歩圏人口カバー率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	85.1	85.1	85.2	85.2	85.2
実績値		85.1	85.5	85.5	85.6	85.6	85.6
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標④　路線バスの利用者数（１日当たり）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
実績値		70,000	43,600	46,400	50,800	55,900	56,749
達成率	%	－	★1 **62.3**	**66.3**	**72.6**	**79.9**	**81.1**

指標⑤　管理不全であるため、助言等が必要な空き家数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	戸	－	100	90	28	28	28
実績値		63	46	28	29	29	24
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**96.6**	**96.6**	**100.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にあると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	–	76.2	76.2	80.6	80.6	80.6
実績値 %	76.2	75.1	75.4	73.8	78.5	80.6
達成率	–	**98.6**	**99.0**	**91.6**	**97.4**	**100.0**

指標②　安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	–	40.5	41.0	41.5	42.0	42.5
実績値 %	39.8	47.6	46.8	45.9	48.3	51.8
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標③　通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	–	54.4	56.4	58.4	60.4	62.4
実績値 %	54.4	56.9	59.3	56.0	58.3	60.3
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**95.9**	**96.5**	**96.6**

指標④　空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	–	24.0	29.0	34.0	39.0	44.0
実績値 %	14.1	18.5	16.4	14.1	16.9	18.0
達成率	–	**77.1**	**56.6**	**41.5**	**43.3**	**40.9**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① コンパクトなまちづくりの推進	1	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	★2 50.0%	66.6%	66.7%	66.7%	66.7%
② 市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進	2	街路整備事業	98.7%	75.0%	74.8%	84.0%	72.8%
	3	街路用地取得事業	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	0.0%
	4	幹線市道新設改良事業	29.5%	58.6%	90.0%	92.3%	68.2%
	5	交差点等改良事業	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	6	生活道路整備事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	7	厚木秦野道路用地取得事業（用地国債）【公共用地取得事業特別会計】	91.3%	95.6%	88.4%		
	8	中町第２－２地区周辺交通アクセス整備事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	–
	9	道路整備用地取得事業	84.0%	92.9%	97.9%	84.8%	80.5%
	10	歩道整備事業	70.9%	–	–	52.6%	18.6%
	11	橋りょう架替事業	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	12	通学路安全整備事業	–	100.0%	100.0%		
	13	通学路安全対策事業	–	100.0%	100.0%	48.0%	65.0%
	14	走行ビッグデータ活用事業	–	–	100.0%		
	15	橋りょう長寿命化事業	–	–	100.0%	100.0%	100.0%
	16	道路付属施設長寿命化事業	–	–	97.5%	99.9%	92.7%
	17	道路交通環境整備事業				–	100.0%
	18	交通混雑対策推進事業				–	100.0%
③ 移動しやすい公共交通環境の整備	19	地域公共交通対策事業	16.7%	33.3%	100.0%	100.0%	100.0%
	20	コミュニティ交通推進事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	21	次世代モビリティシステム検討事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	22	自転車走行空間整備事業	60.0%	55.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	23	本厚木駅駅舎改装事業	100.0%	100.0%	100.0%		
	24	サイクルアンドバスライド自転車駐車場整備事業	–	–	100.0%	–	0.0%
④ 安全で快適な住環境の整備	25	空き家等対策推進事業	100.0%	100.0%	96.6%	98.3%	100.0%
	26	住宅政策推進事業	30.0%	30.0%	20.0%	65.0%	30.0%
	27	住居表示整備事業	100.0%	100.0%	100.0%		

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。
★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**2　魅力ある中心市街地等の形成**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	93.9/100	A	85.3/100	B	80.4/100	B	89.2/100	B	87.3/100	B

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　中心市街地の歩行者数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	110,000	110,500	111,000	111,500	112,000
実績値		109,836	98,282	94,327	100,327	104,701	98,066
達成率	%	－	★1 **89.3**	**85.4**	**90.4**	**93.9**	**87.6**

指標②　中心市街地の活性化イベント数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	43	44	45	46	47
実績値		42	26	34	31	36	34
達成率	%	－	★1 **60.5**	**77.3**	**68.9**	**78.3**	**72.3**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　中心市街地の整備が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0
実績値		42.9	46.5	42.7	43.1	48.6	53.4
達成率		－	**100.0**	**90.9**	**89.8**	**99.2**	**100.0**

指標②　中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	30.0	35.0	40.0	45.0	48.0
実績値		27.1	29.3	31.2	30.6	35.9	42.7
達成率		－	**97.7**	**89.1**	**76.5**	**79.8**	**89.0**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 中心市街地等の都市機能の向上	1	本厚木駅北口周辺整備事業	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	90.0%
	2	中町第２－２地区周辺整備事業	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%
	3	愛甲石田駅周辺整備事業	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%
	4	地下道活性化事業	★1 －	100.0%	94.4%	98.9%	96.9%
② にぎわい創出に向けた取組の推進	5	市街地商業活性化事業	95.7%	91.5%	89.0%	86.9%	88.3%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**3　地域の個性をいかした魅力あるまちの実現**

◆施策評価における総合評価の推移

年度	令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	99.3/100	総合評価 A	97.9/100	A	97.3/100	A	98.2/100	A	98.5/100	A

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　森の里東土地区画整理事業の産業用地創出面積

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	ha	－	15.2	15.2	26.8	26.8	26.8
実績値		6.9	15.2	15.2	26.8	26.8	26.8
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標②　酒井土地区画整理事業の産業用地創出面積

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	ha	－	－	－	14.2	20.6	20.6
実績値		－	－	－	14.2	20.6	20.6
達成率	%	－	**－**	**－**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	56.3	57.0	57.7	58.4	59.2
実績値		55.6	52.8	48.4	48.7	48.5	51.0
達成率		－	**93.8**	**84.9**	**84.4**	**83.0**	**86.1**

指標②　山地、河川、市街地などの景観が守られていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	47.0	47.3	47.6	47.9	48.2
実績値		46.7	48.1	44.5	47.7	47.9	55.0
達成率		－	**100.0**	**94.1**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標③　新たな産業拠点の創出が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	30.0	30.0	30.0	31.0	32.0
実績値		28.8	34.0	32.4	32.9	33.3	32.7
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 地域に合った計画的な土地利用の推進	1	国土調査事業	100.0%	100.0%	74.1%	100.0%	98.8%
	2	土地区画整理推進事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 景観形成の推進	3	景観形成推進事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
③ 新たな産業拠点の整備	4	森の里東土地区画整理推進事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	－
	5	酒井土地区画整理推進事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**4　産業・商業の振興**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	77.3/100	C	91.3/100	A	92.9/100	A	94.1/100	A	94.2/100	A

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　主に利用する店舗が市内にあると回答した市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	85.9	86.3	86.7	87.1	87.5
実績値		85.5	86.7	86.3	84.0	86.1	84.6
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**96.9**	**98.9**	**96.7**

指標②　本市の支援策により創業した人数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	2	3	4	4	4
実績値		0	0	4	6	6	8
達成率	%	－	★1 **0.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標③　中小企業資金融資利子補給金交付件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	1,220	1,240	1,260	1,260	1,260
実績値		1,200	756	811	915	1,072	1,207
達成率	%	－	**62.0**	**65.4**	**72.6**	**85.1**	**95.8**

指標④　企業立地件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	7	9	11	11	11
実績値		5	2	9	13	15	16
達成率	%	－	**28.6**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　商店街など、市内に利用したい店舗があると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	43.5	44.0	44.5	45.0	45.5
実績値		43.2	42.6	46.4	48.0	49.5	50.7
達成率		－	**97.9**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標②　創業支援や中小企業支援が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0
実績値		18.2	22.8	19.2	21.6	20.8	27.2
達成率		－	**100.0**	**91.4**	**98.2**	**90.4**	**100.0**

指標③　企業誘致が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
実績値		25.5	26.6	24.5	25.3	26.4	27.6
達成率		－	**100.0**	**90.7**	**90.4**	**91.0**	**92.0**

指標④　様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	22.0	22.5	23.0	23.5	24.0
実績値		21.5	22.0	20.9	24.1	25.2	28.3
達成率		－	**100.0**	**92.9**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 商業の活性化に向けた取組の推進	1	商業活動振興事業	★100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	2	商店街ＬＥＤ化促進事業	98.8%	97.2%	100.0%	100.0%	100.0%
② 創業支援と中小企業支援の充実	3	商工業振興事業	100.0%	91.7%	64.8%	71.5%	56.6%
	4	ビジネスチャレンジャー支援事業	★ 60.0%	93.8%	95.9%	100.0%	100.0%
	5	中小企業活性化推進事業	66.7%	66.7%	100.0%	98.9%	87.0%
	6	中小企業イノベーション支援事業	93.8%	52.0%	67.8%	75.3%	53.0%
	7	中小企業事業資金融資事業	87.3%	88.5%	81.1%	91.1%	88.0%
	8	中小企業等ＳＤＧｓ推進事業	－	－	77.8%	90.0%	18.2%
③ 企業誘致の促進	9	企業立地サポート事業	40.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
④ 先端技術産業の推進	10	ロボット産業推進事業	66.7%	100.0%	93.0%	52.3%	90.0%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。
★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**5　安心して働くことができるまちの実現**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	100.0/100	A	93.5/100	A	82.8/100	B	86.4/100	B	81.1/100	B

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　障害者雇用奨励交付金交付件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	38	41	44	44	44
実績値		35	39	39	41	38	38
達成率	%	－	**100.0**	**95.1**	**93.2**	**86.4**	**86.4**

指標②　勤労者生活資金融資件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	30	40	70	70	70
実績値		8	56	63	37	53	43
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**52.9**	**75.7**	**61.4**

指標③　中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	社	－	100	100	110	110	110
実績値		100	109	97	96	93	75
達成率	%	－	**100.0**	**97.0**	**87.3**	**84.5**	**68.2**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0
実績値		23.7	29.2	23.2	26.2	25.9	28.1
達成率		－	**100.0**	**89.2**	**97.0**	**92.5**	**96.9**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 勤労者支援の充実	1	就労対策事業	100.0%	98.4%	94.8%	94.7%	93.6%
	2	技能振興事業	★1 －	66.0%	56.4%	93.5%	87.1%
② 勤労者の福利厚生支援	3	中小企業勤労者助成事業	100.0%	97.8%	91.7%	88.6%	80.9%
	4	勤労者貸付融資預託事業	100.0%	100.0%	52.9%	75.7%	61.4%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**6　観光の振興**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	98.4/100	A	90.3/100	A	91.0/100	A	94.0/100	A	93.2/100	A

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	30.0	32.0	34.0	36.0	38.0
実績値		23.8	22.1	32.0	33.9	34.1	35.5
達成率		－	★1 **73.7**	**100.0**	**99.7**	**94.7**	**93.4**

指標②　観光消費額（年間）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	億円	－	177.5	182.0	186.5	191.0	195.5
実績値		173.0	63.0	145.0	188.6	265.9	216.9
達成率	%	－	★1 **35.5**	**79.7**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標③　厚木市観光協会ホームページのアクセス件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	31,000	32,000	130,000	1,836,300	1,884,650
実績値		30,889	121,087	101,795	93,000	2,086,794	2,071,299
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**71.5**	**100.0**	**100.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0
実績値		43.7	48.1	47.2	49.7	48.2	50.5
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

指標②　温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	43.0	44.0	45.5	47.0	48.5
実績値		42.6	43.6	42.2	46.1	44.2	44.7
達成率		－	**100.0**	**95.9**	**100.0**	**94.0**	**92.2**

指標③　観光情報の発信が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0
実績値		37.1	36.6	32.3	36.8	33.4	35.3
達成率		－	**91.5**	**78.8**	**87.6**	**77.7**	**80.2**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 広域観光の推進	1	広域連携観光推進事業	★1 －	83.8%	100.0%	100.0%	100.0%
② 観光資源の磨き上げの推進	2	観光資源活性化事業	★1 －	100.0%	63.2%	75.9%	75.7%
	3	受入環境整備事業	★1 －	79.5%	65.1%	69.4%	59.4%
	4	健康づくり村推進事業	100.0%	97.4%	100.0%	100.0%	100.0%
	5	観光行事推進事業	★1 －	79.4%	100.0%	100.0%	100.0%
	6	飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業	★2 90.0%	33.3%	100.0%	80.6%	64.4%
③ 情報発信の充実	7	観光プロモーション事業	100.0%	100.0%	71.5%	100.0%	100.0%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。
★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**7　シティプロモーションと定住促進**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	94.9/100	A	86.5/100	B	77.8/100	C	72.1/100	C	70.9/100	C

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	90.0	90.0	100.0	100.0	100.0
実績値	%	87.8	88.4	98.4	72.1	100.0	100.0
達成率	%	－	**98.2**	**100.0**	**72.1**	**100.0**	**100.0**

指標②　ホストタウン交流事業参加者数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	6,250	380	410	440	470
実績値	人	8,500	4,000	357	419	230	142
達成率	%	－	★1 **64.0**	**93.9**	**100.0**	**52.3**	**30.2**

指標③　転入者数（定住促進住宅取得支援事業等による転入者数）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	344	356	469	481	494
実績値	人	176	380	376	427	436	475
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**91.0**	**90.6**	**96.2**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	43.5	44.8	46.1	47.4	48.7
実績値	%	42.2	44.8	38.5	39.5	37.4	40.5
達成率	%	－	**100.0**	**85.9**	**85.7**	**78.9**	**83.2**

指標②　親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	25.0	34.0	43.0	52.0	61.0
実績値	%	16.9	24.2	22.1	20.2	19.5	21.1
達成率	%	－	**96.8**	**65.0**	**47.0**	**37.5**	**34.6**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① シティプロモーションの推進	1	あつぎの魅力創造・交流事業	99.1%	92.2%	79.2%	94.3%	97.4%
	2	オリンピック・パラリンピック支援推進事業	100.0%	－	－		
	3	魅力発信事業	－	－	98.6%	97.6%	100.0%
② 定住促進に向けた取組の推進	4	定住促進住宅取得等支援事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	5	（再掲）介護職人材確保支援事業	100.0%	100.0%	86.6%	72.9%	100.0%
	6	（再掲）幼稚園教諭確保助成事業	55.0%	36.7%	55.0%	46.7%	40.0%
	7	（再掲）保育士確保対策事業	50.0%	62.2%	41.1%	33.3%	72.2%
	8	（再掲）看護職等人材確保支援事業	55.1%	57.3%	35.8%	53.3%	37.9%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**8　農業・林業・水産業の振興**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	98.9/100	A	96.2/100	A	97.2/100	A	93.2/100	A	91.2/100	A

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　認定新規就農者数（累計）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	34	36	38	42	46
実績値		25	34	38	40	41	43
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**97.6**	**93.5**

指標②　地元の農産物を購入した市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	78.0	80.0	82.0	84.0	86.0
実績値		76.6	78.2	78.8	79.7	78.9	76.0
達成率		－	**100.0**	**98.5**	**97.2**	**93.9**	**88.4**

指標③　有害鳥獣による農産物被害額減少率（平成18年度の被害額を基準とする。）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	79.0	80.0	93.4	95.4	97.4
実績値		79.0	100.0	96.6	91.8	80.7	76.7
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**98.3**	**84.6**	**78.7**

指標④　間伐材の搬出量

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	㎥	－	900	800	2,000	2,000	2,000
実績値		677	873	990	2,000	1,674	2,089
達成率	%	－	**97.0**	**100.0**	**100.0**	**83.7**	**100.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	22.0	23.0	24.0	25.0	26.0
実績値		21.2	29.1	23.7	24.5	25.9	24.3
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**93.5**

指標②　地産地消が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0
実績値		35.4	43.8	40.1	44.3	46.7	47.0
達成率		－	**100.0**	**95.5**	**100.0**	**100.0**	**97.9**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 農地有効利用の推進	1	新規就農者支援事業	100.0%	100.0%	100.0%	97.6%	93.5%
	2	農業担い手育成対策事業	94.8%	85.0%	83.4%	100.0%	100.0%
	3	農業経営基盤強化促進事業	★1 －	73.3%	71.9%	57.6%	61.8%
	4	農業体験型農園開設事業補助事業	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%
	5	耕作放棄地再生利用事業	100.0%	100.0%	100.0%	85.1%	79.5%
	6	農地有効利用促進事業	100.0%	100.0%	96.7%	100.0%	100.0%
	7	農業基盤整備事業	100.0%	75.0%	100.0%	83.4%	50.0%
② 地産地消の推進・６次産業化の推進	8	地産地消推進事業	★2 83.4%	43.5%	67.4%	95.3%	91.7%
	9	畜産経営支援対策事業	88.2%	85.8%	86.4%	85.2%	84.0%
	10	園芸振興対策事業	★2 100.0%	50.0%	83.0%	97.2%	81.8%
	11	農作物ブランド化推進事業	－	－	100.0%	100.0%	100.0%
	12	国際園芸博覧会出展事業				－	100.0%
③ 鳥獣被害対策の強化	13	鳥獣等被害対策事業	100.0%	100.0%	94.4%	85.8%	83.3%
④ 林業への支援	14	林業振興事業	95.2%	100.0%	100.0%	91.9%	96.7%
⑤ 水産業の活性化	15	浜の活力再生プラン推進事業	100.0%	100.0%	92.5%	100.0%	82.2%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。
★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	5　環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	**1　地球温暖化対策の推進**

◆施策評価における総合評価の推移

年度	令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	98.1/100	総合評価 A	88.4/100	総合評価 B	83.3/100	総合評価 B	78.6/100	総合評価 C	76.4/100	総合評価 C

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	78.0	80.0	85.0	90.0	95.0
実績値		76.2	78.6	78.8	81.8	84.0	80.6
達成率		－	**100.0**	**98.5**	**96.2**	**93.3**	**84.8**

指標②　市内再生可能エネルギー出力量

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	MW	－	36.3	38.0	60.0	75.0	90.0
実績値		32.7	38.3	48.0	51.1	52.7	55.1
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**85.2**	**70.3**	**61.2**

指標③　市内温室効果ガス排出量推計削減率（平成25年度比）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	11.5	12.8	21.0	25.0	29.0
実績値		10.2	17.0	20.0	16.0	19.0	26.0
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**76.2**	**76.0**	**89.7**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　環境教育や環境学習の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	28.0	32.0	35.0	40.0	45.0
実績値		24.5	25.7	24.7	26.0	27.4	26.5
達成率		－	**91.8**	**77.2**	**74.3**	**68.5**	**58.9**

指標②　再生可能エネルギーの普及が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	24.0	25.0	30.0	33.0	36.0
実績値		22.6	23.3	20.8	23.2	25.4	25.8
達成率		－	**97.1**	**83.2**	**77.3**	**77.0**	**71.7**

指標③　公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	26.0	30.0	36.0	42.0	50.0
実績値		23.8	24.6	24.0	25.0	26.0	27.4
達成率		－	**94.6**	**80.0**	**69.4**	**61.9**	**54.8**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 環境教育の推進と環境問題に対する意識啓発	1	環境フェア開催事業	★ －	－	66.3%		
	2	環境基本計画推進事業	★ 95.7%	76.8%	94.3%		
	3	環境教育促進事業				86.7%	92.6%
	1	環境基本計画改定事業				－	100.0%
② 再生可能エネルギーの導入推進	4	ゼロカーボンハウス推進事業	99.5%	98.7%	98.7%		
	5	再生可能エネルギー導入促進事業	100.0%	21.3%	100.0%		
	6	カーボンニュートラル推進補助事業				82.1%	76.3%
③ 温室効果ガスの排出抑制	7	カーボンニュートラル推進事業				92.5%	96.8%
	8	温暖化防止普及啓発事業	100.0%	98.8%	91.5%		
	9	ＥＶごみ収集車導入事業	100.0%	－	100.0%	100.0%	100.0%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。
★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	5　環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	**2　未来へつなげる循環型都市の実現**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	97.9/100	A	95.5/100	A	95.7/100	A	90.3/100	A	88.9/100	B

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　ごみの減量を意識している市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	70.0	73.0	76.0	80.0	85.0
実績値		66.9	70.5	70.9	72.1	69.4	70.0
達成率		－	**100.0**	**97.1**	**94.9**	**86.8**	**82.4**

指標②　資源の分別を意識している市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	97.8	98.2	98.6	99.0	99.5
実績値		97.4	97.8	96.7	97.3	96.9	97.4
達成率		－	**100.0**	**98.5**	**98.7**	**97.9**	**97.9**

指標③　一人１日当たりの家庭系ごみの排出量

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	g	－	419	410	401	392	384
実績値		438	425	412	394	389	386
達成率	%	－	**98.6**	**99.5**	**100.0**	**100.0**	**99.5**

指標④　事業系ごみの排出量

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	t	－	17,619	16,797	15,976	15,196	14,171
実績値		19,323	16,449	16,290	15,350	15,259	14,906
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**99.6**	**95.1**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　ごみの減量化・資源化が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	61.0	65.0	69.0	73.0	77.0
実績値		57.3	57.7	57.4	61.7	55.5	59.5
達成率		－	**94.6**	**88.3**	**89.4**	**76.0**	**77.3**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① ３Ｒの推進による家庭系ごみの減量化・資源化	1	ごみ減量化・資源化推進事業	96.0%	95.7%	94.5%	93.3%	91.4%
② 事業系ごみの更なる減量化・資源化	2	事業系ごみ対策事業	100.0%	100.0%	100.0%	99.5%	94.8%
③ 安定的なごみ処理体制の確立	3	ふれあいプラザ再整備事業	100.0%	100.0%	100.0%		
	4	厚木愛甲環境施設組合負担事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

まちづくりのビジョン（基本政策）	5　環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	**3　自然との共生の推進**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	98.3/100	A	85.1/100	B	80.9/100	B	79.8/100	C	77.9/100	C

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　里地里山活動認定の対象面積

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	ha	－	6.1	6.2	6.7	6.7	6.7
実績値		6.0	6.7	6.7	6.2	6.2	6.8
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**92.5**	**92.5**	**100.0**

指標②　森林ボランティア会員人数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	28	31	34	37	40
実績値		26	28	28	25	25	23
達成率	%	－	**100.0**	**90.3**	**73.5**	**67.6**	**57.5**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　生物多様性の普及や保全が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	23.0	27.0	32.0	36.0	41.0
実績値		18.7	23.6	22.0	22.8	26.4	29.0
達成率		－	**100.0**	**81.5**	**71.3**	**73.3**	**70.7**

指標②　里地里山の保全や活用が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	28.0	32.0	37.0	42.0	46.0
実績値		23.4	28.1	25.6	25.5	27.8	28.7
達成率		－	**100.0**	**80.0**	**68.9**	**66.2**	**62.4**

指標③　森林整備など山林の再生が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	25.0	27.0	29.0	31.0	33.0
実績値		19.8	22.0	20.9	21.4	22.8	24.4
達成率		－	**88.0**	**77.4**	**73.8**	**73.5**	**73.9**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 多様な自然環境・生物多様性の保全と活用	1	生物多様性あつぎ戦略推進事業	★1 －	25.1%	91.9%	100.0%	100.0%
	2	里地里山保全等促進事業	100.0%	90.0%	80.7%	79.1%	79.4%
② 森林再生の推進	3	森林再生事業	95.0%	90.4%	100.0%	99.0%	88.7%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	5　環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	**4　緑豊かで美しいまちの実現**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	97.1/100	A	92.5/100	A	90.3/100	A	93.5/100	A	84.9/100	B

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　市民一人当たりの公園及び緑地面積

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	㎡/人	－	8.16	8.17	8.17	9.61	9.65
実績値		8.15	8.19	8.19	8.19	9.40	9.45
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**97.8**	**97.9**

指標②　地域美化清掃の実施件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	250	252	254	256	258
実績値		243	173	164	177	188	162
達成率	%	－	★1 **69.2**	**65.1**	**69.7**	**73.4**	**62.8**

指標③　不法投棄件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	550	525	500	475	450
実績値		574	611	466	543	480	634
達成率	%	－	**90.0**	**100.0**	**92.1**	**99.0**	**71.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	63.1	63.8	64.5	65.2	65.9
実績値		62.4	62.6	61.1	62.4	65.1	66.9
達成率		－	**99.2**	**95.8**	**96.7**	**99.8**	**100.0**

指標②　地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0
実績値		58.6	62.0	59.9	62.8	62.8	66.0
達成率		－	**100.0**	**96.6**	**98.1**	**95.2**	**97.1**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 緑豊かな公園緑地の整備	1	公園緑地整備事業	100.0%	100.0%	62.9%	100.0%	100.0%
	2	緑を豊かにする事業	★1 －	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	3	（仮称）北部地区公園整備事業	100.0%	100.0%	90.0%	100.0%	100.0%
	4	（仮称）睦合水辺公園整備事業	100.0%	100.0%	100.0%		
② 環境美化の推進	5	まち美化推進事業	★2 100.0%	82.6%	64.9%	86.7%	57.1%
	6	動物愛護管理推進事業	★1 －	100.0%	100.0%	93.7%	76.4%
	7	不法投棄防止対策事業	95.0%	100.0%	96.1%	99.0%	71.0%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。
★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算

まちづくりのビジョン（基本政策）	5　環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	**5　河川と共生するまちの実現**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	92.4/100	A	83.6/100	B	95.7/100	A	78.3/100	C	65.4/100	C

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
実績値	%	92.0	82.1	92.1	89.2	100.0	100.0
達成率	%	－	**89.2**	**100.0**	**97.0**	**100.0**	**100.0**

指標②　親水広場を活用した環境学習の実施回数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	回	－	3	3	3	3	3
実績値	回	2	1	2	3	1	0
達成率	%	－	★1 **33.3**	**66.7**	**100.0**	**33.3**	**0.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　親しみやすい水辺空間が整っていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	44.4	45.1	45.8	46.5	47.2
実績値	%	43.7	45.8	44.2	44.2	47.4	48.5
達成率	%	－	**100.0**	**98.0**	**96.5**	**100.0**	**100.0**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 良好な河川環境の保全	1	水質汚濁防止対策事業	89.2%	100.0%	97.0%	100.0%	100.0%
	2	合併処理浄化槽普及促進事業	96.7%	86.7%	92.0%	68.0%	8.0%
	3	公共下水道整備事業（汚水整備）【公共下水道事業会計】	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	4	河川美化推進事業	★1 －	31.3%	68.2%		
② 親しみやすい河川環境の整備	5	河川学習事業				33.3%	0.0%
	6	谷戸水辺再生事業	★2 100.0%	－	－		
	7	水辺ふれあい創出事業	★2 100.0%	58.4%	85.0%		
	8	準用河川恩曽川改修事業	50.0%	0.0%	-		

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。
★2 複数の指標がある事業で、一部の指標のみ新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合は、その指標を除いて達成率を計算しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	6　市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）
基本施策	**1　市民参加・市民協働の推進**

◆施策評価における総合評価の推移

年度	令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	99.9 /100	総合評価 A	96.6 /100	A	95.0 /100	A	94.9 /100	A	94.7 /100	A

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　市民対話等要望対応率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	81.0	82.0	86.0	87.8	89.6
実績値		74.7	82.3	72.7	79.8	82.8	81.5
達成率		－	**100.0**	**88.7**	**92.8**	**94.3**	**91.0**

指標②　自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	35.3	36.3	37.3	38.3	39.3
実績値		34.3	38.5	41.8	39.6	38.1	37.9
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**99.5**	**96.4**

指標③　市内で活動する市民活動団体数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	団体	－	214	217	220	223	226
実績値		211	214	204	201	193	197
達成率	%	－	**100.0**	**94.0**	**91.4**	**86.5**	**87.2**

指標④　必要な行政情報を入手できている市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	73.0	73.5	83.5	85.3	87.1
実績値		72.9	80.0	77.1	75.9	73.7	72.1
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**90.9**	**86.4**	**82.8**

指標⑤　公式SNSの利用登録者数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	人	－	44,000	45,000	73,000	78,000	83,000
実績値		43,000	58,172	64,042	71,993	83,652	94,964
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**98.6**	**100.0**	**100.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	41.9	42.9	43.9	44.9	45.9
実績値		40.9	46.4	42.3	43.6	43.3	47.1
達成率		－	**100.0**	**98.6**	**99.3**	**96.4**	**100.0**

指標②　市の情報媒体から必要な行政情報が発信されていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	59.0	59.5	60.0	60.5	61.0
実績値		58.6	63.7	63.1	61.3	60.8	62.0
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 市民協働の推進	1	市民活動推進事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	2	市民対話事業	100.0%	88.7%	92.8%	94.3%	91.0%
	3	市民協働推進事業	★1 －	83.3%	50.0%	100.0%	100.0%
	4	ＳＤＧｓ推進事業	100.0%	100.0%	94.1%	84.2%	83.9%
	5	市制70周年記念事業				100.0%	100.0%
② 地域コミュニティ活動の充実	6	コミュニティ推進事業	100.0%	98.6%	99.3%	96.4%	100.0%
	7	地域集会施設建設費等補助事業	97.7%	95.6%	93.5%	98.5%	98.5%
	8	自治会支援事業				－	95.3%
③ 情報発信力の強化	9	デジタルサイネージ設置事業	100.0%	100.0%	100.0%		
	10	映像メディア活用事業	98.8%	82.4%	84.5%	83.7%	88.9%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。

まちづくりのビジョン（基本政策）	6　市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）
基本施策	**2　行財政改革の推進**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	97.7/100	A	93.8/100	A	91.5/100	A	90.0/100	A	92.6/100	A

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　第７次行政改革の推進度

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値		－	87.3	83.6	78.2	85.4	87.8
達成率		－	**87.3**	**83.6**	**78.2**	**85.4**	**87.8**

指標②　市税収納率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	98.85	98.90	98.95	99.00	99.05
実績値		98.81	99.11	98.95	98.73	98.80	98.70
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**99.8**	**99.8**	**99.6**

指標③　公共施設個別施設計画に基づく第１期短期再編プログラムの進捗率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	18.2	31.8	45.5	63.6	81.8
実績値		－	18.2	31.8	45.5	63.6	81.8
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	33.4	36.7	40.0	43.3	46.6
実績値		29.9	33.9	29.5	30.9	29.4	36.5
達成率		－	**100.0**	**80.4**	**77.3**	**67.9**	**78.3**

指標②　小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	33.4	36.7	40.0	43.3	46.6
実績値		30.1	39.7	36.5	37.6	38.2	45.3
達成率		－	**100.0**	**99.5**	**94.0**	**88.2**	**97.2**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 行政改革の推進	1	総合計画策定事業				100.0%	100.0%
	2	行政改革推進事業	95.8%	88.0%	83.8%	76.7%	83.1%
	3	まちづくり方針検討事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	4	公衆無線ＬＡＮ整備事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	－
	5	総合窓口整備事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	6	電子契約システム導入事業	－	－	100.0%		
	7	ＤＸ推進計画策定事業				－	100.0%
③ 公共施設最適化の推進	8	公共施設最適化推進事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	9	本庁舎敷地跡地等活用推進事業				100.0%	100.0%
	10	公共建築物長寿命化事業	100.0%	100.0%	100.0%	89.5%	54.5%

まちづくりのビジョン（基本政策）	6　市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）
基本施策	**3　都市間連携の推進**

◆施策評価における総合評価の推移

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
総合得点	総合評価	97.0/100	A	75.7/100	C	74.9/100	C	79.3/100	C	80.9/100	B

◆施策の達成目標の実績≪代表となる指標≫

指標①　都市間連携の実施件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	50	51	52	53	54
実績値	件	49	50	50	51	51	52
達成率	%	－	**100.0**	**98.0**	**98.1**	**96.2**	**96.3**

指標②　民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	2	2	3	3	4
実績値	件	1	0	1	1	1	2
達成率	%	－	★1 **0.0**	**50.0**	**33.3**	**33.3**	**50.0**

指標③　国内友好都市との交流活動件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	件	－	23	24	24	25	25
実績値	件	21	7	18	19	24	27
達成率	%	－	★1 **30.4**	**75.0**	**79.2**	**96.0**	**100.0**

≪市民実感度≫（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①　防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	30.3	34.3	38.3	42.3	46.3
実績値	%	26.3	26.9	24.0	30.2	33.2	29.2
達成率	%	－	**88.8**	**70.0**	**78.9**	**78.5**	**63.1**

指標②　国内友好都市との交流が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値	%	－	35.0	38.0	41.0	44.0	47.0
実績値	%	31.1	31.9	27.9	29.5	33.1	33.4
達成率	%	－	**91.1**	**73.4**	**72.0**	**75.2**	**71.1**

≪実施計画事業指標≫（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	令和３年度達成率	令和４年度達成率	令和５年度達成率	令和６年度達成率	令和７年度達成率
① 広域連携の推進	1	広域都市連携推進事業	100.0%	98.0%	98.1%	98.1%	98.2%
② 他都市との交流促進	2	国内交流推進事業	★1 －	73.1%	74.1%	89.3%	100.0%

★1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標（イベント等の中止・縮小など）については、評価から除外しています。

第 10 次厚木市総合計画取組実績

（令和３年度～令和７年度）

令和８年●月発行

発行　厚木市

編集　厚木市企画部企画政策課

〒243-8511

神奈川県厚木市中町３丁目 17 番 17 号

電話　（046）225-2455（直通）

ホームページ URL　https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/